

官報

號外

明治二十八年三月十三日

水曜日 內閣官報局

○第八回衆議院議事速記録第四十六號

明治二十八年三月十二日(火曜日)午後一時二十一分會議

議事日程 第四十六號 明治二十八年三月十二日

午後一時開議

第一 通貨及證券模造取締法案(政府提) 第一讀會ノ續(特別委員)

第二 出貴族院送付) 第一讀會ノ續(特別委員)

第三 會計法中改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員)

特別輸出港規則追加法律案(中島又五郎君外一名提出) 第一讀會

特別輸入港法案(中島又五郎君外一名提出) 第一讀會

棉花製品戻稅法案(稻葉市郎右衛門君外一名提出) 第一讀會

第五 鑛業條例改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員)

砂鑛採取法中改正法律案(恒松隆慶君外二名提出) 第一讀會

第七 製茶試驗場設置建議案(丸尾文六君外七名提出) (特別委員)

第八 工業學校設置ニ關スル建議案(堀越寛介君提出) (長報告)

第九 清韓露語學校設置ニ關スル建議案(堀越寛介君提出) (特別委員)

第十 小包郵便擴張ノ建議案(名倉次君外一名提出) 第一讀會

第十一 千葉縣茨城縣境界變更法案(木村格之輔君外二名提出) 第一讀會

第十二 北海道土人保護法案(鈴木充美君外五名提出) 第一讀會

第十三 區裁判所管轄區域變更法律案(目黒貞治君外一名提出) 第一讀會

第十四 議院法改正法律案 第二讀會

第十五 副議長(島田二郎君) 本日ハ議長ガ差支デゴザイマシテ、私ガ代理ヲ致シマス、是ヨリ報告ヲ致シマス

○町田書記官朗讀

恒松隆慶君ヨリ山陰道施政方針ニ關スル件ニ付政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

大日本私立衛生會設立傳染病研究所ニ撰拔研究生ヲ置クノ建議案

提出者 土居 光華君 重岡 薰五郎君

特別委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

衆議院議事速記録第四十六號 明治二十八年三月十二日 議長ノ報告

明治二十二年法律第四號會計法中改正法律案審查特別委員長

同理事

特別委員左ノ通り指名セリ

屯田兵土地給與規則中追加法律案審查特別委員

森本 確也君	磯部 十藏君
江原 素六君	小鷹 狩二君
櫻井 勉君	杉村 寛正君
田江 彌三郎君	中村 彦次君
江島 久米雄君	

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

山陰道施政方針ニ關スル質問趣意書

右成規ニ據リ提出候也

明治二十八年三月十二日

提出者 恒松 隆慶
贊成者 渡邊 新太郎
外二十九名

山陰道施政方針ニ關スル質問趣意書

一 隱岐國海底電信線之件

隱岐國ハ島根縣下ニ屬スル孤島ニシテ日本海中四箇ノ島嶼ヲ以テ國ヲ成シ其内地ニ最モ近キ處尙二十三海里ノ外ニアリ戸數七千餘人口三万四千海產物少カラス農產物亦乏發達ノ望ナキニアラスト雖モ交通ノ便ナキヲ以テ諸事内地ニ後レ國內西鄉福浦浦郷等大船ノ出入ニ自由ナル有數ノ良港アルヲ以テ交通ノ便ヲ得ハ其進歩期シテ俟ツヘシ殊ニ西郷港ハ(廣二萬三千三百六十間)灣内深ク數千噸ノ巨艦モ能ク風波ヲ避クルニ足リ日本海中稀ニ見ル所北國警備上缺クヘカラサル良港タリ之レニ内地ト接續スル電信線ノ設ナキハ國防上經濟上共ニ策ヲ得サルモノトス政府曩キニ第六議會ニ一度之レカ豫算案ヲ提出シ衆議院ヲ通過シタルモ解散ノタメ貴族院ヲ通過セザリキ之レヲ本議會ニ提出セサルハ何故ナルヤ將來政府ノ之レニ對スル方針如何一遞信事業之件

電信郵便ノ商工業發達ニ與テ力アルヲ論フ俟タス山陰道各國殊ニ島根島取兩縣ノ如キハ交通不便ニシテ爲メニ百般事業振起セス電信郵便ノ増設ヲ望ムヤ久シ履々之レカ請願建議等ヲ爲スモノアルモ政府之レヲ顧ミス政府ハ之レニ對シテ果シテ如何ナル方針ヲ持スルヤ

一 河川治水之件

山陰道中河川ノ大ナルモ、石見國郷川出雲國斐伊川伯耆國日野川因幡國千代川トス是等ハ流域二十里乃至五十里ノ大河ニシテ殊ニ郷川ハ藝備石三州ニ横流シ中國第一ノ巨川タリ各舟楫ノ便利アリト雖モ屢々出水シ沿岸ノ業ル損害甚カラス郷川ノ細キ等常ノ出水ヲ以テ見ルモ尙三十尺ノ昂キニ至ルアリ一昨年斐伊川日野川千代川ニ於ケル出水ノ如キ其慘狀見ルニ忍ヒス之レヲ要スルニ沿岸林野ノ制度適當ヲ缺クト河身改修ノ方針定ラサルトニ基因ス然ルニ政府ハ是等河川ニ關シ何等ノ處置ヲモ施サス政府ハ之レニ對シ將來如何ナル方針ヲ持スルヤ

右議院法第四十八條ニヨリ質問致候間速ニ答辯アラシム事ヲ希望候也

○副議長(島田三郎君) 日程ニ入リマスル前ニ、議場ニ御諮ヒテ致シマスノハ、橋本久太郎君ハ病氣ニ附キ本日ヨリ十二日間ノ請假ノ件ガゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(島田三郎君) 御異議ガナイト認メマスル、是ヨリ質問ノ何ガ出テ居リマス——恒松隆慶君

(恒松隆慶君演壇ニ登ル)

○恒松隆慶君(七十番) 諸君、私ガ茲ニ提出致シタル所ノ質問書ハ山陰道地方ニ對スル政府ノ施政方針ニ關スル事柄ゴザイマスルガ、是ハ條約改正トカ、又ハ軍事ト云フヤウナ全體ニ關スル事柄デハゴザイマセズ、唯一局部ニ限リタルコトデゴザイマスルデ、此貴重ナル時間ヲ費シマスノハ甚ダ好マシカラヌコトデハゴザイマスルケレドモ、又茲ニ已ムヲ得ズシテ此質問ヲ致シ聊カ諸君ノ御清聽ヲ煩シタイト云フノデゴザイマス、我山陰道ノ有様ヲ見マスルニ、名其實ヲ現シマシテ、唯一帶ノ山脈ヲ境ト致シマシテ、山陽道ニ比シマスルニ、事物々退歩致シテ居リマス、人智ナリ又商業上ノコトナリ、總テガ皆雲泥天壤晝夜等あらゆる反對ノ語ヲ以テスル程ノ懸隔ヲ致シテ居リマス、唯丹波ノ國デ五郡、丹後ガ京都府ニ屬シ、又丹波ノ二郡但馬ガ兵庫縣ニ屬シテ居リマスル、其他ニ比シマスルコト云フト、多少進歩致シテ居ルヤウニ考ヘラレマスルケレドモ、誠ニ全體ハ痛嘆ノ至ニ堪ヘナイ次第デゴザイマスル、デ我山陰道ガ斯ノ衰頹致シテ居リマスルノハ、畢竟海陸ノ交通不便ナルニモ起因スルコトデアラウト信シテ居リマスルノガ、海ニハ宮津、境、濱田ノ良港モアリマスルケレドモ、航海ノ全タカラズ、陸ニハ先キニ國道モ開通ヲ計リマスルケレドモ、何分嵯峨タル山嶽デゴザイマスルデ、容易ニ交通ノ便ガ是デ整フタト云フ譯合ニハ往カヌノデゴザイマス、詰リ鐵道ガ未ダ敷設セラレズ、爲ニ物貨ノ運輸ガ意ノ如クナラズシテ、山陽道ニ比シテ微々トシテ振ハザル譯合デゴザイマス、抑々此山陰道ノ土地タルハ一華帶水ヲ隔テマシテ、露領及朝鮮國ニ對峙シ、我邦北門ノ鎖鑰關鍵デアリマスルガ、國防上ヨリ見マスルニ、又經濟上ヨリ見マスルモ、鐵道ノ急須ノ必要ナルコトハ論ヲ俟タナイコトデゴザイマス、往年第四議會ニ於キマシテ鐵道敷設法ヲ議シマスル時ニ當リマシテ、此山陰道ハ——縱貫鐵道ト云フモノハ第二期ニ屬

セラレタモノデゴザイマス、其當時第二期ニ屬セラレタモノハ、征清ノ事件モ未ダ起リマセズ、西伯利亞鐵道ノ工事モ未ダ竣功セラレザル時デアリマス、又加フルニ國家經濟上ノ緩急ヲ計リタルコトデアラウトモ考ヘマスルケレドモ、今日ハ東洋ノ形勢ガ大ニ一變致シマシテ、我邦ハ東洋平和ノ主宰者タル地位ニ立ッテ居リマスル、又西伯利亞ノ鐵道モ屢々乎トシテ歩ヲ進メテ浦鹽塩德港ニ達スルノ期モ近キ今日デアリマスル、一日モ之ヲ卒忽ニスル譯ニ往カナイト思ヒマスルガ、併シ此鐵道ニ就キマシテハ早晚私共カラモ第一期ニ繰上グタイト云フコトノ計畫ヲ致シテ居リマスルケレドモ、何分重大問題ノコト故ニ輕々ト又之レヲ提出スル場合ニ往カナインデゴザイマス、是等ニ就イテハ他ニ熱心ノ御方モゴザイマスル、ソレ等十分協議シ、又鐵道ノ如キニハ望月君ノ如キ熱心ノ人モゴザイマスルカラ、是等モ此事ニ就イテハ考ノアルコト、考ヘマスル、ソコデ此鐵道ノ事ハ極ク必要ノコトデゴザイマスルケレドモ、是ハ次期ノ議會ヲ待ッテ先ヅ方針ヲ定ムルト致シマシテ、別ニ此事ハ茲ニ質問ヲ致スト云フ場合デモゴザイマセヌガ、茲ニ質問ヲ致シマスル二三ノ要項ト云フモノハ電信、郵便、河川ニ就イテノコトデゴザイマスガ、是等ニ就キマシテハ政府ガ山陰道ニ對シマシテハ、大ニ冷淡ニ付スルノ方針デハナイカト云フ所ノ疑ガゴザイマス、此質問ヲ致シテ是等ニ關スル計畫ヲ爲サウト考ヘマスルノデゴザイマス、島根縣鳥取縣民ハ政府ガ我山陰道ニ對シマスル方針ニ就イテハ、冷淡デナイカト豫テ疑フ懷イテ居リマシタノハ、當ニ疑フ懷イテ居ルノミデナイ、政府ノ爲スコトハ大ニ總テ放任ト云フヤウナ有様ニナッテ居リマス、抑々電信、郵便、河川等ノ事ニ就イテモ、度々其地方ノ議會カラ政府ニ就イテ建議ヲスルトカ、又地方有志カラ請願スルトカ、建議スルトカ云フヤウナコトガアリマシテモ、政府ハ更ニ知ラヌ顏ヲシテ、是ニ一向構ハヌノデゴザイマス、右ニ就キマシテ我山陰道ガ疲弊致シテ居ルコトハ、政府ハ一向構ヒガナイデアラウカト云フコトノ疑ガゴザイマス、抑々茲ニ一二ヲ舉ゲテ申シマスレバ、第一隱岐ノ國ノ海底電信ノコトデゴザイマス、此電信ニ就キマシテハ、既ニ昨年第六議會ノ節架設費豫算モ要求セラレマシタガ、併シ解散ノタメニ遂ニ成立ニハナラザッタノデゴザイマスガ、當議會ニ於テ必ズ此案ガ提出ガアルコトデアラウト信シテ居リマシタニモ拘ラズ、今日マデ豫算ト云フモノヲ提出セラレナイノデゴザイマス、是等ハ軍國多事ト云フ際デ中止セラレタモノト思ヒマスルケレドモ、何分是等軍國多事ダカラト云ッテ、緩急モ度ラズ何モ斯モ事業ヲ躊躇スルハ聊カ其當ヲ失シタモノデナイカト云フ考モアルノデゴザイマスガ、實ニ此事ニ就キマシテハ建議案モ私ハ出シタイト考ヘマシタガ、先ヅ以テ建議案ヲ出シマスヨリハ、政府ノ意向ヲ問フテ其後ニ致シテ差支ナイト考ヘマス、ソコデ問ヲ致シマスノデゴザイマスガ、隱岐ノ國ハ諸君モ御承知ノ通、日本海中ノ一孤島デゴザイマシテ、内地ニ最モ近キ所デモ尙ホ二十三海里ノ外ニアル位デゴザイマス、又國內ニハ西郷ナリ福浦ナリ浦郷等ノ港ガゴザイマシテ、是等ハ孰モ大船ノ出

入自由ナル長港デゴザリマス、又西郷港デゴザリマスルト港内モ水ガ深ク、又加フルニ港口モ巨巖ノ横ルナクシテ、數千噸ノ巨艦モ輒ク風波ヲ防グコトガ出來マス、殊ニ日本海中稀ニ見ル所ノ港灣デゴザリマスカラ、一朝日本海中ニ戰雲ガ起ルコトアレバ、諸外國ノ著目スル所デアリマス、此隱岐ノ國ト對馬ノ國トデアリマスルガ、是等對馬ノ國ニハ既ニ電信モ架設セラレテアリマス、又警備隊モ置カレテゴザイマスルガ、隱岐ノ國ニハ未ダ警備隊ナリ電信ノ架設ガナイデゴザイマス、島根縣會ハ曩ニ交通ノ便ヲ圖ランガタメ、補助ヲ與ヘテ汽船ノ定期航海ヲ獎勵シテ居リマスガ、電信ノナイガタメニ通知ガ後レテ、いつモ議會ヲ開會スル時分ニ、議會ヲ召集致シマスニ、隱岐ノ國ノ議員ハ議會開會ノ當日ニ間ニ合ツタコトハナイノデゴザイマス、又行政上急要ノ事柄ニ就イテ、知事ガ島司以下ヲ召集致シマスルニモ、是同様に有様デアリマス、又非常ノ事ガアツテ、豫備トカ後備トカ召集セラレマスニモ、是亦容易ニ召集ニ應ジ難イ、又殊ニ昨年アタリハ彼地ニハ最モ甚シキ赤痢病ガ流行致シマシタ、殆ド一千人ノ患者ヲ出シマシタガ、詰リ是等モ内地カラノ交通ガ不便デ、總テノ取締豫防ガ行届カナイ所カラシテ、斯ノ如キ慘狀ヲ來シタ譯合デゴザイマス、誠ニ隱岐ノ國ニ海底電信ノ必要ナリト云フコトハ、目下誠ニ止ミ難イコトデゴザイマスルデ、是ハ政府ニ於テハ當議會ニ豫算ガ出マセナイデモ、後ノ議會ニハ定テ是等ノ事ハ出ルデアラウラレシテ居リマスルガ、併ナガラ是等ニ對シテハ如何ナル方針ヲ持ッテ居ラレレデアラウカト云フコトヲ問フノデゴザイマス、又第二ニハ遞信事業ノコトデゴザイマスルガ、郵便電信等ハ商業ノ發達ニ關係ヲ有シテ居ルト云フコトハ、勿論論ズルマデモナイデゴザイマスルガ、是ガ又山陰道ノ如キハ到ル處山嶽ガ多クシテ、交通ノ不便ニモ拘ラズ、郵便電信ノ設ガ少イノデゴザイマス、是等ニ據テナケレバ時事ヲ辨知スルコトガ出來ナイ、又有無相通ズルコトノ利益ヲ起スコトガ出來ナイデ、實ニ甚ダ困ッテ居ルノデゴザイマス、然ルニ山陰道ニ於テ、此必要ノタメニ電信郵便ノ架設局數ノ少イタメニ、地方ノ公衆ガ多年不便ヲ致シテ、是ガタメニ此地ニハ局ヲ置イテ貫ヒタイト請願トカ或ハ建議トカ云フコトヲ屢ニ致シテ居リマスケレドモ、何ノ答モナイデゴザイマス、是ガ一々山陰道ノ島根縣トカ、鳥取縣トカ云フコトニ就イテ委シク述ベテ居リマスルト時間ヲ費シマスカラ、島根縣ニ就イテ大要ヲ申シテ置キマセウ、石見ノ國ニ於テハ郷津ト云フ所ハ戶數ガ六百八十餘デゴザイマス、此處ハ郷川ノ下流デ商業ノ盛ナル所デゴザイマス、此處ニハドウシテモ電信局ガナケネバナラヌ、又小包郵便ヲ開カネバナラヌ、又三隅此處ガ濱田益田ノ間デ適當ナ土地デアル、又大田ト云フ所ハ千戶モアツテ、郡ノ中央ニ居リマシテ、及隣郡ヨリ大ニ商民杯モ集リマスルヤウナ所デ、多年此地ニハ電信局ヲ設置セラント熱心ニ其心配ヲ致シマシテ、是ガタメニハ全部デモ金ヲ出スト云フマデニ致シテ居ルコトデゴザイマスルケレドモ、いつかな運ガ付カナイ、又温泉津ト云フ所ハ港ガアツテ、此所ニハ電信

分局ヲ置カレ、小包ヲ開カレテモ宜カラウト云フ處デゴザイマス、ツレカラ川本ト云フ所ハ戶數ガ六百餘モアルガ、餘程山ガ多イ處デ、大郡デゴザイマス、此所ニハ郡役所アリ、警察署アリ、諸會社アリ、備後ノ國三好ヨリ郷津迄ノ間總テ舟楫ノ便ノアル處デ、大ニ商人杯ガ集リ、物産モ集ル所デアリマスルガ、此處ニ局ガナイ、ソコデ邑智郡アタリヨリ電信ヲ一ツ懸ケニ出ルニハ、濱田カ大森ニ出ナケレバナラヌ、サウスルト近クテ五里、遠クテ十五六里モアルト云フヤウナ有様デゴザイマス、而シテ此出雲ニ往キマスルト云フト平田、是ガ戶數ガ千四百戶位デゴザイマシテ、松江矢道湖ノ間ニ汽船ノ交通ガアリ、物産ノ集ル所ガゴザイマス、又矢道、是ガ戶數ガ八百餘位アリマス、是ガ廣島ヨリ松江マデ交通スル國道ノ開ケタ所デゴザイマス、是ガ極ク必要ナ所デゴザイマス、又其他大原郡デ一箇所、飯石郡デ一箇所ハ、是非増設ガナケレバナラヌ、是等ニ就キマシテハ地方有志者ガ是マデ創設ノ建議ヲ致シテ、是ガタメニ創設費ノ全部ナリ一部分ナリノ寄付デモ致シマスカラシテ、ドウカ早ク設計ヲ立テ、下サレタイト云フコトヲ是マデ屢ニ運ンデ居リマスルケレドモ、いつか何ノ次第モ付カナイノ困ッテ居ルノデゴザイマス、是等ハ縱シ政府ニハ金ガナクテ出來ナイト云フナラバ、地方カラ全部トカ幾分出スト云フナレバヤラレルカ、金ヲ出シテモヤラレナイカ、金ヲ出シテモヤラナイト云フナラバ、尙ホ政府ニ於テハ是等ノ地方ニ對シテ決シテ電信ナリ或ハ郵便小包ト云フヤウナモノハ擴張増設ヲスルト云フ方針ガアルカナイカト云フコトヲ問フノデゴザイマス、第三ニハ河川治水ノコトデゴザイマスガ、是ガ亦我山陰道ハ山岳ガ多イノデ、山骨暴露瓦不毛ノ方ガ過半デゴザイマスル故ニ、常ニ出水ガ多ク害ヲ被ルコトガ多イノデゴザイマス、既ニ島根鳥取ノ如キハ一昨年ハ非常ノ水害デゴザイマシテ、島根縣ノ如キハ川ガ多クシテ或ハ斐伊川、郷川、飯梨川、伯太川、高津川、鳥取縣デハ千代川、日野川トカ云フヤウナ所デハ、最モ被害ハ多イノデゴザイマス、而シテ又昨年出水ヲ致シマシタタメニ、縣民ノ生命財產ヲ失ヒマシタコトハ實ニ甚シイコトデゴザイマス、一度水害ニ罹リマシタモノハ、恐クハ十數年ヲ經マセネバ、民力ヲ回復スルコト出來ナイノガ、近來ハモウ三四年ノ間ニハ必ズ一二度ノ出水ニ遭フヤウナ譯デ、是等ハ畢竟河身改修ヲ怠ルト、沿岸林野ノ制度宜シキヲ得マセズシテ、土砂ノ扞止、水源ノ涵養ヲ努メザルニ依リマス、其タメニ此害ヲ生ズルデアラウカト考ヘマスガ、政府ハ斯ノ如ク縱令出水シテ治水ニ苦シマスル所ノ山陰道各地方ニ對シテハ如何ナル方針ヲ取ラレテ居ルカ、又島根縣出雲國ニ於キマシテハ、斐伊川ト云フ河ハ是ハ隨分いかい河デゴザイマシテ、被害ガ重ニゴザイマスル、此河ハ地方經濟ノ悉皆支辨デゴザイマシテ、年々是ガタメニ一縣下ハ苦シテ居リマス、ソコデ議會カラモ之ヲ國庫ノ負擔ニシテ貫ヒタイト云フコトヲ言ッテ居リマスガ、此河ハ下流ガ稍々平坦ノ所ガアツタメニ交通ノ便利ガアルタメニ、關係ノ町村有志者モ時々寄合ヲシ易イカラ屢ニ集會シテ協議ヲ爲シ、之ガタメニ大分奔走モ

致シ、又此區カラ選出セラレタ代議士モ、此斐伊川ニハ熱心ニ心配セラレマ
スルタメニ、昨年第六議會ノ時モ湯本君其他ノ御心配デ、此斐伊川ハ他ノ川
ト共ニ建議ニモナリマシタ、又今年モ請願ヲ出ストカいろ、致シテ當議會
カラモ建議ヲ致シタヤウナ有様デゴザリマスルガ、是ヨリ又外ニ石見ノ國デ
ハ郷川ト云フノガアリマス、是ハ藝、備、石三州ニ橫流致シマシテ、其流域ト
云フモノハ殆ド五十里位ゴザリマシテ、中國デハ是ガ第一ノ巨川デアリマ
ス、其利害ノ關係ヲ有スル所ノ段別ヲ言フテモ十數万町、戸數モ二万以上モ
アル、面積ハ二百四十七方里餘リデゴザリマシテ、舟楫ノ往來スル所ノ便利
ガゴザリマシテ、其舟楫ノ通ズル所ハ、殆ド四十里バカリノ處デゴザリマ
ス、陰陽ノ間ノ物貨ノ運輸ハ之ニ依リマシテ、陰陽ノ交通ハ此河ニ依ッテ、
稍、補ッテ居ルト云フヤウナ有様デアアル、鐵道ナリ或ハ汽船ナリニ代ルダケ
ノ隨分利益ノアル河デゴザリマス、然ルニ此河川中ニ數箇ノ難瀬ガアルノデ
ゴザリマス、其難瀬ノ重ナルモノヲ申シマスレバ、にこせあふら糸瀬ヲ便ヲ
瀬千丈ケ瀬ト云フヤウナ數箇ノ難瀬ガゴザリマシテ、之ガタメニ舟楫ノ便ヲ
缺クノデアリマス、又覆没ヲ來シマシテ、年々夥多ノ貨物ヲ流シ、人命ヲ損
傷スルコトハ妙カラザルコトデゴザリマス、既ニ過ル明治十四五年ノ頃ハ廣
島縣ノ三次郡長及同縣ノ有志者林豪一(一箇單ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ、其他
ノ人々ガ石見ノ國ノ邑智郡ナリ那賀郡ナリノ郡長及有志者等トモ交渉致シマ
シテ、兩縣下シテ此河川ノ改修調査ノ業ノコトヲ一ツ兩縣廳ニ持出シテ、此
事ニ著手ヲ致シタイト云フコトデ、心配致シタコトガアルノデゴザリマス、
然ルニ此當時ニ於テ島根縣ニ於キマシテハ國道ノ改修、工事ノ計畫ガアッ
テ、四五年間ニ殆ド百萬圓バカリノ金ヲ費シタト云フ時デゴザリマスルデ、
止ムヲ得ズ此豫算ノ調査ノコトモ出來ズ、豫算ヲ議スルコトモ出來ナカッタ
ノデアリマス、廣島縣ニ於テ其豫算モ議セラレタト云フコトデゴザリマシタ
ケレドモ、何分一方ノ島根縣ガ其時出來マセザッタメニ、一時中止トナ
リ、其後又廣島縣ニ於テハ山陽鐵道トカ、宇品ノ築港トカ言フテ、南洋ニ對
スル事業ノ急務ノタメニ、爾來郷川ニ對スルコトハ中止同様ニナッタ有様デ
ゴザリマスガ、再三島根縣會ハ全會一致ヲ以テ可決シ、建議シタル位デゴ
ザリマス、斯ノ如キ舟楫ノ便ガアリ最モ大ナル河デゴザリマスナレバ、是等
ハ政府ハ是等ノ河川ニ對シテハ、將來如何ナル方針ヲ執ラレデアルカ、全
國ノ河川ニ對スルコトハ漸次改修ノ方ニ著手スル方針デアラウカ、又
出水被害ノアル時ハ、被害ノ大小輕重ニ依ッテ救済ノ道ヲ設ケラレトカ、
又郷川ノ如キ大ナル河ハ、何等ノ方針ヲ以テスルカ、全國ノ河川ノ等級デモ
定メテヤラレルカ、是等ノコトハ議會カラ建議ヲ致サナイデモ、政府ニ於テ
ハ是等ハ構ハナイ、十分承知シテ居ルト云フヤウナ譯合デハナカラウガ、建
議ヲ致サネバいつマデモ大ナル河ガアリ、交通ノ便利ガアルヤウナ河デモ、一
向政府ニ於テハ顧ミナイト云フ方針デ居ラレデアラウカ、ドウデアラウカ
ト云フコトヲ尋ネルノデアリマス

○副議長(島田三郎君) 請願委員長ノ報告ガアリマス——高橋安爾君

○高橋安爾君(百六十五番) 請願委員會ノ結果ヲ報告致シマスルガ、本月十
一日ノ請願委員會ニ於テ院議ニ付スベキモノト決定セルモノガ、祿高追加下
付ノ件一ツ、愛媛縣小山宗太外四名ノ請願復祿ノ件一ツ、廣島縣今井潔外三
十九名請願舊田木藩復祿ノ件一ツ、岐阜縣土居政雄外三百三十名請願復祿
ノ件一ツ、福岡縣川上吉平外三十六名請願、以上ハ院議ニ付スベシト決定シ
アルモノニ係リマス、次ニ院議ニ付スルヲ要セザルモノト決定セル分ハ、佩
刀復古ノ件一ツ、小學校教課目中ハ擊劍術ヲ差加ヘルノ件一ツ、次ハ政府ヘ
參考トシテ送附スベシト決定セルモノガ郡分合ニ關スル件一ツ、是ハ山形縣
ノ人民ノ請願ニ係ルモノデゴザリマス、堺表殉難舊土佐藩士ヲ靖國神社ニ合
祭ノ件一ツ、印旛沼開鑿ノ件一ツ、模範排水器設置ノ件一ツ、尙ホ請願文書
表ノ第八ハ既ニ印刷済ニナッタ居リマスカラ、直ニ諸君ノ御手許ニ配布致
マス、以上報告ニ及ビマス

○副議長(島田三郎君) 是ヨリ議事日程第一、通貨及證券模造取締法案第一
讀會ノ續ニ移リマス——二百七番

第一 通貨及證券模造取締法案

第一讀會ノ續(特別委員)

(小坂善之助君演壇ニ登ル)

○小坂善之助君(二百七番) 通貨及證券模造取締法案ノ審查特別委員會ノ經
過及結果ヲ報告致シマス、委員會ハ本月八日ニ第一回ヲ開キマシテ、委員長
理事ノ互選ヲ致シマシテゴザリマス、委員長ニハ本員、理事ニハ重岡薫五郎
君ガ當選セラレマシテゴザリマス、而シテ昨十一日ニ再度委員會ヲ開キマシ
テ、政府ヨリハ添田大藏書記官ガ御出席ニナリマシテ、審議ノ末ニ貴族院修
正ノ如クニ可決致シマシテゴザリマス、尤モ此國債證券ト云フ中ニ、大藏省
證券ト云フモノガアルヤ否ヤト云フコトニ就イテ、聊カ疑モアツテ議論モゴ
ザリマシテゴザリマス、是ハ大藏省證券ト雖モ公債證券ト同シク國家ノ義務
ニ屬スルモノデアアルカラ、國債證券ト云フ中ニ無論含著シテ居ルモノト認メ
マシテ、別段修正ヲ加ヘズ、其儘可決致シマシタ次第デゴザリマス、デ委員
會ニ於テ可決致シマシタル理由ハ、政府委員ガ參考トシテ攜帶セラレマシタ所
ノ數多ノ五圓一圓ノ模造兌換紙幣ヲ見マスニ、其中ニ隨分能ク出來テ居リマ
スルノガ多クアリマスルノデス、ソレ等ガ山間僻地ニ段々行使スルモノガ多
クナツテ來ルト云フ所ノ事實ト、ソレカラ又近來ニ至リマシテ、朝鮮國ニ於
テ之ヲ行使スル者ガ大分アリマスルコト云フコトヲ、京城ノ第一國立銀行ノ支
店、又ハ仁川ノ郵便局等ヨリシテ、之ヲ送ッテ參ッタ品ガアリマス、デ而シ
テ此公債證券デアリマス、公債證券モ此無記名整理公債ト云フモノガ大分模
造品ニ能ク出來テ居リマスル、ソレ等モ見マスルコト云フト、表面ノ如キハ字
畫ヲ僅ニ省イテアル、裏面ノ如キハ英吉利文字ガ逆サニ植エテアルト云フ位
ノコトデ、隨分之ヲ取扱ッタ者デナケレバ、是ニハまるト云フコトハナイト

ハ言ヘナイノデ、現ニ東京市内ニアル所ノ或ル質屋ガ此公債證書ヲ抵當ニシテ、金ヲ貸シタト云フ事實ガアル、ソレ是レ此取締法ガナクテハナラヌト云フコトデ、此取締法案ノ必要ナルコトハ申スマデモナイコトデゴザリマスカラシテ、一日モ早ク此取締ヲ附ケルガ宜シト云フコトデ、委員會ハ可決致シマシタ次第デゴザリマス、是ガ委員會ノ報告デゴザリマス、尙ホ私ガ一個ノ何ト致シテ諸君ニ望ミマスノハ、極ク簡單ナ法案デゴザリマスカラシテ、成ルベク議會ヲ省略セラレテ、直ニ確定議ニセラレンコトヲ希望致シマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○副議長(島田三郎君) 委員長ノ唯今ノ請求ニハ議會省略ノ請求ガゴザリマシテ、別ニ御異論モナイヤウデス——ソレデハ議會省略ニ致シテ、全體ノ起立ヲ問ヒマス、本案ニ同意ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(島田三郎君) 多數、是デ確定ト認メマス、日程ノ第二ニ移リマス、會計法中改正法律案第一讀會ノ續田健吉君

第二 會計法中改正法律案

(田健吉君演壇ニ登ル)

第一讀會ノ續(特別委員)

○田健吉君(百七十八番) 委員長ニ代リマシテ會計法改正法律案審查委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、此委員會ハ數日前一回ヲ開キマシテ、委員長ニハ元田肇君、理事ニハ本員ガ當選ヲ致シマシテ、引續イテ尙ホ審查會ヲ開キマシタ、其審查ノ結果ト致シマシテハ、即チ元田氏提出案ノ通り、此會計法第六條ノ第一項ニ「但シ豫備費ハ款項ノ外ニ置クヘシ」ト云フコトニ致シマシテ、是マデ豫備費モ矢張款項ノ中ニアリマスガ、是ハ款項以外ニ置キマシタ方ガ、憲法ノ精神ニモ能ク適應スルヤニ認メマスカラシテ、即チ會員中一名ヲ除クノ外殘ラズ之ニ贊成ヲ致シテ可決ヲ致シタ次第デアリマス、尙ホソレニ就イテ別段ニ詳細ノ理由ハ辯明ヲ致シマセヌ、詰リ是ガ適當デアルト認メタ次第デアリマスカラ、ドウカ御贊成アラシコトヲ希望致シマス

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) 唯今提出ノ案ニ就キマシテ一言申上ゲマス、是ニ依リマス、此會計法第六條ニ但書ヲ附ケテ「豫備費ハ款項ノ外ニ置クヘシ」ト云フコトデゴザリマスガ、委員會ニモ出席致シマシテ、段段委員ノ御方ミトモ意見ヲ聞ハセマシタガ、政府ノ見マス所デハ此但書ガ附イタ所ガ、今モ此六十四條ノ第二項ニ關ル見解ト云フモノヲ變更スルト云フコトハ、湧イテ來ナイ、即チ此六十四條ノ第二項ノ款項ニ超過スルト云フコトハ、豫備費ガ款項ノ中ニアルナシニ拘ラズ、他ノモノト云フモノ、即チ他ノ費用ト云フモノハ悉ク款項ニ分レテ居マスカラ、其款項ニ超過スルモノガアルト云フ時ハ、矢張御承知ノ通ニ是マデ政府ガ取リマシタ意見ト云フモノニ

ハ、少シモ之ガタメニ束縛ヲセラレテ以テ違フ生ズルト云フコトハナイ、ソレ故ニ此改正ト云フモノハ則チ此豫備費支出ト云フコトヲ檢束スルト云フヤウナ原案者ノ積デアリマシタケレドモ、一向ソレニハ效力ガナイ、且又政府ノ見マス所デハ、此豫算ト云フモノハ款項ニ分ツト云フコトハ、憲法ノ精神デモアリマス、此六十四條ト云フモノ、第一項ニハソレヲ推測シテ、第二項デハ既ニ款項ト云フモノニ分ツト云フヤウナコトガ見エテ居リマス、特ニ會計法第六條ニ於キマシテ御承知ノ通ニ經常臨時ノ二部ニ大別シテ以テ、各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スルト云フコトガアル以上ハ、ドウシテモ豫算ハ款項ニスルガ、當初カラノ目的デア、之ヲ改メテ豫算ト云フモノヲ款項外ニ置クト云フコトハ、却テ豫算ノ極マリト云フモノ、是マデノ慣習ト云フモノニ反シマスルカラ、宜シクアルマイ、而シテ此案ト云フモノハ、豫備費ト云フモノハ御承知ノ通ニ國家ノ歳出ニハ違ヒナイ、國家ノ歳出デア、以上ハドウシテモ豫算ニ組ンデ、款項ニ分ツテ是ハ豫算ニ編成スルト云フコトガ正シイ途デア、デ此豫算デ既ニアル以上ト云フモノハ、款項ニ組ムト云フコトガ是マデノ此豫算ノ編成ノ方法デモアリマス、其法ト云フモノガ能ク順序ガ立ッテ宜カラウ、是ヲ款項ト云フモノニ區別セヌデモガ、唯何トナクアルト云フト、或ハ之ヲ曲解シマスレバ、豫算外ノモノデアリハセヌカト云フコトガ、ソコノ條項カラ引當テ來ルト思ヒマスカラ、サウ云フヤウナルコトニナリマス、是ガ豫算外ト云フヤウナル疑ガ生シテ來ルト、サウスルト遂ニハ是ハ帝國議會ノ協贊ヲ經ズトモ使ヘルト云フヤウナ豫算ノ外デア、ルカラ宜シト云フヤウナコトニナツテ來ルト、是ハドウシテモ會計ガ大變不取締ノ事ニナル、ソレデ却テ此改正ト云フモノハ、今ノ發案者ノ希望ヲ達セラ、ル、ダケノ效能ガナクシテ、而シテ是ガ出タナラバ、其極ト云フモノハ、非常ノ所ニ立至リマシテ、會計上ノ不取締ヲ來シハシナイカト云フ憂ガアリマスカラ、此案ニハ遺憾ナガラ同意ヲ致スコトガ出來ナイト云フ考デゴザリマス

○副議長(島田三郎君) 小西甚之助君

○田健吉君(百七十八番) 議長

○副議長(島田三郎君) 唯今小西君ガ通告ニ依リマシテ發言ヲ……

(小西甚之助君演壇ニ登ル)

○小西甚之助君(六十三番) 諸君、本員ハ本案ニ向ッテ反對ノ意見ヲ述ベヤウト云フモノデゴザリマス、本案ニ向ッテ反對ノ意見ヲ述ベマスルコトハ、本員將ニ頗ル困難ノ地位ニ立ツコトヲ感ジマス、何トナレバ本案ハ憲法上ニ於テ議會ノ權利ヲ擴張シヤウトスルモノデゴザリマスカラ、之ニ反抗スルコトハ取モ直サズ議會ノ權利ヲ擴張スルコトニ反抗スルガ如キ外觀ヲ裝フカラデゴザリマス、特ニ本會ノ趨勢ヲ察シマス、恰モ一瀉千里ノ通過スベキ模様ヲ認メマスルガ故ニ、本員ガ其理由ヲ直論致シ、其意義ヲ詳説致シテ、遺憾ナキヲ得マスルコトハ、最モ難事タルニ屬スルコトヲ信ズルノデゴザリマス、然レドモ本員ト雖モ又本會ノ一分子デゴザリマス、豈ニ其權利ノ擴

張ヲ欲セザルモノデゴザイマセウカ、其權利ノ擴張ハ素ヨリ希望シテ萬々已マザルコトデアル、然レドモ其擴張ハ憲法ノ中ニ望ムモノデアル、決シテ憲法ノ外ニマデ逸シテ望マウトハ致スモノデナイ、憲法ノ明文ガアル以上ハ、默シテ之ニ甘ンズル覺悟デアル、何トナレバ憲法ノ外ニ逸シテ權利ヲ張ルト云フコトハ、是ヲ張ルト同時ニ憲法ヲ破ルモノデアルカラデゴザイマス、議會ノ權利ハ憲法ヨリ來ルモノデアル、而シテ來ル所ノ憲法ヲ破ル、是ヲ張ル所以ハ決シテ是ヲ張ル所以ノ途デアリマセヌ、故ニ本員ガ特ニ本論ニ入ッテ述ベヤウトスル所、言々皆至正ニ出デ、語々總テ至公ニ係ッテ、毫末モ其間ニ勝手ガまゝ私ヲ挾マナイ心得デゴザイマスカラ、諸君冀クハ其説ノ壯ナラザルコトヲ見テ、徒ラニ其言ヲ縮メ語ヲ低ウスルモノト認メラレヌコトヲ本論ニ先ツテ豫メ此事ヲ願フテ置クノデアル、本員ハ其會計法ヲ改正致シテ、豫備費ヲ款項ノ他ニ置カウトスルモノデアッテ、其理由ハ憲法第六十四條ノ第二項ニ謂フ所ノ豫算ノ款項ニ超過シタル支出ハ、憲法六十九條ニ云フ所ノ豫備費ヲ以テ補充スベキモノデアルカラ、此豫備費ノ支出ハ豫算ノ款項以外ニ置カナケレバナラヌト云フモノデゴザイマス、諸此理由ヲ取來ッテ、之ヲ別段ニ意譯シテ見ルト、或ハ斯ウ云フコトニナルノデアル、現行法デハ豫備費モ亦款項中ノ一費目デアル、然レニ補充ナルモノハ、款項ニ超過シタル支出ニ向ッテセラル、モノデアルカラ、款項中ノモノタル豫備費ノ不足モ、亦豫備費ヲ以テ補充スルト云フ最モを以テ結果ヲ生ズルカラ、豫備費ハ款項ノ外ニ放チテ、此を以テ結果ヲ避ケタイト云フコトガ、即チ是デアリマス、成程其結果アリトシマシタナラバ、隨分を以テヤウデアル、然レドモ自己ヲ以テ自己ヲ補ヒ、自己ヲ以テ自己ニ充ツルト云フコトハ、一般ノ普通ノ道理ニ於テ爲シ能ハザルコトデゴザイマス、然ラバ茲ニ所謂超過ノ支出ニ生ズベキ款項ナルモノハ、豫備費以外ノ款項ヲ指スコトハ、言フヲ俟タザルコトデアル、然ルニ文字ニ尙拘泥シテ款項ノ超過支出ニ向ッテ充用スルモノナレバ、充用ノ元資ハ支出ノ款項外ニ置カナケレバナラヌト致シマスレバ、到底文字ニ拘泥ノ結果ハ、豫備費ナルモノハ豫算以外ニ置カナケレバナラヌト云フ理窟ニナラザルヲ得ヌコトデアル、何トナレバ豫備費トテ又是レ一ノ豫算ニ外ナラザルコトデアルノニ、元來豫備費ハ豫算ノ不足ヲ補充スルモノデアルカラ、豫算タル豫備費ノ不足モ亦豫備費ヲ以テ補充シナケレバナラヌト云フ、極クミミ窮屈ナル理窟ニ陷ルモノデアルカラデゴザイマス、然レドモ諸君、豫算ニ超過シタル支出ナル語ハ、豫備費以外ノ豫算ニ超過シタル支出ヲ指スコトハ、何人ニアッテモ疑フマデモナイコトデハゴザイマセヌカ、果シテサウデゴザイマスルナラバ、款項ニ超過シタル支出ヲ補充スル費目ガ豫備費デアルカラト言ッテ、強ヒテ此豫備費ヲ款項外ニ放逐シヤウト云フコトハ、詰リ款項ノ文字ニ抱泥シタル極クミミ狹キ論旨ト言ハナケレバナラナイコトデアル、殊ニ彼ノ憲法第六十四條第二項ノ豫算ノ款項ナル文字ハ、決シテ會計法ニアルヤウナ款項節目杯云フヤウナ制限セラレタル極クミミ狹イ意味ノモノデハナ

クテ、唯汎博ニ豫算ノ事項ト云フガ如キモノデアリマス、即チ豫算ノ款項ニ超過シ云々ハ、豫算ノ事項ニ超過シ云々デアッテ、之ヲ平タク申スルナラバ、唯單ニ或ル事柄ノ費用ガ豫算ニ超過シ云々ト解スベキモノデゴザイマス、何トナレバ憲法中ニハドコニモ款項ニ分ツト云フ豫算編成法ヲ示シテナイカラノコトデゴザイマス、又況ヤ此憲法第六十四條第二項ノ支出ハ、元ト元ト豫備費ヲ以テ補充セラルベキ支出デハナイニ於テヤデアル、願クハ少シク此事ヲ辯シヤウト思ヒマス、此六十四條ノ二項ナルモノハ政府ヲシテ豫算ノ額外、又ハ豫算ノ設置外ニ於テ責任ヲ持ッテ臨機ノ支出ヲ爲サシメヤウガタメニ設ケタルモノデアッテ、決シテ豫備費ヲ以テ補充スベキ支出ノ場合ヲ規定シタルモノデハナイノデアル、若モ其場合デアラナラバ、何故ニ憲法六十九條ニ殊更ニ文ヲ重ネテ「避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ爲ニ云々」ト豫備費支出ノ場合ヲ蛇足ニ規定シマスルカ、又何故ニ前ニハ「豫算ノ款項ニ超過シ」ト言フテ、後ニハ「避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ爲」ト云フガ如キ同ジ場合ヲ云フニ、異ナリタル文辭ヲ用ヒマスルゾ、是等ノ二點カラ考ヘテモ、明ニ六十四條ノ二項ト六十九條ハ互ニ關係ヲシナイデ、全ク別物デアルト云フコトヲ信ズルニ餘リアルコトデアル、蓋シ六十四條ノ二項ノ文意ト、六十九條ノ文意トガ、偶々丁度類似シテ居リマスルガ故ニ、茲ニ混同ヲ來シマシタコトデゴザイマセウケレドモ、此二者ノ間ニハ自ラ徑庭ガアリ、決シテ混合同視スベキモノデハナイ、大ニ似テ非ナルモノデゴザイマス、一體此六十四條ノ第二項ナルモノハ、返スミミモ六十九條トハ別物デアッテ、毫モ關係ヲ有シテ居ナイモノデアル、唯同ジ所ハ豫算ノ軌道外ニ逸シテ支出スルノ一事デアアル、然レドモ是ハ唯外面上ニ於テ同ジバカリデアル、軌道外ニ逸シテ支出スベキ財源ハ即チ異ナッテ居ルノデアリマス、茲ニ殊更ニ財源ト云ヒマシテ……政府ハ六十四條ノ二項ニ依ッテ、他ノ財源ヲ以テ超過支出ニ充テマスコトアルニ列ベテ申シマセウガタメニ、申シマシタコトデゴザイマシテ、ちよつと此事ハ割註ヲ致シテ置カナケレバナラナイ、元來此第二項ナルモノハ第一項ニ對シテ連絡ヲ取ツタニ外ナラナイ、第一項ノ明文ニ曰ク「國家ノ歲入歳出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ヘシ」是ハ歳入歳出ハ豫算的ニ事前ノ協贊ヲ必要トスルコトヲ示シタルモノデアル、第二項ノ明文ニ曰ク「豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出アルトキハ後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス」是レ歳出ハ實算的ニ事後ノ承諾ヲ必要トスルコトヲ定メタルモノデアル、故ニ第六十四條ハ國家ノ歳出ハ必ズ帝國議會ノ協贊ヲ求ムルコトヲ必要トシテ、サウシテ其協贊ヲ求ムル場合ハ、豫算的ニ求ムル場合ト實算的ニ求ムル場合トノ二ツアルコトヲ示シテ、其豫算的ニ求ムルハ、事前ニ於テスルコト、實算的ニ求ムルハ事後ニ於テスルコトヲ定メタルモノデアル、シテ見マスレバ一面ヨリ見ルナラバ、第二項トテモ矢張第一項ノ如ク歳出ハ議會ノ協贊ヲ經ルヲ要スルモノゾト云フニ過ギザルコトデアル、異ナル所ハ唯豫算ト實算ト又事前ト事後トニ分ル、ノミデアル、歳

出ト協賛トノ關係ハ少シモ異ナラザル所デゴザイマス、提出者ハまさか右第一項ヲ以テ六十九條ト牽聯スルトハ言ヒ能ハザルコトデアラウ、果シテサウデゴザイマスナラバ、第二項モ亦六十九條ト牽聯スルトハ言ヒ得ベカラザル次第デハゴザイマセヌカ、何トナラバ既ニ述べタルガ如ク、第二項トテモ矢張第一項ノ如ク歳出ハ議會ノ協賛ヲ經ルヲ要スルモノゾヨト云フニ過ギザルモノデアリマス、是レ本員ガドコモデ別物云々ト主張シテ止マザル所以デゴザイマス、又提出者ニ於キマシテハ會計法ノ法文ヲ現在ノ儘ニ存シテ置イタトキニハ、政府ハ憲法第六十四條第二項ノ法文ニ附會ヲシテ、常ニ豫備費以外ノ支出ヲ爲スニ至ルト斯ク言ハレマスケレドモ、元ト々々六十四條ノ第二項ハ六十九條ト別物デアルト云フコトハ、前ニ論ジマシタ次第デゴザイマスカラ、此憂ハ決シテナイモノデアアル、六十四條ノ第二項ノ支出ハ臨機別途ノ支出デゴザイマスレバ、毫モ豫備費ヲ款項中ニ置クト、款項内ニ存スルトノ關係ハナイモノデアアル、又提出者ハ斯クナルトキハ憲法第六十四條ノ法文ノ精神ハ消滅シテ仕舞ッテ、憲法第七十條ノ非常緊急ノ場合ニ限ッテ、僅ニ勅令ヲ以テ法律ニ代ラセタルマデノ精神ヲ滅却シテ、其七十條ヲシテ實際無効ニ歸セシムルニ至ルト言フテ居ル、是レ果シテ何タル誤解デアアルカ、提出者ガ憲法第六十四條ノ二項ト、七十條トハ各々性質場合ノ異同アルコトヲ辯ジナイモ、亦甚シイモノト言ハナケレバナライ、七十條ハ緊急ノ場合ニ於テ財政處分ヲ爲シ得ベキコトヲ規定シタルモノデアアル、サウシテ此所謂財政ノ處分トハ、或ハ一時ノ繰替ヲ爲ストカ、或ハ新稅ヲ起ストカ、或ハ國債ヲ募ルトカ云フヤウナ類ヲ指スノデアアル、又廣島ノ議會ニ提出セラレタル軍事公債案ノ如キ、若シ當時内外ノ狀形ニ依ッテ議會ヲ召集スルコトノ能ハザル場合デアッタナラバ、屹度此七十條ニ依ッテ政府ガ勅令ヲ以テ是等ノ處分ヲ爲シ得ルモノデアアル、而シテ是ト事變ッテ第六十四條ノ第二項ノ規定ハ、實際ノ支出ハ假定ノ豫算ノ軌道外ニ爲シ得ル場合ヲ示シタルモノデアッテ、殊ニ又必シモ此第七十條ノ如ク非常緊急ノ場合ニ限ラナイデ、平時ト雖モ爲シ得ルコトデアリマス、斯ク申シマスルナラバ、或ハ言フカモ分ラナイ、七十條ハ廣ク必要ナル財政ノ處分ヲ爲シ得ルモノデアアル、故ニ或ハ一時ノ繰替處分ヲ爲スコトヲ得ベク、新稅處分ヲ爲スコトモ得ベク、國債處分ヲ爲スコトヲ得ベシ、獨リ是等ノ財源處分ノミニ限ラナイ、臨時支出處分ヲ爲シ得ベキコトハ、財政處分ト云フ中ニ包含スルモノデハナイカト斯様ニ言フモノガアルカモ分ラナイ、成程財政處分ト云フ上カラ見レバ、支出處分モ包含スルモノ、如ク見エマス、然レドモ彼ノ六十四條ノ二項ニ依ッテ考ヘマストキハ、支出處分ニ在ッテハ——支出處分ニ在ッテハ、全ク此七十條ニ包含セシメナイデ、之ヲ六十四條ノ二項ニ讓ツタルモノト知ラル、ノデアアル、何トナレバ豫算額以外ナルト、豫算設置以外ナルトヲ問ハナイデ、苟モ臨時支出ノ處分ヲ爲シ得ベキコトハ、彼ノ六十四條ノ二項ニ於テ當然其權能ヲ授ケテアルカラデアアル、憲法ノ文字ハ嚴正ナルモノデアアル、何ゾ同シヤ

ウナ權能ヲ二タ處ニ規定スルガ如キコトガゴザリマセウカ、果シテサウデゴザリマスレバ、七十條ハ支出處分ニ關係ナイコトハ誠ニ明ナルコトデアアル、又提出者ガ既業ニ關係ナイコトヲ自白シテ居ルヤウナコトデアアル、何トナレバ提出者ハ七十條ハ法律ニ代ルベキ勅令ヲ發シ、僅ニ之レヲ爲スヲ得ル云々ト説明シテアルカラデゴザイマス、ソレ勅令ヲ以テ代ルベキ法律、即チ此勅令ヲ以テ元々規定スベキモノハ何故デアアルカ、譬ヘバ繰替處分法ヤ、新稅法ヤ、國債法等ノ類デアアルカラデアアル、是等ノ法ハ其性質トシテ法律ヲ以テ規定セナケレバナラヌモノデアアル、サウシテ支出ノ如キハ法律ニアラザル所ノ豫算ヲ以テ規定スルコトガ本來當然ノ性質タル以上ハ、提出者ガ法律ニ代ルベキ勅令ヲ發シ、僅ニ之ヲ爲スヲ得ルノガ七十條ナリト宣言シマシタコトハ、誠ニ自ラ七十條ノ處分中ニハ支出處分ヲ包含シナイコトヲ認メタルモノト言ハズシテ何デゴザリマセウカ、論ジテ茲ニ至リマスレバ、本員ノ所說ハ頗ニ明瞭ヲ得タルモノト信ズル、然レドモ茲ニ最モ注意スベキ點ハ、七十條ト六十四條ノ二項トノ間ニ一種ノ關係アルコト、即チ是デアアル、七十條ニ依ッテ處分スル時ハ、必ズ是ト同時ニ六十四條ノ二項ニ依ッテ處分セラルベキコトデアアル、即チ七十條ニ依ッテ財源ノ處分ヲ爲セバ、必ズ六十四條ノ二項ニ於テ支出ノ處分ガアルコトデアアル、サウデナケレバ、七十條ノ處分ノ效果ガナクナッテ仕舞ッテ、則チ財源ヲ作ッテ人ヲ作ラヌコト、ナルカラデゴザリマス、故ニ此七十條ノ處分アレバ又均シク六十四條ノ二項ノ處分ヲ見ルコト、覺悟シテ居ラナケレバナラヌ、聊カ混淆ヲ避クルガためニ、此點ヲ申シテ置キマス、諸前述べノ如キ理由デアリマスレバ、今假ニ一步ヲ讓ッテ豫備費ヲ款項内ニ置ク時ハ、政府ハ款項ニ超過云々ノ名義ヲ唱ヘテ、款項超過ノ正條タル第六十四條ノ第二項ノ款項超過ノ明文ノミヲ濫用ヲ致シテ、其實豫備費ヲ以テ支出スベキモノデアアル、眞義ヲ打忘レテ仕舞ッテ、則チ六十四條ノ法文ノ精神ハ消滅スルモノトシマスルモ、決ンテ是ガためニ彼ノ七十條ヲシテ實際無効ニ歸セシムルガ如キコトハ、斷シテナイモノト私ハ思フノデアアル、況ヤ其第六十四條ノ第二項ハ、決シテ豫備費ヲ以テ支出スルノ方法デアナイニ於テヤシヤ、返ス々々モ第七十條ガ實際無効ニ歸スルナドハ、思ヒモ寄ラヌコトデアアル、以上述來リマシタ所ヲ約言ヲ致シマスレバ、提出者ガ第一憲法第六十四條第二項ノ支出ヲ豫備費ヲ以テ補充スルコトニ自認スルハ、誠ニ誤解ノ甚シキモノデアアル、第二憲法第六十四條ノ第二項ノ規定ヲ右ノヤウニ思惟スルノハ、憲法ガ政府ヲシテ豫算ニ牴牾滯滞ナカラシムルガためニ、臨機ノ支出ヲ責任ノニ利用シテ、法意ヲ知ラヌモノデアアル、第三假ニ右六十四條第二項ハ豫備費ヲ以テ補充支出スルモノト解シテ考ヘマシテモ、所謂款項ニ超過云々ノ款項ナル文字ハ、汎博ナル意義デアッテ、豫算編成ノ款項デハナイノデアアル、第四憲法六十四條第二項ノ精神ハ豫備費ヲ款項内ニ存シ置クモ、決シテ消滅セシムルモノデアナイノデアアル、第五憲法第七十條ハ全ク別物デアッテ、六十四條ニ關係ヲシテ居リマセヌガ故ニ、豫備費ヲ款項内ニ存シ

タカラト云ツテ、決シテ爲メニ此七十條ヲシテ實際無効ニ歸セシムルガ如キコトハ斷シテナイモ、デアリマス、此五ツノ理由アリマスルヲ以テ、本員ハ斷々トシテ本案會計法ノ改正案ニハ反對ヲ表スルモノデアアル、諸君ドウカ憲法上議會ニ不利益デアアルカラト云ツテ、公平無私ノ見解ヲ枉ゲラル、ト云フヤウナコトハナカラヌコトヲ、切ニ希望シテ止マザルモノデゴザリマス

○副議長(島田三郎君) 田庭吉君

(田庭吉君演壇ニ登ル)

○田庭吉君(百七十八番) 此會計法ノ改正ニ就キマシテハ、恐ラク反對ハナカラウト思ヒマシタ、所ガ意外ニモ唯今小西君カラ縷々ノ反對説ガアリマシタナリ、又政府委員カラノ辯明モアリマシタ、就キマシテ聊カ之レヲ贊成スルノ意味ヲ一ニ申上ゲテ、諸君ノ御參考ニ供サウカト思ヒマスデアリマス、實ニ此政府委員ノ説明ニ依リマスルコト云フト、元ト此豫算ト云フモノハ、必ズ款項デアルベキモノデアアル、款項デナイ以上ハ、則チ豫算デナイカラシテ、萬一此議決ニシテ通過スル場合ニ於テハ、遂ニ其弊タルヤ或ハ豫備費ナルモノハ、議會ノ協賛ヲ經ルニ及バズシテ、政府ガ濫ニ勝手ニ設ケルト云フヤウナコトニナラヌニモ限ラヌ、款項以外ニアツタナラバ、則チ豫算ト云フコトハ出來ヌト云フノ理由ヲ以チマシテ、大ニ反駁ヲシ、從テ此第六十四條第二項ノモノトハ、固ヨリ違フト云フ——豫備費ト云フモノハ、異ナル所ノモノデアアルト云フコトヲ辯明ニナリマシタデアリマス、如何ニモ現行會計法ニ依リマスレバ、則チ第六條ニ於キマシテ「歳入歳出ノ總豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スヘシ」トアリマスルカラ、款項デナケレバ、則チ豫算デナイト云フコトモ言ヘルカモ知レマセヌガ、ツレガ則チ不都合デアアル、故ニ是ニ但書ヲ設ケテ豫備費ト云フモノヲ、款項以外ニ置カウト云フンデアリマスル、既ニ法律ニ於テ款項以外ニ於テ豫備費ト云フダケハ、豫算ト雖モ款項以外ニ置クト云フコトヲ明ニ致シマシタ以上ハ、固ヨリ政府ガ勝手ニ豫備費ト云フモノヲ増減ヲシタリ、或ハ議會ノ協賛ヲ經ヌト云フヤウナ譯ニ往カヌト云フコトハ、則チ明瞭ナコトデアリマシテ、縱令款項以外ト雖モ豫備費ナルモノハ豫算デアアルト云フコトモ、從テ明ナルモノト考ヘルノデアリマスル、抑、此案ノ起ツタ理由ト申シマスルモノハ、既ニ諸君モ數回ノ議會ニ於テ御經驗モアリマスルコトデアリマスルカラ、理由ヲ別段申上ゲナクテモ、疾クニ御了解ノコト、考ヘマシテ、最前委員會ノ報告ノ時ニ於キマシテモ、別段ニ申上ゲナク第デアリマスル、其譯ト申シマスルモノハ、此豫備費ト云フモノハ、憲法ノ明條ニ依リマスル、避クベカラザル豫算ノ不足ヲ補フタメニ、又ハ豫算ノ外ニ生ジタル必要ノ費用ニ充ツルタメトアリマスル、アリマスルガ、第六十四條第二項ト何カ異ナル所ガアリマスルカ、唯文字上ニ於キマシテ豫算ノ款項ニ超過スト、第六十四條ノ二項ニハ見エテ居リマスルガ、此第六十九條ノ豫算ノ不足ヲ補フト云フノハ、事實ニ於テ則チ矢張款項ニ超過シタモノデアリマセヌカ、款項ニ超過スルカラ

シテ、則チ不足ガ生ジタル譯デアツテ、款項ニ超過セヌ以上ト云フモノハ、不足ト云フコトニハナラヌデアリマスル、スレバ事實ニ於テハ同一ノモノデアツテ、少シモ異ナル處ガアリマセヌ、又其異ナル處ノナイト云フニ就キマシテハ、一ツノ玆ニ參照トセニヤナラヌコトモアリマスル、其譯ト云フノハ、此第七十條ニ於キマシテハ、則チ此次ノ議會ニ於テ、帝國議會ニ提出シテ承諾ヲ求メルト云フコトガアリマスル、其豫備費ノモノモ亦七十條ノモノモ政府ガ——豫備費ハ固ヨリ豫算ノ中デアリマスルケレドモ——政府ガ勝手ニ使ツテ後日帝國議會ノ承諾ヲ求メルモノニナツテ居リマスルナリ、七十條ハ則チ公共ノ安全ヲ保持スルタメ緊急ノ需要アル場合ニ於テ政府ガ特ニ適當ノ處分ヲ爲シテ、後日議會ノ協賛ヲ求ムルト云フコトデアリマスル、即チ豫備費ニハ固ヨリ事後ノ承諾ヲ求ムル以上ハ、其所ニモ必ズ其明文ガアルベキモノト考ヘルデアリマスル、然ルニ其明文ヲ置カズシテ、第六十七條第二項ノモノニ置イタト云フモノハ、即チ其物ノ同一デアアルカラシテ、豫備費ノ所ニ於テ別段ニ其明文ヲ設ケイデモ一ヲ以テ相照シテ、同ジ歸著ヲ一ニスルコトニナルト云フ次第デアラウト私共ニ於テハ考ヘル次第デアリマスル、抑、此事實ニ照シテ考ヘルノニ、若ヤ唯今小西君ガ言ヘル如ク、此第六十四條第二項ノモノト云フモノハ、全ク豫備費外ニシテ政府ハ適宜ニ豫備費外ニ之ニ依ツテカラニ、支出ヲ爲シ得ラレルコトニナリマシタナラバ、殆ド豫算ト云フモノハアツテナキガ如キ事實ニナリマシテ、豫算ノ有無ニ拘ラズ、政府ハ必要ト認メレバ、何時デモ之ニ依ツテ支出シ得ラレルト云フコトノ結果ニナリマス、果シテ然ルトキニハ、遂ニ會計紊亂ノ源トナツテ、其檢束ヲ爲スト云フコトノ途ヲ得ヌデアリマスル、ツレ故ニ是マデノ第一期以來ノ帝國議會ニ於キマシテモ、此第六十四條第二項ニ於テ即チ豫算外ト認メテ支出スル經費ニ就キマシテハ、或ハ愛岐震災ノ如キ費用、其支出ニ於テ止ムヲ得ヌト云フトキニハ、承認ヲシタコトモアリマスルケレドモ、其他ノ箇條ニ於キマシテハ、誠ニ必要ト認ムル費用ト雖モ、多ク云々致シテ承諾ヲ與ヘナイコトニナツテ議會ハ全ク之ヲ豫備費ノ支出ニ對シテ、持チ得ベキ所ノ條項デアアルト云フコトニ、是マデ見テ居ルコトデアリマスル、ツレ故ニツレニ就イデ今マデ政府ノ辯明スル點ニ於テ、聊カ口實デアアルト云フモノハ、此豫備費ト雖モ矢張豫算ノ款項デアアルジャナイカ、豫算ノ款項デアアルカラシテ、豫備費ノモノヲ此第六十四條第二項デ同一ノモノト見タトキニハ、即チ款項ニ超過シタト云フ文字ハ當ラヌデアナイカト云フコトヲ以テ、豫備費外ニ之ヲ適用スルコトニナツテ居リマス、ツレガ即チ是マデ政府ノ此第六十四條第二項ノ款項ト云フコトニ就イテ、豫備費外ノ支出ヲマア濫用スルコト云フコトノ理由デアアルガ如キ有様ニナツテ居リマスルカラ、ツレ故ニ今日ハ此豫備費ト云フモノハ款項以外ニ於テ、全ク此憲法第六十四條第二項ガ即チ豫備費支出ノ結果ノ承認ヲ求ムル手續ニナルト云フコトヲ明ニスルノガ、適當デアアルト云フコトニ考ヘマシタ次第デアリマス、即チ提出者ノ意モツレニ外ナラヌモノト推考致ス次第デアリ

マスル、斯ル議會ノ權能ニ附キ關係ノアルコトデアリマスルカラ、ドウカ諸君ハ之ニ御賛成ニナラシコトヲ希望致シマス、尤モ小西君ガ七十條ノコトモ種々御辯解ニナリマシタガ、如何ニモ七十條ノコトニ就キマシテハ、非常ノ場合等ハ出スコトモアリマセウ、必シモ七十條ガアルカラ、此或ハ剩餘金支出ノ如キコトガアツテモ差支ナイト云フ譯ニハ參リマセヌガ、固ヨリ斯ウ云フコトニ檢束ヲ加ヘル以上ハ、或ハ豫備費ヲ幾分カ餘地ヲ置イテカラニ、實際差支ヘヌ場合ノ考ト云フモノハ、議會ニ於テナケレバナラヌモノト思ヒマシ、又萬一豫備費デ差支ヘルトキニハ、臨時帝國議會ヲ開イテ協賛ヲ求メルガ宜イデアリマスルナリ、又其事柄ニ依リマシテハ、七十條ヲ適用スルコトモアリ得ラル、デアリマスルカラ、豫備費ト云フ金額ニシテ相當ノ額ヲ置ク以上ト云フモノハ、事實ニ於テ少モ差支ナク、則チ國家ニ在ルベカラザル剩餘金杯ヲ目當ニシテ、會計ノ紊亂ヲ釀シ、豫算權ノ蹂躪ヲ受クルト云フヤウナコトノナイヤウニ致シタイト云フコトニ、私等ハ熱望デアリマスルカラ、本案ヲ賛成致シマシタ次第デアリマス、宜シク御賛成アラントヲ希望致シマス

○金尾稜嚴君(二百四十七番) 議長

○副議長(島田三郎君) 金尾稜嚴君

(金尾稜嚴君演壇ニ登ル)

○金尾稜嚴君(二百四十七番) 諸君、本案ハ憲法ニ關係ノアル大切ナ問題デアリマスルカラ、如何ニ軍國多事ノトキトハ申シナガラモ、最モ慎重ニ攻究ヲ致サネバナラヌ大切ナ問題デアラウト思ヒマスル、本案ノ可否ヲ決セントスルニ先立ツテ、先ヅ左ノ問題ヲ設ケテ決定シマシタナラ、一番早ク分ルデアラウト思フ、ドウ云フコトデアアルカト言ヒマセバ、第一ニ從來政府ノ行ヒ來リマシタ所ノ豫備費以外ノ支出ナルモノハ、法文不備ノタメデアアルカドウカ、斯ウ云フコトヲ一ツ決定シタインデ、第二ハ若シ法文不備ノタメデアアルトシマスレバ、會計法第六條ノ不備ナルガタメデアツタカドウカ、第三ニ果シテ會計法第六條ノ不備ニ起因シタモノ、從來豫備費以外ノ支出ナルモノハ、法文不備ノタメデアツタ決定ガ附キマシタナラバ、吾々ガ是マデ豫備費以外ノ支出ニ就イテ、政府ノ行爲ヲ責メ、憲法違反ナドト云フコトハ、上奏ニモナリ、決議ニモナリ、解散問題ノ一ニモナツタ大切ナ事柄デアリマスルガ、斯ノ如ク吾々ガ政府ヲ責メタト云フノハ無理デハナカッタカドウデアアルカ、斯ウ云フコトヲ一ツ決定シマシタナラ、明瞭ニ分ルデアラウト思フ、提出者モ理由書ノ中ニドウ云フテ居ルカト云フニ、初メカラ憲法第六十四條第二項ニ「豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出アルトキハ後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス」トアル、第六十九條ニハツレガタメニ支出スベキ所ノ豫備費ヲ設クベシト云フコトガアル、又會計法ノ第七條ニハ「豫算中ニ設クヘキ豫備費ハ左ノ二項ニ分ツ、第一豫備金、第二豫備金云々」トアル、斯ノ如ク此法文ヲ照應シテ見レバ、前後ノ法文彼此相照應發揮シテ甚

ダ明白ナル所ナリトス、斯ウ書イテゴザイマス、實ニ此通デアアル、一點ノ疑モナイノデアアル、法文ニ少シモ不備ナ點ハナイノデアアル、ツレデアアルカラシテ、今日迄政府ノ行爲ハ全ク憲法ニ違反シタモノデアルト云フコトニ就イテハ、吾々ハ政府ノ行爲ハ全ク憲法ニ違反シタモノデアルト云フコトヲ今日マデ責來ツタノデアアル、然ルニ提出者ハ其次ニ至ツテサリナガラ——サレバ豫備費ナルモノハ豫算ノ款項以外則チ豫算案中ノ所謂款項ノ外ニ置カルベキコトハ、論ヲ跋タザル所ナルニ、會計法第六條ニハ「歳入歳出ノ總豫算ハ之ヲ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スヘシ」トノミアリテ、豫備費モ亦通常款項ノ中ニ置クモノ、如キ觀アルハ、前後抵觸セル嫌ナキ能ハズ、斯ウアル、此提出者ノ前後抵觸セル嫌ガアラウカト言ハル、ガ、吾々ハ少モ分ラナイノデアアル、會計法第六條ノ款項ト云フ中ニハ、所謂豫備費モアリマセウ、併ナガラ其第六條ノ款項ト云フ言葉ノ中ニ、豫備費ガアルカラト申シテ、憲法第六十四條ノ款項ト云フ文字ノ中ニ豫備費ガ籠ッテ居ルト云フコトハ、ドウシテモ言ヘナイ、提出者ハ曾テ豫算ニ就イテモ三通リニ使ヒ分ケテアル、斯ウ言ハレタ、第一ニ唯豫算ト云フ中ニ、第一豫備費第二豫備費ヲ除イテ豫算ト云フトキ、第一豫備費ヲ籠メテ豫算ト云フトキ、第二豫備費ヲ籠メテ豫算ト云フトキ、ト同ジ豫算ト云フ言葉ニモ三通リアルト言ハレタ、其通リデアアル、款項ト云フ言葉ニモいろ／＼アル、會計法第六條ニ謂フトキノ款項ダト言ヒマセバ、其中ニ固ヨリ豫備費モ籠ッテ居リマセウ、ツレガ籠ッテ居ルカラト云フテ、憲法第六十四條ノ豫算ノ款項ニ超過スト云フ言葉ノ中ニ、第一豫備費第二豫備費ガ籠ッテ居ルベキガナイノデアアル、何故斯ク申シマスルカナレバ、若シ曲解者ガアツテ無理ニ解釋ヲシテ、此憲法第六十四條ノ款項ト云フ中ニハ、第一豫備費モ第二豫備費モ籠ッテ居ル款項デアアル、斯ウ言ヒマスレバ、此第六十四條ノ法文ニハイラナイ文字ガ澤山書イテアル、款項ト云フカラ豫備費モ款項デアアルカラ籠ッテ居ルト言ヘバ、第一豫備費バカリデハナイ、第二豫備費モ籠ッテ居ラネバナラヌ、其第二豫備費ハドウデアアルカト云ヘバ、豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツルタメニ斯ウ云フコトノタメニ設ケテアル第二豫備費デアアル、其第二豫備費迄ガ此六十四條ノ豫算款項ニ超過スト云フ言葉ノ中ニ籠ッテ居リマシタナラバ、則チ六十四條ノ豫算ノ款項ニ超過シタト云フノハ、總豫算ニ超過シタト云フト同ジコトニナル、總豫算ニ超過シタト同ジ意味ニナリマスレバ、何ノ必要ガアツテ、其次ニ又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出ト云フコトヲ何故憲法ニ書イタデゴザイマセウカ、サウシテ見マスルト、斯ノ如ク曲解スルナラバ、憲法ノ書キヤウガ惡ルイト言ハネバナラヌ、冗語デアアル、贅文デアルト云フコトガナクチャナラヌ、憲法ノ惡ルイ筈ハアリマセヌカラ、是ハ曲解スル者ガ惡ルイニ違ヒナイ、出來ナイコトヲ解釋スルノデアリマス、如何ニ政府ト雖モサウ云フ解釋ハ出來ナイモノデアラウト吾々ハ思フデアアル、然ルニ元田君ハ頻ニ其款項ト云フコトニ政府ハ重キヲ置キ、ツレヲ據所トシテ斯様ナ解

釋ヲスル、何所カラ御聞ニナツタカ、サウ云フコトヲ御辯明ニナリマスルガ、唯今政府委員ノ言ハレタ所デ、本員ハ元田君ノ御想像ガ間違ッテ居ッタト云フコトガ分ル、政府委員ハ何ト云ハレタカ、六十四條ノ款項ト云フ文字ノ中ニハ、豫備費ガアラウガアルマイガ構ハナイ、斯フ言ッテ居ル、元田君ハ必ズ其所ニ豫備費ト云フモノガナクテハイケン、斯ウ云フコトニ政府ガ解釋シテ居ルヤウニ御聽取ニナリマシタカラ、斯ウ云フ改正案ヲ御提出ニナリマシタラウガ、政府委員ハサウデハナイ、ナイト云フノハドウデアリマス、元田君ノ改正案ノ通り通過シマシタ所ガ、政府ハ「又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出アル時ハ」ト云フコトガ六十四條ニアルカラ、之ヲ曲解シテ矢張豫備費以外ノ支出ヲアルニ違ヒナイ、豫備費ノ款項以外ニ置キマシタ所ガ、豫算ノ外ニコレヲ置クト云フノハドウシテモイケン、矢張豫算デアアル、サウスルト「又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出」ト云フデアアルカラ、豫備費モ豫算デアアル、豫備費以外ノ支出ヲシテモ宜シイト斯ウ解釋ヲスルニ違ヒナイ、是モ固ヨリ間違ッテ解釋ニハ違ヒナイ、驚入ッテ解釋デアアリマスガ、又款項ト云フ二字ヲ據ロトシテ、解釋スルヨリハ少シハ此方ガ穩デアアル、斯ノ如ク論ジテ見マスルト、此改正案ト云フモノハ、進ンデハ少シモ豫備費以外ノ支出ヲ政府カラスルコトノ出來ナイヤウナ效力ヲ持ツコトガ出來ヌ、退イテハドウデアアルカ、唯徒ラニ蛇足ヲ畫クト斯ウ云フコトニナル、サリガラ茲ニ斯ウ云フコトガゴザイマセウ、政府モ從來豫備費以外ノ支出ヲ六十四條ニ依ッテヤツテ居ル、ヤツテ居ルト云フモノハ、良心ニ顧ミタラ大方快クハナイデアリマセウ、是ハ甚ダ心持ハ宜クナイ、種々ナコトツケノ理窟ヲ云フケレドモ、良心ニ顧ルト甚ダ心持ガ宜クナイ、何カ機會ガアツタラ、是ヲ一ツ止メタイモノシヤト云フコトハ、過ヲ知ル所ノ政府ナラ知ルニ違ヒナイ、然レドモ何カ其機會ガナクテハ止メラレナイ、此所デ此改正ノ案ドモガ通過致シマシタナラバ、始テツレガ機會ニナリ、今マデ政府ガヤツタノハ、全ク法文不備ノ點ガアツタカラヤツタノデアアル、斯ノ如ク法文ノ整ツタ上ハ、モウ是カラハ政府ハヤラナイト斯ウ云フカモ知レマセヌ、サウスルト政府ガ良心ニ顧ミテ何カ止メタイト云フ考デモ持ッテ居リマスレバ、始テ之ガ效能ヲ爲シマセウガ、政府委員ノ云フ所ニ依レバ、サウデモまさかナイヤウデアアル、是ハ豫算ノ款項ノ中ニ、豫備費ガアラウガアルマイガ、政府ハ六十四條ニ依ッテアル、ツレハ豫算ノ外ニ生シタル支出ト云フ言葉ニ就イテ、政府ハサウ云フ曲解ヲスルノデアリマセウ、サウシテ見ルト、實ニ何ニモナラヌ效能ノナイ改正ト云ハナケレバナラヌ、若シ元田君ノ言ハル、コトガ通過シ、政府モ過ヲ悟ッテ、之ヲ機會ニシテ、今マデノ惡イコトハモウ是カラハセナイト斯ウ云フコトデアリマスルナラ、議院ハドウデアリマセウ、今日マデ政府ヲ批難シマシタガ、ツレハ全ク法文不備ノ點デ、政府ハ言ッタノデアアル、議會ガ憲法違反ダト云フハ、大早計ダ間違ト云フコトニナル、サウ云フ結果ニナリマシタナラ、始テ此元田君ヨリ御提出ニナツタ所ノ改正案ハ、私ガ

名ヲ付ケルト剩餘金支出期滿免除法案ト云フ名デモ付ケタラ宜カラウト思フ、是ヨリ外ノ效能ハナイノデアアル、要スルニ進ンデハ豫備費以外ノ支出ヲ喰留メルダケノ功用モナシ、退イテハドウデアアルカ、從來此議院ニ於テ唱ヘ來ツタ所ノ豫備費支出ノコトニ就イデ、政府ノ批難トモ申シマスルモノハ、全ク議院ノ批難シタノハ間違デアアル、憲法不備ノタメニ、政府ハ法律不備ノタメニ、政府ハヤツタノデアアルト云フコトニナレバ、始テ期滿免除——剩餘金ノ期滿免除ニデモナリマセウガ、其他ニ私ハ少シモ必要ヲ見ナイノデアアリマス、斯ノ如キ理由デアリマスカラ、有名ナル所ノ法律家ノ元田君ノ御提出ニナツテ、委員會ニ於テハ殊ニ通過シマシタ所ノ議案デアリマスノハ、甚ダ遺憾デアリマスガ、此議院ノ中ニモ從來豫備費支出ノコトニ就イテ、憲法違反ナドト云フコトヲ言ハナイ御方モアル、言ハナイ御方ガ之ヲ御提出ニナリ、之ニ御賛成ナサルノハ、御尤ナコトダト思ヒマスル、憲法違反ト云フコトヲやめ、言ッタ人ガ、之ニ御賛成ニナルト云フニ至ッテハ、少シク御考ガ違ヒハシマイカト思フ、ドウカ軍國多事ノ時デアリマスガ、斯ノ如キ重要ノ問題ハ申上グルマデモナイ、十分ニ御熟考ノ上デ、可否ノ御決定アラフコトヲ希望致シマス

○元田肇君(九十三番) 私ハ議場ニ請求ガゴザイマスルガ、本員ハ既ニ一度發議ノ趣意ヲ演說致シマシタゴザイマスルガ、私ノ提出ノ趣意ガ未ダ全ク盡シテ居ラヌト考ヘマスル故ニ、聊カ趣意ヲ辯明致サウト思ヒマスカラ、少シノ間……

○副議長(島田三郎君) 辯明ニ留ッテ居レバ宜シウゴザイマス

○元田肇君(九十三番) 若シ辯明以外ニ涉ツタナラバ、御制止ヲ願ヒマス

(元田肇君演壇ニ登ル)

○元田肇君(九十三番) 私ハ特ニデハゴザイマセヌ、衆議院規則ニハアリマスルケレドモ、發議ノ趣意ヲ辯明スルノ機會ヲ與ヘラレマシテ、滿場諸君ニ御禮ヲ申シマスデゴザイマス、デ多分ハ上ガラスデ置キタイト考ヘマシタガ、田君ノ御賛成ノ演說ヲ下サレタ以外ニ於テハ、唯攻撃ノミト云フコトデ實ハ私ノ豫想ニ反シタコトデ、提出ノ理由ヲモウ少シ申上ゲナケレバナラヌコトニナツタ譯デゴザイマス、私ノ提出致シマシタノハ、斯ウ云フ趣意デ提出致シマシタ、デ唯今ノ二百四十七番ノ演ゼラレマシタノハ、提出者ハ曾テ六十四條ノ第二項ニ依ッテ政府ガ豫備費等ヲ支出致シマシタノヲ是認シタル論者デアアル、ツレ故ニ之ヲ提出シタカラシテ、諸君ニ於テ注意シナケレバナナイ、之ヲ直スト云フト、政府ガ前ニ違憲デアアルト吾々ノ唱ヘタ所ノ趣意ヲ至當ト認ムル機會ヲ與ヘル、油斷ハナラヌゾト云フヤウナ滿場ノ如何ニモ人氣ヲ惹起ス所ノ御演說ヲ以テ、私ノ提出シタ趣意ヲ申サレコトデアリマスカラ、私ハ實ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス(人氣論ジャナイ)ト呼フ者アリ)私ノ提出シマシタ趣意ハ、此會計法ナドノコトニ至リマスルト云フト、隨分憲法ニ議論ガ及ンデ、面倒ナ問題デアリマスルガ、幸ニ此議會ニ於

テハ誠ニ満足ナル議會ノ有様デアッテ、政治ノ問題ヲ攻究スルニ一番宜イ議會デアアル、何カ行掛リガアルカト云ヘバ、行掛リモナシ、斯様ナ場合ニ於テ、苟モ其體裁ヲ得ナイモノ、或ハ不當トスルモノ、人ノ口實ヲ爲スト云フヤウナ不完全ナ法律ガアルナラバ、此平穩無事ノ今日ニ於テ、矯正シテ後日誤ナイヤウニ、又誤ガ爲シ得ベカラザルト云フコトニ益々確實ナルヤウニ致シテ置キタイト云フノガ、私ノ精神デ之ヲ提出致シマシタノデゴザイマス、私ガ此案ヲ提出致シマシタニ就キマシテハ、私一個ノ提出デアッテ、カラニ他ニドウ斯ウト云フ交渉ヲ致シタ問題デハナイ、又同志ノ者ニモ交渉ヲ致シタ問題デモナイノデアリマス、唯豫算ノ編成ニ於キマシテ、斯クナラナケレバナラナイト云フ觀念カラ出マシタ次第デアリマス、デ其次第ハモウ多辯ハ致シマセヌガ、六十九條ノ法文ヲ讀シテ見マスル、則チ憲法六十九條ノ法文ヲ讀シテ御覽ニナレバ、第六十四條ノ第二項ニ豫算ノ款項以外ニ置カナケレバナラヌモノデアルト云フコトハ爭ハレヌコトニナツテ居ル、避クベカラザル豫算ノ不足ヲ補フタメニ豫算ノ外ニ生シタル費用ニ充ツルタメトアッテ、豫算ト云フ當リ前ノ款項ノ外ニ置ケト云フコトハ編成上サウナラナケレバナラナイト確信シテ居ル次第デアリマス、デ唯今此問題ニ就イテ種々ナ反對ノ攻撃ガゴザイマシタケレドモ、私ハ小西君ノ御意見トハ提出ノ趣意ニ於テ見解ヲ異ニスル者デアアル、凡ソ國家ノ歲出入ニ於キマシテ殊ニ歲出ノ中ニ於キマシテ、剩餘金ノ如キ變體ノ幽靈然タル金ガ殘ツテ居ルコトハ決シテナイモノト確信シテ居ル者デゴザイマス、剩餘金ノ如キモノガアレバ小西君ノ言フヤウナ事柄ハ出テ來ルカ知レマセヌガ、ソレハナイモノデアアル、則チ何ガ歲出ノ部ニアルカト言ヘバ、年々ニ使用スル款項ニ見積ツタ入用ノ萬一ノ不足ヲ補フタメノ豫備費ガ据エアッテ、此外ニ金ハナイ筈デアアル、是ガ則チ本體デアルト私ハ看做スノデアアル、此本體ニ基イテ憲法ガ出來テ居ルモノデアアル、ドウスルカト云ヘバ、款項デ往々、款項ノ費用デ足ラヌトキハ、豫備費ヲ設ケテ置クゾト、ソレデ足ラナイ必要ナ意外ナコトガ起ツテ來タトキニハ、財政上必要ノ處分ヲシナケレバナラヌカラ、第七十條ノ緊急勅令ヲ以テ之ヲ處分スルト云フコトニ定メタノハ、私自身ノ信ズル所ニ據リマスレバ、實ニ憲法上明白ノ事實デアルト思フノデゴザイマス、偶々剩餘金ト云フヤウナ妙ナモノガ出テ來テ、此間ニ種々ナル誤解ト申シテハ、私ノ目カラ見タ誤解デアッデ、眞偽如何カハ存ジマセヌガ、私ハ誤解ナルモノヲ生シテ種々ナ議論ヲ出スヤウニナツタト思ヒマスガ、是ハ變體ナル話デアアル、歲出入ノ中ニ於テ豫算ハ款項ニ設ケタモノガ足ラヌトキノタメニ、豫備費ヲ置ク、其外使ツテ宜イカ分ラヌモノ、アルベキ筈ガナイノデアアル、則チ憲法ニ其道理ハナイモノニシテアル、無イ場合ニハドウスルカト云ヘバ、六十九條——デハアリマセヌ、七十條ノ勅令ニ依ツテスルト云フコトニ憲法ガナツテ居ルコト、確信シテ疑ハヌノデゴザイマス、サウシマスルト、豫算ノ款項ニ是非區別ヲシヤウト云フニハ、何ガ命ズルカト云ヘバ、憲法ニアラズシテ、會計法第六條ガ命

ジテ居ルノデアアル、此命ジタ法ガ間違ッテ居ルカラシテ、是ハソレヲ矯メテ款項ノ外ニ置クト云フコトニシタ方ガ、當然デアアル、是ハ憲法カラ來タコトデアアリマセヌカ知リマセヌガ、私ノ豫算ノ豫算ノ原則トシテ聞イテ居ル所ニ依レバ、款項ノ流用ヲ許サヌト云フヤウナコトヲ聞イテ居ル、本院ニ於テモ其主義ヲ執ツテ居ルコト、確信シテ居リマス、然ルニ此款項ト云フハ何ヲ云フカト云ヘバ、則チ政府ノ編成シテ議會ノ承諾ヲ求メテ來ル豫算ニ違ヒナイ、豫算ノ款項ノ流用ハ相許サヌト云フコトガ原則トナツテ、本院ガ之ヲ確認シテ居リナガラ、大藏省ノ款項ノ中ニ不足アルトキニハ、勝手次第ナル流用スル豫備費ヲ置イテ置クト云フノハ如何ナモノデアリマセウカ、是レ豫算ノ編成上ニ於テ款項ノ外ニ置カナケレバナラヌ、是等ノ款項ト異ナル地位ニ置カナケレバナラヌト云フコトハ、明ト信ジテ則チ斯ク修正シヤウト思フノデゴザイマス、デ甚ダ歎ハシキコトデアリマスルノハ、既往ノ成績ニ就イテ發議者ハ何ヲ云フタコトノアル人デアアルゾト云フヤウナ事柄デ、本案ノ廢棄ニ關セラル、コトニ至ッテハ、如何ニモ痛歎ニ堪ヘナイ、其以外ニ於テ果シテ左様ナコトニ豫算ノ編成上ナラニヤナラヌモノデアアルカ、又サウデナクシテ、私ノ言フノガ間違ッテアルト云フコトデアアルナラバ、反對セラル、モ遺憾ハゴザイマセヌト云フコトハ、私ノ言フ通ニ體裁ハサウデアアルガ、履歷ニ於テ私ハ能ク覺エナイ、果シテ違憲問題ト云フニ私ガ反對ヲシタト云フコトハ、私ハ覺エナイ、吾々ノ同志トナツテ居ル者ノ中ニハ、反對シタ人ガアルカ知ラナイガ、憲法違反デナイト云フコトニ私ハ主張シタト云フコトハ覺エナイヤウニ思ヒマス、唯至當デアアルト云フコトヲ言フタコトガアル、事實止ムヲ得ザル場合デアッタカラシテ、此支出ハ事實止ムヲ得ヌ次第ニアルト云フコトニ同意ヲシタコトガアル、唯滿場ノ諸君ノ氣ヲ惡ルウサル、ヤウナコトヲ以テ、苟且ニモ此會計法ノ改正案ノ否決ニナリマスルノハ、殘念デナリマセヌカラ、一應申シテ置キマス、ソレデ大抵申上ゲマシタガ、政府ガ辯明セラレタト云フ趣意ハ、聽キマセナカッタガ、ソレハドウ云フコトヲ言ツタ所ガ無妄ナコトヲ言フノニ頓著スルコトハナイ、議院ハ豫算編成ノ體裁宜シキヲ得ルヤウニ、馬車馬ノ如ク改正シテ往キサヘスレバ宜シイ、政府委員ガドシナニ改正スルト云フテモ、橫著ナ政府ハ橫著スルニ極リ切ツテ居ルカラ、私ハ政府ガ斯ウヤルカラト云フコトヲ標準ニシタノデハナイ、當然爲スベキ編成方法ニシヤウト云フノガ趣意デアリマス、デ此所デ辯明ハ終リマシラガ、私ハ既往ハ勿論政府ノ不都合ナコトヲシタノハ、十分ニ消滅スル譯デアナイ、憲法上ニ於テ間違ッタコトヲヤツタト云フコトハ、飽クマデ明デアレバ、決シテ此改正ノタメニ消滅スルコトハナイト云フコトハ、二百四十番ノ說ノ通ノ趣意デ、本案ヲ提出致シマシタノデゴザイマスガ、又一面ニハ之ヲ後會ニハサウ云フ不都合ナコトヲシナクナルカ知ラヌ、本員ハ偶々之ヲ機會ニ與ヘテモ、政府ガ從前ノ如ク不道理ノコトヲシナイヤウニナルト云フコトハ、誠ニ喜ブコトデアッテ、何處マデモ不道理ノコトヲサセルト云フ

ヤウナコトハ、甚ダ歎息スルデゴザイマス、此邊ハ本員提出ノ趣意ノ重モナル理由デゴザイマスカラ、願クハ此豫算編成ノ體裁ニ於テ、斯クナルベキモノデアルヤ否ヤト云フコトニ、御著目ノ上ニ、贊否ヲ御決シアラムコトヲ偏ニ切望致シマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ〔贊成〕ノ聲起ル

○副議長(島田三郎君) 討論終結ノ發議ガアツテ贊成ガアツタヤウニ思ヒマス

○尾崎行雄君(二百三十九番) 他ニ議論者ガナクバ、本員ハ反對ノ趣意ヲ簡明ニ辯シタイト思ヒマス

○副議長(島田三郎君) 尙通告順ニ從ヒマス、末廣君ノ順ニナツテ居リマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○副議長(島田三郎君) サウ致シマス、討論終結ノ動議ガ成立チマセヌケレバ、通告順ニ依リマスルシ、成立チマスレバ其通致シマス、討論終結ニ同意ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(島田三郎君) 多數ト認メマス、討論終結ニナリマシタ、是ヨリ二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決議ヲ採リマス、二讀會ヲ開クニ同意ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(島田三郎君) 少數ト認メマス、是ヨリ第三ノ日程ニ移リマス、特別輸出港規則追加法律案第一讀會——中島又五郎君

第三 特別輸出港規則追加法律案

第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

明治二十二年法律第二十號特別輸出港規則中左ノ通追加ス
第一條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ本條明示外ノ品種ハ必要ニ應シ大藏大臣之ヲ定ム

○吉本榮吉君(六十四番) 其前ニちよつと申サナケレバナリマセヌ

○副議長(島田三郎君) 中島君ニ發議ヲ許シマシタガ、あまたノハ議事ノ順序ニ就イテノ發議デゴザイマス

○吉本榮吉君(六十四番) 順序ニ就イテ……

○副議長(島田三郎君) ソレデハ中島君暫ク——吉本榮吉君

○吉本榮吉君(六十四番) 私ハ第三ト四ヲ合併シテ決議ヲ採ラレルコトニ致シタウゴザイマス、是ハ出入ノ差ガアルノミニシテ、同一ノ種類ノモノデアリマスカラ、今提出者ガ説明セラル、ニモ、此第三第四ハ聯絡シテ自然分

リマス、此特別委員ニ掛ケテモ、同一ノ委員ニ掛ケナケレバナラヌヤウナ譯デアリマスカラ、總テ聯絡シテ決議ヲ採ラレンコトヲ希望シマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○副議長(島田三郎君) 贊成ガアリマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ〔のーく〕ト呼フ者アリ

○副議長(島田三郎君) 是ハ贊成ガアリマシテモ、議長ハ議事ノ順序ニ於テ、是ハ決議ニ諮ヒマセヌ、唯今御發議ノ理由ハ委員ヲ選ブト云フ時ニ、御發議ニナツテ宜シカラウト思フ

○吉本榮吉君(六十四番) 委員ヲ選ム時デ宜シヤウデハアルガ、提出者ノ意見ヲ述ベル時デモ、兩方聯絡シテ居ルコトデアリマスカラ、旁、以テ相合シテ決議ヲ採ラレンコトヲ望ミマス〔のーく〕ノ聲起ル贊成モアリマスカラ其事ニ取計ハレルコトヲ願ヒマス

〔聯絡ハシテ居ラナイ〕ト呼フ者アリ

〔中島又五郎君演壇ニ登ル〕

○中島又五郎君(百六十七番) 諸君、此議事日程ニ掲ゲラレマシタ所ノ第三ハ特別輸出港ノ追加法律案デゴザイマス、此特別輸出港ノ追加法律案ヲ議シマスルニハ、輸入——第四ニ掲ゲテゴザイマス、特別輸入港法案ノコトニ幾ラカ關係致シテ居リマス、特別輸入港法案ノ事柄ニ就キマシテモ、此間ニ述ベマスルノハ、大ニ便利デアラウト思ヒマス、再三演壇ニ登リマシテ、貴重ノ時間ヲ費スノモ如何ト思ヒマス、此兩樣相混ジマシテ、遂ニ特別輸出港ノコトニ及ビ、ソレヨリ特別輸入港法案ノコトニ及ブ積デアリマス、此段豫メ御斷ヲ致シテ置キマス、ソレデハ此本員ガ特別輸入港法案、特別輸出港追加法案ト此二ツヲ提出シテゴザイマス、元來特別輸入港ト云フモノヲ設ケタイト云フ趣意ト申シマス、唯外國品ノ輸入ノ便利ヲ與フルト云フコトニハ關係シタ譯デハゴザイマス、理由書ニモ掲ゲテゴザイマシタガ、マダ我邦ニ於テ製造致シマセヌ所ノ品物、則チ機械類ノ如キ、例ヘバ製鐵、又ハ製絲、或ハ紡績等ノ器械ニ屬シマス、又ハ工業用ノ原料ニ供シマス、所ノ線デアルト云フ如キモノニハ、特別輸入ノ規則ヲ設ケタガ、即チ工業發達上ニ於テ頗ル便利デアルト云フコトヲ考ヘタ次第デアリマス、抑、此農業上ニ於キマシテハ、大概發達ノ度モ限度ノアルモノデゴザイマス、工業上ノコトニ於キマシテハ實ニ一定ノ限度ハナクシテ、幾許ノ進歩ヲ致スカ計リ難イ程ノモノデゴザイマス、ソレ故ニ我邦ノ有様ヲ考ヘテ見マス、一ノ紡績事業ニ致シマシテモ、明治二十四年三年四年頃カラ本年ニ至リマス、頗ル進歩ノ速ナルモノデ、其頃カラ計ツテ見マス、明治二十四年頃ニハ三百六十——三十六万本ノ錘ヲ用ヒタモノデ、ソレガ日本全國ノ有様デアッタモノガ、最早今日ハ餘程數多ク相成リマシテ、七十三万本モ用井ルト云フヤウナ僅四五年ノ間ノ進歩ガ斯ノ如キ有様デゴザイマス、ソレハ何故ト申シマスレバ、元來我邦ノ如キハ工銀モ餘程安ウゴザイマス、又氣候モ宜シ、又我邦ノ國民ノ性質トシテ、此工業上ノ長技ヲ有シテ居リマス、或ハ指先ガ利クトカ、手ガ利クト

カ云フヤウナコトモゴザリマス、又工業用ニ最も多ク費シマス石炭等ノ如キ物ハ、殊ニ我邦ニ於テ富シテ居リマスル、是等ノ事ヨリシテ、此工業上ノ進歩ハ著々進シテ參リマスルノデアリマス、所ガ今日ノ有様ハ如何デアルカト考ヘテ見マスルト、我邦ニ於テ開港場ハ姑ク措キマシテ、其他ニ特別輸出港ト云フモノガ、十一箇所開カレテゴザイマス、其特別輸出港モ品物ハ僅五品ニ限ラレテ居リマス、米、麥、麥粉、石炭、硫黃ト云フ五品ニ限ラレテ居リマス、十一箇所ノ特別輸出港ヲ設ケテ置キナガラ、品物ハ僅五品ヲ限ラレテ居ル、然シテ此場所ヘハ輸入ヲ——外國品ヲ輸入スルコトハ出來ナイコトニ相成ッテ居リマスル、ソレガタメニ品物ヲ外國カラ取寄セル場合ニ至リマスルト、一々開港場ニ持込シテ開港場カラ、之ヲ更ニ船ヲ雇フテ、二重ノ手數ヲ費シテ持込マナケレバナラナイ有様ニナツテ居リマスル、ソレ故ニ器械ノ如キ屢々積卸ヲ致シマス場合ニハ破損等ノ憂モアリマス、餘程損害モ生ズル、又原料ノ——工業用ノ原料ニ使フ綿ニ致シマシテモ、屢々積シテ運搬ヲ致シマスレバ、二重三重ノ運賃ヲ要スルヤウナコトニ相成リマシテ、遂ニ其製作物ガ其價ヲ増シマスル、ソレガタメニ輸出ヲ致シマシテモ、外國ノ競争ニ於テモ幾ラカノ直段ノ高イ所カラシテ、其影響ヲ蒙ル莫ゴザリマスルノデ、故ニ一方ノ特別輸入港ノ方ニ於キマシテハ、ドウカ今ノ現在アリマスル所ノ輸出港ノ中ニアル最も必要ナル場所ヲ選ミマシテ、此次ノ日程ニ載ッテ居リマスル三箇所ノ場所ヲ選シテ、門司、口ノ津、四日市ト云フ此三箇所ニ對シテ、特別輸入ヲ致シタイ、其品物ハ前申シマスル通り、殊ニ目方ノ重イ所ノ鐵道用具デアルトカ、或ハ器械類ノ破損易イ器械類デアルトカ、又ハ最も我邦ニ於テ多ク外國品ヲ輸入致シマス所ノ綿ノ如キモノヲ特別ノ輸入港ニ、之ヲ直ニ輸入シ得ラレルヤウニ致シタイト云フ一方ノ考デアル、又一方ノ特別輸出港ノ追加法律案ヲ前申シマスルヤウナ僅五品ニ止ッテ居リマスルガ故ニ、之ヲ致シマスルニモ僅五品限デアリマスカラ、其他最も我邦ニ重要ナ產物ガアツデモ之ヲ出スコトガ出來マセヌ、隨分今日ハ或ハせめんとノ如キ、或ハ某種ノ如キ、或ハ木炭ノ如キ、或ハこうくすノ如キ、隨分外國ニ輸出スベキモノガ澤山アルノデゴザイマス、現ニ石炭ノ特別輸出ヲ許サレデゴザイマス、石炭ノこうくすトハ格別差ハナイ、差ハナイケレドモ、石炭ハ特別輸出スルコトガ出來テ、こうくすハ更ニ開港場ニ參ラナケレバ出スコトガ出來ナイト云フ不便ガゴザイマス、是等ノ特別輸出港ヨリ出シ得ラル、ヤウナコトニ相成ッタナラバ、輸出ト云フモノ、増スノミナラズ、又一方ノ特別輸入港ノ法案ヲ許可サル、ナラバ、從テ輸出輸入相俟ッテ大ナル便利ヲ得ルデアラウト考ヘマスル、此特別輸出港追加法律案ニ於キマシテハ、別段ニ品柄ハ限ッテ居リマセヌガ、本文第一條ニ於テ品物ハ五品ニ限ラレテ居リマスガ、唯ソレニ但書ヲ加ヘマシテ「本條明示外ノ品種ハ必要ニ應シ大藏大臣之ヲ定ム」ト致シマシタ故ニ我邦ノ重要ナル物產ヲ取調ベテ、此港ヨリハ斯々ノ品物ヲ出ス方ガ便利ダト云フコトガ調査上舉ッテ參ッタナラバ、之ヲ許スガ

宜シカラウト考ヘマス、今日ノ如ク法律ニ於テ「五品ニ限リ云々」トシテアツテハ、如何ニ大藏大臣ニ於テ此品ハ重要品デアルカラ、特別輸出港ヨリ出シタイト考ヘテモ、詰リ兩議院ノ——上下兩院ノ協賛ヲ經ナケレバ一品タリトモ出スコトハ出來マセヌ、ソレ故ニ但書ニ此ゆとりヲ附ケテ置キマシタナラバ、他日其時其便ニ應シテ大藏大臣ガ之ヲ許スコトガ出來マス、故ニ甚ダ便利デアラウト考ヘマス、今日敢テ品種ヲ限ル譯デハゴザイマセヌガ、但書ニ於テゆとりヲ附ケテ置クノハ、他日此進步ノ一日々ト進歩致シテ往キマス、進ミマス所ノ工業物、又我邦ノ產物ニ對シテ、大ナル便利ヲ與ヘラルルデアラウト考ヘマス、ソレカラ尙ホ此輸入ノコトニ至リマシテモ、今日ノ九州邊ノ場所ハ、諸君モ御承知ノ通り、實ニ氣候モ宜シウコザリマスシ、又賃金モ安イシ、將來興ルベキ所ハ九州地方ニ大ナル工業場ガ起ルデアラウト云フノハ、何人モ豫想シテ居ル所ノ場所デゴザリマス、今日ニ於キマシテモ現ニ紡績會社ガ——數箇所ノ紡績會社ガアル、久留米ニモゴザイマスシ、三池ニモゴザイマス、熊本ニモゴザイマス、鹿兒島ニモアルト云フヤウナコトデゴザイマスカラ、將來モ尙ホ續々起ルデゴザイマセウガ、偕其紡績會社ノ使フモノ、綿絲ノコトニ就イテモドウデアルカト云ヘバ、支那地方カラ參リマスモノハ、門司——下ノ關——長崎ヘ這入リマシテ、長崎カラ之ヲ積出サシテ、長崎カラ更ニ船デアルトカ、蒸氣デアルトカ云フモノニ積ンデ、彼ノ天草洋ヲ通り、隨分海上ノ惡シイト云フ田母岬ト云フ所ヲ迴ッテ、サウシテ漸ク口ノ津若クハ三角ノ方ニ這入ッテ參ルノデゴザイマス、是ガ直ニ口ノ津ニ其綿ガ這入リ得ラル、ヤウニナリマスレバ、從ッテ其空船ヲ以テ、又直ニ石炭ヲ積出スコトカ、或ハこうくすヲ積出スコトカ、米ヲ積出スコト云フヤウナ便利ガアルデアラウト考ヘマス、又印度地方ノ方カラ參リマス綿ハ、何處ニ這入ルカト云フト、多クハ神戸ニ這入リマス、其神戸ニ這入ッテ神戸デ積卸ヲシテ、更ニ船ニ載セテ門司ニ這入リ、門司カラ又汽車ニ載セテ、各地ノ久留米トカ熊本ト云フ方ニ運轉致スコト云フデアリマス、是ガ直ニ門司ニ這入リ得ラル、ヤウニナリマスレバ、是亦數度ノ積卸ノ手數モ省ケ、大ニ價ガ減ジテ、從テ製作品ノ價ガ安ク相成ルデアラウト考ヘル、此品物タルヤ左程むづかしいモノデゴザイマセヌ、或ハ今日ノ五品ニ於テハ僅ニ無稅品デアアルカラ宜シイ、綿ノ如キ器械ノ如キ若シ這入ッタナラバ、是ハ有稅品デアアルカラ、大ニ手數ガ増スデアラウカト云フ御疑ガアルカモ知レマセヌケレドモ、取調ベル所ニ依レバ、格別手數ノ増ス譯デモゴザリマセヌ、因テ政府ノソノ當局者ノ話デハ、今日ノヨリ凡ソ一倍モ増スデアラウカト云フ御話デアリマスガ、左様ニ増スコトハナカラウト思ヒマス、今日ニ致シタ所ガ、僅ニ門司ノ如キハ二千四百圓、口ノ津ガ千六百圓位ノモノデゴザリマス、之ニ一倍ヲシタ所デ、門司ガ二千四百圓、口ノ津ガ千六百圓、四日市ハ今日少シモ稅關ノ設ガゴザリマセヌカラ、金ハ掛ッテ居リマセヌ、尙ホ本員等ノ取調ベル所ニ依リマスレバ、大概一箇所ニ就イテ、一千圓モ増シタナラバ十分デアラウ

ト云フ考デゴザリマス、僅ニ三千圓位ノ増加ヲ致シテ、三箇所ノ港ニ特別輸
入ヲ設ケ得ラル、ヤウニ相成リマスレバ、從テ輸出品モ増シ、又其地方ニ居
ル所ノ工業家ノ發達ヲ圖ルコトニ相成リマス、コレ此便利タルヲ獨リ工業者
其者ノ便利ノミナラス、帝國ノ工業ヲ發達セシムルニ大ナル基ヲ開クノデア
ラウト考ヘマス、故ニ一方ノ特別輸入港ノ——輸出港ニ於キマシテハ、右
ノ但書ヲ添ヘマシテ、尙ホ大藏大臣ニ此由ヲ附ケテ、將來生ズル所ノ產
出物ノ取調ヲ爲シテ、之ヲ許スト云フコトニナラバ、一方ニ向ッテハ其特別
輸出港ノ中ノ或三箇所ヲ限ッテ便利ナル重量ナル、重イ所ノ鐵道用具デア
ルトカ、破損シ易キ器械アルトカ、最も多ク使フ所ノ工業用ノ原料ノ編デ
アルトカ云フモノニ、特別輸入ヲ許サレタイト云フノガ、精神デゴザリマ
ス、大要説明ハ右ニ止メテ置キマス、ドウカモウ追々會期モ迫ッテ居リマス
カラ、諸君ノ御賛成ヲ受ケマシテ、此案ヲ特別委員ニ付セラル、ナラバ、願
クハ一週間ノ日ヲ限ッテ取調アラント希望シマス次第デゴザリマス

○末廣重泰君(百七十三番) 質問ヲ致シタウゴザリマス——大ニ疑惑ヲ生シ
マスカラ、二三箇所伺ヒマス、第一番ニ輸出港規則追加法案ヲ見マス、是
マデ輸出港ニハ五品ト法律ニ定メタルノニ、今度ハ大藏大臣ニ必要ニ應ジ
テ之ヲ定メト云フテ、立法官ノ權能ヲ殺イデ議デ行政官ニ獻上セラル、ノ
法案ト見、凡ソ是ガ矢張輸出ヲサセテ宜イモノナラバ、立法官ノ權能ヲ以
テ是レミト調上ゲテ、法案ヲ作ッテモ宜カリサウナモノデアアルガ、斯ク
一箇ミニシテ大藏大臣ニ獻上ヲシナケレバナラヌト云フノハ、如何ナル趣意
デアアルカ、是ガ一ツデアアル、次ニ特別輸出法案ヲ見ルト云フ「帝國臣民鐵軌
鐵道用具器械類及内地製造用原料云々」トアル、一方ハ鐵ノコトバカリ書イ
テアル、一方ハ内地製造用ノ原料ト云フコトヲ書イテアルガ、先刻提出者ノ御
說ヲ承レバ、餘程是ハ紡績ナドニモ關係スルコトデアアル、サウスルト折角輸
出港法案ダガ、一方ニハ鐵道、一方ニハ綿ノ如キモノバカリデアッテ、殆ド
是ハ鐵道會社ノ役人カ紡績會社ノ役人ノ目カラ見タ利益ノ外ナイヤウナ法案
デハナイカト云フコトヲ、甚ダ怪ムノデアアル、サウシテ尙ホ次ニ在ルノハ前
ニ鐵軌鐵道用具器械類云々ト書イテ、立派ニ箇條デ示シタと思フ「但シ特別
輸入港ニ輸入スル物品種類ノ細條ハ大藏大臣之ヲ定ム」ト云フコトデアッテ、
前ニ記載シタモノハ一向不確デアッテ、更ニ又細則ヲ以テ區域ヲ定ムルト
云フコトデアアルガ、是ハドウ云フ御考ニナッタデアアルカ、況ヤ今日外國
カラ輸入スルモノ、中ニ、各般ノ物品ノ中ニ提出者ガ唯今言ハレタヤウニ、
内地ノ製造工業ニ必要ナル所ノ蒸汽——蒸汽機械ト云フヤウナモノハ夥シク
運入ッテ居ル、是等ヲ此法案ニ記載セズシテ、專ラ鐵道ノコトノミ御計畫ニ
ナッタノハ、ドウ云フ御考デアアルカ、是等ヲ明白ニ御示ヲ願ヒタイ

○中島又五郎君(百八十七番) 分リマシタ、御答致シマス、此特別輸出ノ追
加法律案ノ中ニ但書ヲ添ヘテ、大藏大臣ニ其品種ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ任
スルト云フノハ、權利ヲ——自己ノ權利ヲ殺イダノデハナイカト云フヤウナ

ル御尋ト考ヘマスガ、第一ハ本員ハ既ニ特別輸出港ト云フ法律ガゴザリマシ
テ、其輸出港ニ於テ重ナル種類ハ定マツテアル以上ハ、則チ其他ニ品物ヲ殖
スト云フヤウナルコトハ、左程議會ノ權利ニ關係スルトハ考ヘヌ、ト云フモ
ノハ特別輸出港ヲ開クトカ開カヌトカ云フコトニハ、眞ニ立法部ニ關係スベ
キコトデ、其中ノ品物、某種ハ今年能ク出來タカラ、某種ヲ出スガ宜シイ、
米ハ今年能ク出來タカラ、米ヲ出スガ宜シイ、今年ハ米ガ足ラヌカラ、止メ
ルト云フヤウナコトハ、行政官ニ任シテ議會ノ權利ニ妨ナイト考ヘテ居ル品
物ハ指スコトハ出來ナイカト云フ御尋デアアルガ、前ニ申シマシタ通礦物デア
ルトカ、せめんとデアアルトカ藥種デアアルトカ木炭デアアルトカ云フモノハ、輸
出ニ出ルモノデアアル、併シ是ダケ限ッテ更ニ茲ニ或品物ガ生シタトキニ、實
ニ是ヲ輸出シタナラバ、其土地ノ便益——其近傍ノ港カラ產出ノ近傍カラ出
シタナラバ、宜シイト云フデモ、議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌカラ、甚ダ
不便デアアル、故ニコレ等ノ便利ハ行政官ニ任シテ決シテ差支ナイト云フノデ、
此但書ヲ添ヘタノデアアル、特別輸出港ニ於キマシテハ——特別輸出港ノ品物
ヲ見マスルト、鐵道デアアルトカ、或ハ製作物ノ原料、即チ綿デアアルトカ云
フモノ、是ハ紡績會社ノタメ、若クハ鐵道會社ノタメニ出來タモノ、如クニ見
エルガ、如何デアアルカト云フ御尋ノヤウニ聽取リマシタガ、此中ヲ御覽ニナ
タラ能ク分ラウト思ヒマス、「器械類」ニ鐵道用具器械類及内地製造用ノ
原料」トゴザリマス、鐵道ノ事ハ固ヨリアル、或ハ蒸汽器械ノ如キハ、
固ヨリゴザリマス、其他製鐵器械モアラウシ、種々ノ器械、大ナル器械モア
ラウ、コレデ蒸汽罐ハ除ケテ居ルト云フ譯デアナイ、是モ器械ノ一部ニ提出者
ハ見テ居ル、コレカラ内地製造用ノ原料ト云フハ、專ラ綿ニ重キヲ置イテア
ルガ、併ナガラ他ニ工業場ガ澤山起ッテ斯ウ云フ原料ヲ取寄セナケレバナラ
ヌト云フ譯ナラバ、則チ其原料ヲ加ヘルコトハ、豫想シテ居ル、強チ綿ニ限
ラナイ綿ノ外ハ出來マセヌト云フデアリマセヌカラ、是又ゆとり附ケテ
置キマス、コレカラ物品ノ種類ハ大藏大臣之ヲ定ムトアッテモ、器械ト云フ
デモ時計ノ器械モゴザリマセウ、或ハ紡績ノ如キ、一万鍾モ紡グ如キ大キナ
器械モゴザリマセウ、コレヲ今日此所デ何々ノ器械、何々噸數ノ器械ナド、
云フコトヲ法律ニ於テ定メル必要ハナイト考ヘマス、故ニ是等ハ大藏大臣ガ
其時ノ景況ニ依ッテドウ云フ器械ヲ許シテモ宜イ、ドウ云フ器械ハ許サナ
イ、是ノ器械ハ許スト云フコトヲ定ムルハ、是レ又行政官ノ固ヨリ適當ノ
處置ト考ヘル、器械ノ中ニモ種々ゴザリマス故、原料ト云フ中ニ今日ハ第一
ニ綿ヲ目指シテ居ルガ、其他ニ生ズルデアラウ、前ニ特別輸出港ニ於テ但書
ヲ添ヘタト同様ノ精神ヲ以テ、ゆとり附ケテ居ルカラ、左様ニ御承知ヲ願
ヒタイ

○小畑岩次郎君(二百八十一番) 質問ヲ致シタウゴザリマスガ、此輸入港法
案ノ中ニ、今末廣君カラ御質問ガゴザリマシタガ、其種類ト云フモノハ、製
造用ノ原料ト、鐵道用具器械ト云フモノニ限ッテ居ルヤウニ文面上ニ依ッ

テ見ルト見エ、其他ニ三角ノ輸入器ニ就イテハ、海外カラ輸入スル產物
ノ中一番重イモノハ何デアルカト云ヘバ、砂糖デアル、綿デアル、或ハ近
來支那地方カラ來ル肥料豆糖ト云フヤウナ類ノモノガ一番重モノデアル
ル、綿ハ如何ニモソコニアルヤウデアルガ、砂糖ノ如キハ如何ナル考デア
カ、砂糖ノ如キハ其儘使用スルコトモ出來ズ、或ハ菓子ニ製造スルノ原料デ
アルト云フテモ宜イ、斯ル輸入スル品物ニ就イテハ、砂糖ノ如キハ幾下一千
萬圓ニナツテ居リマスルガ、サウ云フモノハ此中ニ這入ツテ居ラヌ積リデア
リマスカ、ソレカラ第二條ニ「外國船」——但其外國船ヲ以テ直チニ輸出事業
ニ使用云々——ト云フコトガ書イテアルガ、輸出港規則ト云フモノハ一方ニ立
派ニアルノニ、輸出ニ關係シタコトヲ輸入港法案ノ中ニ加ヘテアルノハ、ド
ウ云フ譯デアリマスカ、ソレカラ輸出港ノ規則ノ中ニ今未廣君ノ質問ガア
テ略々分リマシタガ、輸出港規則ト云フモノハ品物ヲ限ツテ所謂石炭ガ出ル
ト云ヘバ石炭ヲ出ス港ガ是迄輸出港ニナツタノデ、所謂釧路ノ如キハ硫黃ト
ナツテ居ルガ、此但書ノ如キハドコノ港デモ其港ニ入ルベキ必要ガアツタナ
ラバ、ドコデモ大藏大臣ガ其港ヲ限ツテ許スト云フ意味ガ、此輸出港規則ノ
如キ一般ニ大藏大臣ガ品物ヲ極メテ許スト云フ、或ハ云フト此上ニ輸入ス
ル品物ヲ十トシテ、大藏大臣ガ極メテ、ソレハ何處ノ港デモ這入ツテ來ルト
スルカ、或ハ此港ハ是ハ許ス、此港ハ是ハ許スト云フ趣意デアアルカ、其意味
ヲ聽キタイ

○中島又五郎君(百六十七番) 御答致シマス、最初ノ御尋ハ此品物ガ限ラレ
テ居ルヤウニ見エ、或ハ砂糖ノ如キ、豆ノ如キハ、随分外國カラ這入ルデ
ハナイカ、ソレハドウ云フ考デアアルカト云フ御尋ト了解シマシタガ、別ニ
其事ハ提出者ハ見テ居リマセヌ、其事ハナゼ見テ居ラヌカト申シマスルト、
恐ロシイ目方ノ掛ルモノヲ續々取扱スルニハ、大變ニ無用ノ手數ガ掛ルト
云フ其弊ヲ防グト云フノガ一ツデアアル、今一ツハ毀ハレ易イ破損シ易イ物ヲ
積卸スルノガ不都合デアアルカラ、其弊ヲ矯メヤウト云フノガ一ツデアアル、
今一ツハ今日モウ日々僅四五年ノ間ニ數倍モ増加シタル如キ此紡績會社ノ
如キ、是等ニ向ツテ綿ヲ是ハ餘程積量ノ多イ——目方ガ輕クシテ、積量ノ多
イモノヲ屢々積卸スルト云フノハ、大變不便デアアルカラ、此弊ヲ防ギタ
イト云フノガ、此趣意デゴザイマス、別段ニ見テ居リマセヌ、或ハ砂糖モ札
幌製糖會社ノ如キ惡ルイ砂糖ヲ外國カラ輸入シテ、之ヲ再製シテ更ニ白砂糖
ニスルナラバ、或ハ之ヲ原料ト云フコトノ解釋ガ出來マスカ知レマセヌケレ
ドモ、其處マデハ見テ居リマセヌカラ、左様御了解下サイ、ソレカラ次ノ御尋
ハ特別輸出港ト云フ法律ガアルニモ拘ラヌ特別ノ輸出港規則ノ第二條ノ規定
ニ從フベシト書イテ、一方ノ輸入港ノ規則ニ……

○小畑岩次郎君(二百八十一番) 輸出事業……船ノコトヲ輸入規則ノ中ニ書
イタルハドウ云フ意味デアアルカ、斯ウ云フノデアリマス、輸入事業ニ使用スル
モノナラバ、此規則ニシテモ宜イケレドモ、一方ノ法律アルニモ拘ラヌ……

○中島又五郎君(百六十七番) 分リマシタ、一方ニ法律ガアリマスニ依ツテ、
輸出ノ船ヲ以テ——輸入ノ船ヲ以テ、若シ之ヲ直チニ空船ニナツテ仕舞フカ
ラ、之レヲ特別輸入ノ規則——輸出ノ規則ヲ以テ、特別輸入ニ這入ツタ船ヲ
空船デ出スノハイカヌカラ、之ヲ積ミタイ場所ニハ、一方ノ規則即チ特別輸
出港ノ規則ニ依ツテ、其手續ヲ盡ス……空船デ逐出ス譯ニハ往カヌ、此船ハ
惜イモノデ、此船ニ物ヲ詰メテ持ツテ往キタイト云フトキニハ、其場合ニハ
更ニ其手續ヲ盡セト云フノ便宜ヲ圖リマシテ、双方這入ル時ト出ル時ノ手續
ヲ示シタモノデアリマス、ソレカラ今一ツハ但書ハ提出者ノ考ト致
シマシタ所ハ、特ニ必要ノナイ港ニ許サヌナラヌコトハナカラウ、丁度今御
尋ノ如ク釧路ニ硫黃ヲ許シタト云フヤウナ或港ニ於テ是ガ專ラ澤山出ルナラ
バサウ云フコトニシテ宜カラウト思フ、大藏大臣ガ時宜ニ依ツテ許ス限ハ、
其港限リニ許シテ宜カラウト云フ考デア、廣ク書イタノデアリマス、尙ホち
よつと少シ述殘シマシタカラ、ちよつと述べマス、ソコデ唯今迄ノハ特別
輸出港ノ方ヲ申シマシタガ、特別輸入港ノ規則ハ特別輸出港ノ規則ト變リ
ハナイ、僅ニ第一條ト二條トガ少シ變リマシタノデ、ちよつと御參考ニ——
特別輸出港ノ規則モ御參考ニ供ヘテ置キマシタガ、ソレト對照シテ御覽下サ
レバ差ガナイ、右申上ゲタ如クデゴザイマスカラ、ドウカ宜シク御贊成ヲ願
ヒマス

○眞下珂十郎君(二百七十番) 議長

○副議長(島田三郎君) 御質問デスカ

○眞下珂十郎君(二百七十番) 質問デスカ——大概分リマシタガ、此三港ダ
ニ止メマシタノデゴザイマスガ、此四日市ト云フモノヲ以テ、此方ニ充テ
ル、或ハ越前ノ敦賀デアルトカ、伏木ト云フ所ニハ四日市カラ先程御説明ノ
通運搬スルト云フコトニ就イテハ……ソレカラ門司下ノ關ハ接近シテ居ルノ
デゴザイマスガ、門司ノ方ガ都合ガ宜イノデアアルカ、否ヤ、ソレト又此皆
サンモ御聽ニナツタデゴザイマセウガ、諸般ノ織物ト云ヒ、又諸般ノ藥種ノ
如キモノ、硝子ノヤウナ細カイモノハ……

○中島又五郎君(百六十七番) 下ノ方カラ御答致シマスガ、硝子杯ハ全ク見
テ居リマセヌ、サウ何デモ斯デモ許シテハ開港ト同ジコトニナリマスカラ、
次ハ門司ト下ノ關ト二ツヲ相對シテ居ルガ、門司ノ方ガ宜イカト云フ御尋デ
アリマスガ、固ヨリ門司ガ宜イト見タノデアリマス、又九州ノ方ヘ持込ミマス
ニハ、門司ニ揚ゲル方ガ餘程便利ト認メマシタ故ニ、此案ノ如ク致シマシタ
ノデ、ソレカラ四日市ノ方ガ開イタナラバ、ドレダケノ範圍内デ其品物ガ回
ルカト云フ御尋ノヤウニ了解シマシタガ、四日市ト云フ所ハ、今日ハ特別
輸出港ハ開イテ居リマスケレドモ、一品モ輸出ガナイ、外國ニ對シテ出ルコ
トハナイ、何故出ナイカト云フト、特別ノ輸入ト云フモノデ、更ニ品物ヲ持ッ
テ這入ル船ガアルナラバ、出ルニ相違ナイ、所ガ這入ルモノガナイカラ、
空船ヲ持込デ來テ、更ニ積出サナケレバナラヌカラ、サウスルト船ノ片道

ハミルデ無用ナ賃錢ヲ費ス譯ニナリマスカラ、ソレガタメニ引合ハナイ、引合ハナイカラ、特別輸出港トナツテ居テモ輸出ガナイノデアリマスカラ、寧ロ神戸ニ揚ゲテ神戸カラ取寄セル方ガ得デアル、併シ出ナイカラ四日市港ハ輸出物ガナイカト云フト、四日市ニハ獨リ外國バカリデハゴザイマスマイケレドモ、千六百四十六萬圓カラノ輸出物ガアツタト云フコトデゴザイマス、是ハ私ガ直チニ自分ガ輸出ノ取扱ヲ致シタノデアリマセヌカラ、自分ガ取扱ヒシタトハ申シマセヌ、斯ウ云フ譯デゴザイマスカラ、是ガ獨リ外國ヘ出ルノデアリマスマイケレドモ、詰リ四日市ノ港ハ役ニ立タナイ港デハナイケレドモ、右申ス通り出ナイト云フノハ、前ノ理由デ出ナイノデアリマス、ソレカラ是ハドレダケノ範圍ニ跨ルカト云フコトハ、大概彼ノ……

○眞下珂十郎君(二百七十番) 北ハ

○中島又五郎君(百六十七番) 北ノ方ハ越前加賀カラ彼ノ邊マデ回ルト考ヘマス、先ヅサウ云フ考デゴザイマス

○吉本榮吉君(六十四番) 此議題ハ矢張第三番バカリデスカ

○副議長(島田三郎君) 論及スルト云フコトニ發議者ハ致シテ、矢張決議ハ別ニ採リマス

○吉本榮吉君(六十四番) 委員付託

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○吉本榮吉君(六十四番) 序ニ申シテ置キマスガ、議會ノ期日モナイデアリマスカラ、こちらデ決議ヲシテ委員ニ付託シテ、サウシテ又貴族院ニ廻ス

提出ナイコトニ致シタイ、今マダ議ニ掛ラヌ所ハ撤回セラレタイ

○副議長(島田三郎君) 六十四番ニ御問合セ致シマスガ、委員ノ選方ハ

○吉本榮吉君(六十四番) 是マデノ通りノ議長ノ指名

○副議長(島田三郎君) 六十四番ノ説ニ賛成ガゴザイマスカラ、之レヲ決議ニ諮ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○副議長(島田三郎君) 一人デモ異議アルト云フコトデゴザリマスレバ、決議ニ諮ヒマス、委員説ニ同意ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(島田三郎君) 多數デゴザリマス

(吉本榮吉君「法律案モ提出致サヌコトニナリマシタ」ト呼フ(笑聲起ル))

○副議長(島田三郎君) 第四ノ特別輸入港法案ニ移リマス

第四 特別輸入港法案(中島又五郎君外一名提出)(第一讀會)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

第一條 帝國臣民鐵軌鐵道用器械類及内地製造用原料ヲ海外ヨリ輸入スル爲特別輸出港ノ内左ノ諸港ヲ特別輸入港トス但シ特別輸入港ニ輸入スル物品種類ノ細條ハ大藏大臣之ヲ定ム

一 豐前國門司

一 肥前國口津

一 伊勢國四日市

第二條 前條輸入事業ニ使用スル爲外國船ヲ雇入レムトスルトキハ大藏大臣ニ出願シ外國船雇入免狀ヲ受クヘシ但シ其ノ外國船ヲ以テ直ニ輸出事業ニ使用セムトスルトキハ特別輸出港規則第二條ノ規定ニ從フヘシ

第三條 特別輸入港ニ於テ船舶ノ出入及輸入品ノ船舶卸ニ關スル事項ハ總テ外國貿易ノ手續ニ依ルヘシ

第四條 第一條ノ輸入事業ニ使用スル船舶ハ其ノ使用中沿海貿易ヲ爲スコトヲ得ス犯ス者ハ五百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ外國船ニ在テハ第二條ノ認可狀ヲ取上クヘシ

第五條 此ノ法律ヲ改正又ハ廢止スルトキハ六箇月前ニ公布スヘシ

第六條 此ノ法律施行ニ關スル細則ハ大藏大臣之ヲ定ム

第七條 此ノ法律ハ明治二十八年七月一日ヨリ執行ス

○中島又五郎君(百六十七番) 第四ノ特別輸入港法案モ前ニ論及致シテゴザリマスカラ、多分諸君ハ御了解ト考ヘマス、ドウカ直チニ御決議ヲ願ヒマス

(「賛成々々」ノ聲起ル)

○副議長(島田三郎君) 百六十七番ニ御問合セ致シマスガ、直チニ決議ヲ採ルノデゴザリマスカ、委員ニ付託スルノデゴザリマスカ

○中島又五郎君(百六十七番) 前ト同ク委員付託ノ御決ヲ願ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(島田三郎君) 異議ナシト認メマスカラ、前ノ委員ニ付託致スコトニ決シマス、是ヨリ第五ニ移ルノデゴザリマスガ、提出者ノ請求ガアツテ、是ハ延期シタイト云フコト、第六ヘ直チニ移リマス、鑛業條例改正法律案第一讀會ノ續——中村彌六君

第六 鑛業條例改正法律案

(此時中村彌六君缺席)

○副議長(島田三郎君) 列席ノ諸君ニ御問合致シマスガ、是ハ中村彌六君ガ報告ニナルベキ譯ニナツテ居リマスガ……

(此時中村彌六君著席ス)

(中村彌六君演壇ニ登ル)

(「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○中村彌六君(百六十一番) 簡單ニヤリマス——鑛業條例ノ委員會ノ結果ヲ御報道致シマスルガ、此條例ハ御承知ノゴザリマスル通り、最早數回議會ニ

第一讀會ノ續(特別委員報告)

提出ニ相成リマシテ、其間未ダ委員ノ審議中ニ會議ガ終リ、又ハ解散ノ厄杯ニ遭ヒマシテ、此本會ノ議事ニ上ラズニ仕舞ヒマシタモノデゴザリマス、今日マデ幾多ノ審議ヲ經マシタ所ノ案デゴザリマス、此案ノ大體ハ御承知モゴザリマスル通り、今日ノ鑛業條例ニ就キマシテ、施業案ト云フヲ廢止スル事、又鑛區ノ制ヲ廢スルコト、試掘ノ制ヲ取除クコト、又鑛山監督署ヲ廢止シマスル事、是ガ大體ノ趣意デゴザリマス、元來此現今ノ鑛業條例ハ最初此議會ノ開ケマスル時ニ當リマシテ、未ダ實施前デゴザリマス、實施前ニ當リマシテ未ダ實施セザルニ先シテ、此條例ヲ實際ニ行フコトノ難キコトト、又不適當ナルコトハ初期ノ議會ニ於キマシテ、此議院ガ十分認メテ論ジマシタ程ノ事デゴザリマシタガ、其當時ニ當リマシテ、時ノ農商務大臣ハ何ヲ致セ、此實施ノ期限ガ此目前ニ迫ッテ居ルカラシテ、當局大臣モ多少修正セネバナラヌト云フ考モアリ、又實施ノ曉ニ及ンデ不都合ガアッタナラバ、之ガ修正ニ客ナラヌト云フコトヲ未ダ實施前ヨリシテ、殆ド修正ヲ豫約シテ發布ニナリマシタ程ノ條例デゴザリマス、ソレヨリシテ今日マデ實施致シマシタ所ガ、丁度此修正案ニゴザリマスル通りニ施業案ト云フヤウナルモノハ、誠ニ其名ハ立派デゴザリマシテモ、其實唯々鑛業者ニ對シテ手數ヲ掛ケ、爲ニ鑛山監督署ノ事ヲ繁雜ナラシムルト云フ外ハナイコトニナリマス、又鑛區ノ制ノ如キモ同一デゴザリマシテ、又此監督ノ事ニ就キマシテモ同様デゴザリマシテ、是等ハ皆此度政府委員モ實施ノ上、經驗ノ上ヨリシテ、修正案ガ宜イト云フコトニ同意致サレマシテゴザリマス、此條例中デ最も重キヲ置キマシテ、審議致シ、又ソコニ議論ノゴザリマシタノハ、試掘ノ制度ト、ソレヨリシテ鑛業稅ノ一端デゴザリマス、即チ課稅ノ方法デ、是ニ就キマシテハ試掘ノ事ハ今日迄ノ如クシテ置イテ宜イト云フ反對モゴザリマシテ、是ニハ大分議論モゴザリマシテ、數回委員會ノ討議ヲ經マシタノデゴザリマス、此各ノ理由ト致シマシタ所ヲ一言述ベルノ必要ガアルト考ヘマス、此重モナル所ハ試掘ノ制ト課稅ノ事デゴザリマス、試掘ノ事ハ先ヅ大體精神カラ申シマスルト云フト、鑛物ノ有無良否ト云フコトヲ探檢致シマスルモノデゴザリマシテ、地表ヲ開鑿シタリ、又ハ是ニ試錘ヲ下スト云フヤウナコトデ、誠ニ道理上ハサモアッテ必要ノ手順ノ如クニ見エマスケレドモ、倍實際ト云フモノハ大ニ是ト違ヒマシテ、此試掘ト云フモノハ、其實ハ大ニ此精神ト相反シマシテ、唯試掘ニゴザリマススト云フト、御承知ノ通りニ唯出願ノ時ニ十圓ノ手數料ヲ拂フダケデゴザリマシテ、是ニ對シテ負擔ト云フコトハゴザリマセヌ、又出願ノ手續ト云フモノガ、甚ダ容易ナルガ故ニ、世ノ狡猾ナルモノハ、是ニ乘ジマシテ、唯心やみニ大キナ土地ヲ試掘ノ願ヲ出シテ、占メテ居ッテ、サウシテ他ノ者ニ之レヲ賣付ケルト云フコトノ惡弊ガ茲ニ生ジテ參リ、是モ試掘ノ出願期限ハ一年デゴザリマスカラ、一年過ギタラバ如何ナ事ヲスルカト云フト、尤モ一年ノ追加願ハ出來マスガ、其年限ハ最早仕方ガナイト云フ時ニナルト、直チニ廢業屆ヲ爲シテ、廢業屆ヲスルト同時ニ、おちらカラ親戚朋友ノ名ヲ以テ、直チニ又試掘願ヲ出スト云フコトニナッテ居ル、其度ニ僅ニ十圓ノ手數料ヲ出スバカリニ止マリマシテ、サウシテ其實權ト云フモノハ以前ト同一ノ者ノ手ニアル、サウシテ其甚シキニ至リマススト云フト、茲ニ立派ナル鑛山ガゴザリマスルト、是非此鑛山ト云フモノガ大變ニ盛ニナッテ來レバ、此隣ノ鑛區ト云フモノ、ミ必要ニナルダラウト云フコトヲ目當ニシテ、立派ナル鑛山ガアルト云フト、誠ニ吹ケバ飛ブヤウナ一文ナシノ人デモ、此ぐるリト云フモノ、試掘ノ借區ヲ願ッテ、斯様ニ綱ヲ張ッテ居ル、真正ナル所ノ鑛業者ハ必ズ是ガタメニ已ムヲ得ズ、莫大ノ金ヲ取ラレタルコトモ澤山アルノデゴザリマス、唯其實權ヲ握ッテ置イテ、サウシテ其物ヲ真正ノ鑛業者ニ賣渡スト云フノガ是ガ目的デゴザリマス、斯様ナ實際ニ至リマスルト弊ガゴザリマス、ソレガ故ニヤ、此二十六年度ノ鑛山監督署ノ報告ヲ見マスルト、凡ソ取扱フ件數ガ二萬千餘件ゴザリマスルガ、其中デ真正ニ鑛業ヲ營ンデ採掘スルト云フコトノ出願ト云フモノハ、二萬ノ中デ僅五千シカナイノデゴザリマス、其他一萬五千——一萬五六千ト云フモノハ則チ此試掘ノコトニ相成ッテ居ル、又實際ノ採掘ノ有様ヲ見マスルト云フト、未ダ今日ノ詳細ノ事ハ分リマセヌガ、大阪ノ監督署ヲ除キ、外ニ致シマシテ試掘ノ願ト云フモノガ十一億カラニナッテ居リマス、十一億坪數ニナッテ居ッテ、丁度真正ノ採掘願ヲシテ居リマスルモノガ、二億三千餘萬坪デゴザリマス、二億三千餘萬坪ニ對シマスル殆ド五倍近ク——四倍六分バカリノ試掘願ガ出テ居リマス、是ガ願ガ出テ居ルデハナイ、試掘ノ權ヲ持ッテ居ルノデゴザリマス、名ハ故ニ立派デゴザリマスルケレドモ、是ハ實際ニ至リマスルト云フト、真正ノ鑛業ノ發達ヲ害シマスルモノデゴザリマスルガ故ニ、是等ハ廢スルト云フノガ即チ原案者ノ趣意デゴザリマシタガ、段々審議ノ上、若モ之ヲ全廢致シマシテ、最初カラ採掘ヲ致スト云フ者ノミ許可ニ至リマスレバ、又中ニ此十一億萬坪モゴザリマスル中デ、真正ナル所ノ試掘者モアリマスルカラシテ、是等ノモノガ爲ニ大ニ害ヲ蒙ルト云フヤウナコトモアリハセヌカト云フヤウナコトカラシマシテ、全ク委員會デゴザリマスルト、一方ニハ此弊害ヲ去リ、一方ニハ真正ノ鑛業者ヲシテ便利ヲ得セシムルガタメニ、採掘願ヲスルト同時ニ、試掘ノ願ハ二箇年ノ間ト云フモノハ、併セテ出願ヲスルコトヲ得ルト云フコトニシマシテ、一方ニ此弊ヲ去リ、一方ニ其便利ヲ得ルト云フコトニ致シマシタデゴザリマス、デ課稅ノコトニ至リマスルト云フト、是モ從來ハ鑛業稅ト借區稅ト二ツゴザリマシタガ、御承知ノゴザリマスル通り、鑛業稅ト云ヒマスルモノハ、甚ダ不十分ナ結果ヲ來シマシテ、到底名ハ實——一方ニ於テ借區デゴザリマシテ、特許權ニ對シマスル所ノ鑛區稅ヲ取リ、一方ニハ鑛業ノ上リ高ニ對シテ純益ニ稅ヲ課スルト云フ方法デ、立派ナヤウナモノデハゴザリマスルガ、此實到底是ガ行ハレナイノデゴザリマシテ、現ニ今日マデ當局者モ十分困ラレテ居ッタト云フ事實ハ、十分デゴザリマスルシ、又真正ナル營業者モ實ニ其煩ニ堪ヘナイノミナラズ、

顯ル不結果不公平デゴザリマシテ、若シ之ヲシテ真正ニ此法律面ノ通ニ致シ
マセウト思ヒマスルニハ、僅ニ二十萬圓前後ノ稅ヲ取リマスル所ニ對シテ、
之ニ數倍スル所ノ費用ヲ掛ケナケレバ其目的ヲ達スルコトガ出來ヌト云フ結
果ニ相成リマシタ、ソレデ原案デハ之ヲ日本鑛法ノ當時ニ事實上適リマシテ、
鑛業ト云ヒマスルモノ、此鑛區ニ對シマシテハ、國ノ所有ヲ占領シテ、其
鑛物ヲ採ルト云フコトノ特許ヲ與ヘマスルガ故ニ、其土地ヲ占領シ、其鑛業
ノ特許ヲ得ルニ對シテノ稅ヲ占領地ニ就イテ、ドレダケト云フモノヲ課スル
ガ相當デアアル、故ニ稅ノ性質ヲ異ニ致シマシテ、鑛業特許稅ト云ヒマシテ、
是ニ課スルヤウニ致シマシテ、今日迄弊ノ澤山アリ、不公平ノ澤山アリマス
ル所ノ鑛業稅ハ、廢シマシタデゴザリマス、是ニ依リマシテ、併ナガラ其
稅率ト云ヒマスルモノハ、原案デゴザリマスル、石炭ガ一圓、其他ノ金屬
ガ二圓ト云ヒマスルノヲ、前稅法ヨリ致シマシテ七十錢、又金屬ニ致シマシ
テ二圓ト云フモノヲ、一圓四十錢、即チ三割方減シタデゴザリマス、是ニ
依リマシテ、一方ニ於キマスル、鑛業者ノ鑛業稅總テノ事ニ就イテノ甚ダ
手數ヲ煩シマシテ、業務ヲ妨ゲラレタト云フコトヲ去リマシテ、一方ニ於テ
ハ又政府ニ於キマシテハ、爲メニ此業務ト云フモノガ、大變簡便ニナリマス、
課稅ノ法モ簡便ニナリマシタガ故ニ、ソレダケノ餘力ト云フモノハ十分アリ
マスカラ、鑛業ノ監督ノ方ニ施シ得ルト云フコトノ見込ガ立チマシタデゴ
ザリマシテ、是ニ就キマシテモ政府ハ矢張全然此法ノ方ガ簡便ノ——理事者
ニ於テ便利ダト云フコトノ同意ヲモ致シタデアリマス、併シ茲ニ一言申シ
テ置カナケレバナリマセヌガ、是ハ鑛區稅ハ、鑛業ノ特許權ニ對シマスル稅デ
ゴザリマシテ、委員會ニ於キマシテハ、今日段々ト稅源モ求ムル所デゴザリ
マスルシ、是ヨリシテ鑛業ニ稅ヲ課サウト思ヒマスルナラバ、矢張純益ニ課セ
ナケレバナラヌ、鑛業稅ト云フモノモ到底課スルノ必要ハ認メテ居リマスル
ガ、是ハ鑛業條例中ニ入レズシテ、單獨ノ法律トシテハ速ニ此單獨ノ法律
ヲ編成ヲ致スコトニモ力ヲ致シ、又政府ニ於テモ此法律ノ編成ヲ希望スル
云フ此精神ヲ以チマシテ、此鑛業特許權ニ對シマシテ、鑛區ヨリ課稅スル
云フコトニ致シマシタデゴザリマス、デ是ニ依リマシテ稅額ニ對シマシ
テ、或ハドノヤウナ不足デモ生ジハセヌカト云フ御見込モゴザリマスルカ知
レマセヌガ、殆ド五萬圓近クト云フモノハ、是ガタメニ一方ニハ手數ヲ簡單
ニ致シマシテ、五萬圓近ク殖エマシタノデゴザリマス、ソレノミナラズ、從
來借區ト云フモノガ無稅デゴザリマシタガ故ニ、言フベカラザル惡弊ガ生ジ
マシタガ故ニ、是ハ鑛業ノ特許權ヲ與ヘマスル、此占領ニ對シマスルコトニ
對シマシテ、今日採掘ノ半バノ稅ト云フモノヲ課スルコトニ相成ツタ、今日
十億萬モゴザリマスルガ、其中ノ大部分ト云ヒマスルモノハやまこガ持ッテ
居リマスルモノデゴザリマスルガ故ニ、或ハ多少ノ稅デモ掛リマスルト云ヒ
マシタナラバ、重モソレ等ハ棄ツル者ガ澤山出ルデアラウト思ヒマス、假
ニ之レヲ半分ニ致シマシタ所ガ十八萬圓位ハ此試掘ノ方カラシテ殖エテ參リ

マスル積デゴザリマス、是ニ實際ノ上デ稅額ニ於テ減ル筈ハナイヤウニ思ハ
レマス、唯茲ニ此點ニ於キマシテハ、大分矢張委員會ニ反對モゴザリマシ
テ、是ハ大鑛業者ト云フモノヲ利シテ、小鑛業者ト云フモノニ不利ヲ與ヘル
ト云フヤウナ反對モゴザリマシタガ、是ハ決シテ左様ナ譯デハゴザリマセ
ヌ、先ツ其大鑛業者ト名ケマスルモノハ、八十二ゴザリマシテ、反對論者
此大鑛業者ト名ヅクルモノハ石炭デ申シマスルト云フト、一萬噸以上ヲ採掘
スル所ノモノデ、大ト申シマシタ所ガ其標準ガ立タナイノデ、面積ノ大キナ
ノヲ大鑛業者トスルカ、或ハ其鑛業ヲ營ンデ居ルモノ、實富ノ定度ニ依ッ
テ大鑛業者ト小鑛業者ヲ別チマスルカ、其邊ノ定義ガ分リマセヌガ、免モ
角モ其事業ノ計畫ノ大キナルモノヲ以テ、大鑛業者ト看做シテ宜シイト考ヘ
テ居リマス、是ニ對シマシテ利スルガ如ク致シマシテ、——利スルガ如キ論
法ヲ以チマシテ、反對モゴザリマシタケレドモガ、是ハ大ニ事實ヲ誤ッテ居
ルノデゴザリマシテ、却テ是ハ小鑛業者ト名ケル者ニ對シテ、利益ノアル案
デゴザリマス、其事ハ詳細茲デ辯ジテモ宜シウゴザリマスガ、先刻簡單ト云
フヤウナ御言葉モゴザリマスルシ、又此事ニ就キマシテハ藤金作君ガ精密ニ
御調ニナツテ居リマスルデ、同君ノ發議通告モゴザリマスカラ、同君ノ詳細
ナル所ノ御說明ニ讓リマスルデ、ソレヲ御聽下サレタナレバ、十分ニ御分リ
ニナルコト、考ヘマス、又モウ一ツハ鑛山監督署ト云ヒマスルモノヲ廢止ス
ル原案デゴザリマシタガ、段々審議ノ末斯ノ如ク試掘ノ制モ改メ、施業案モ
廢シ、鑛夫ノ制モ改メテ段々斯ウ致シテ參ッタナラバ、前ノ二萬餘件ノ中
ニ於キマシテ、一萬五千件アリマスルヤウナコトガ、幾分カ皆事業ガ關ニ相
成リマスルシ、其他總テノコトガ此法律ニ依リマシテ、簡單ニ相成リマスル
ガ故ニ、其餘力ヲ以テ今日ニ反シテ大ニ此真正ニ鑛山ヲ監督スルト云フコト
ニ、力ヲ盡サシメテ見ルガ宜シイ、又政府ニ於テモ左様ナツタナラバ、十分
ノ監督ガ居クデアラウト云フコトヲ明言致サレマシタガ故ニ、委員會ニ於キ
マシテハ此鑛山監督署ト云フモノハ、先ヅ平ラニ申シテ見マシタナラバ、試
驗ノ二三年置イテ見テ、其結果ニ依ッテ之ヲ廢止スルモ敢テ遲キニアラヌ
ト云フコトデ、之ヲ現時ノ儘存在スルコトニ相成ツタナラバ、デ委員
會ノ審議ハ凡ソ斯ノ如キデゴザリマスルカラ、願クハ委員會ニ於ケルガ如ク
滿場一致ヲ以テ、此案ヲ御通シアラントヲ希望致シマス
○章刈親明君(二百二十一番) 私ハ委員長ニちよつと御尋致シマス、御提出ニ
ナツタ原案ニ依リマスレバ、鑛山監督署ヲ廢スルコト、試掘ノ制ヲ廢スル
コト、云フノデゴザリマス、現行ノ鑛業條例トハ大變ニ精神モ相違シテ居リ
マス、委員會ニ於キマシテ御修正ニ相成リマシタ所ヲ見マスレバ、現行法ト
殆ド相違ナイヤウニナツテ居リマス、唯違ヒマスルノハ提出ノ理由ニゴザリ
マス、第五ノ課稅法ヲ改メルコト、云フ一點デアアルヤウデゴザリマス、未
六萬千九百四十三圓餘ハ鑛區稅デゴザリマスガ、是ハ何ニ依ッテ御取調ニナツ

タノデゴザイマスカタ云フコト、第二ニハ私ガ第十三統計年鑑表ヲ見マ
スレバ、委員長ノ則チ此議案ノ統計トハ大變違ッテ居リマシテ、二十七年
ノ豫算デサウシテ鑛業稅ト云フモノハ十七萬六千三百二十九圓、鑛區稅ハ三
萬八千七百三十八圓併セテ二十一萬五千六百七十七圓ト見エテ居リマス、此計算
ニ依リマスレバ、本員ノ考ニ依ッテ見マスルトキハ、鑛業條例ヲ鑛業法ト改
正シマシテ、サウシテ其委員會ノ決議ニ相成リマシタ此第四十四條ノ如ク致
シマスレバ、現ニ今日ノ鑛業稅及鑛區稅ノ中ヨリ少クモ十萬位ノ減額ヲ見ル
デアラウト思ヒマスルデゴザイマス、其故ハ簡略ニ申シテ見マスレバ、先ヅ
委員會ノ修正ニ依ッテ見マスルノニ、鑛業稅ハ此鑛區ノ一千坪ニ就キマシ
テ、七十錢ノ鑛業稅ヲ——鑛區稅ヲ納メル斯ウゴザイマスルガ、現行ノ法ニ
依ッテ見マスレバ、三十錢ノ鑛區稅ニナツテ居ル、ソコデ一万以上ト見マシ
テモ、先キニ申シマスル通り、鑛區稅カラ取リマス所ノ金圓ガ三萬八千圓デ
ゴザイマスルガ故ニ、是ヲ一倍以上トシマシテモ、十萬圓ニ涉ラナイと思
フ、十萬圓ニナリマセストシマスレバ、二十一萬圓ノ金ノコトデゴザイマス
カラ、十一萬圓程殘リマスルガ、斯様ニ致シマスレバ、試掘ノ方ニ於テ大變
多クナツテ居ラウト思ヒマス、試掘ニ附イテ現行法ヲ見マスレバ、金額ヲ納
メテ居ルノデ、試掘ト申シマスルモノハ、試掘ヲ將來出願シマスレバ、其利益
ガ收マル、試掘ヲ出願スルモノガナクテ今日ノ儘デアレバ、其税金ハ取上
ラヌデ、十八萬圓取上ガルト云フ御説デゴザイマシタガ、要スル所此點ニ於
キマシテハ現ニ取上ガル所ノ税金ガ十一萬若クハ十萬ノ不足ヲ現ズルガ、此
不足ト云フモノハ途ヲ以テ充テラレルカト云フコト、ソレカラ試掘稅
十八萬圓ノ見込アルト云フコトハ、何ニ依ッテ御取調ニナツテアルヤト云フ
コト、此二ツノ點ヲ御尋致シマスガ故ニ、御答ヲ得タク存ジマス、此點サヘ
確マリマシタナラバ、此鑛業條例ト云フモノガ改正致シテ利益ガアルカ利益
ガナイカハ、此一ツデゴザイマスカラ、此點ヲ確メテ置キタクゴザイマス
○中村彌六君(百六十一番) 宜シウゴザイマス、是ハ原案ニゴザイマス通
リ、二十七年十二月二十五日ノ現在ノ何ニ依リマシタデゴザイマス、デ統
計年鑑ニハいつノ數ガ上ツテ居リマスルカ、現在ノ鑛區坪數、其種類ニ依リ
マシテ三十二萬三千三百三十九坪、是ハ原案者ノ調デゴザイマス、是ヨリシテ
三割ヲ減シマシタ所ノモノガ、二十二萬六千五百四十二圓九十錢一厘二毛
ト云フモノガ、是カラ出テ來ルノデゴザイマス、デソレヨリシテ此二十六年
度ノ實收額デゴザイマス、是ハ此官衙ノ調ニ依ルベキ所ノ調デゴザイマス、
則チ農商務省デ實收致シマシタ所ノ報告書ニ依リマシテノ調査——是ガゴザイ
マスル、ソレヲ差引キマシタル所デ、差引カズニ是ガ十七萬八千八百六十八圓
九十九錢五厘、是ヨリシテ差引キマスルト四萬七千六百七十三圓九十錢何某
ト云フモノガ、今度則チ試掘デナクシテ殖エマスル高ニナリマス、デ唯今ノ所
ノ三十錢カ七十錢ニナルト云フ何デゴザイマスルガ、是ハ炭區デゴザイマス
レバ七十錢、金屬デゴザイマスルト云フト一圓四十錢デゴザイマスル、デ是

等ノ差ト云フモノハ同一ノモノデゴザイマセヌ、デ坪數モ違ッテ居リマス
ル、デ斯様ニ相成ッテ參ル、デ又實際ハ此試掘ノ課稅ガゴザイマセイデモ、
既ニ四萬七千有餘圓ガ殖エマスルガ、委員會ノ見込デゴザイマスルト云フ
ト、今日ノ鑛業ノ發達上カラ見マスルト云フト、ズンとマダノ試掘ニ對シ
マスル鑛區稅ガナクシテ殖エマスル積リデゴザイマス、承ル所ニ依リマスルト云
フト、九州ダケニ致シマシテモ、殆ド一億近クモ殖エテ來ルト云フトデゴ
ザイマス、デ此鑛業ノ發達ノ趨勢ヨリ見マスレバ、是ハ二十七年十二月二十
五日ノ現在數ニ依リマスレバ、今日ノ調デアリマスレバ、僅カ二箇月ノ間デ
モ亦大ナル數ヲ得ルコト、思ヒマス、是ニ増スニ未ダ此試掘ニ對シマスル
稅ガ參リマスルカラシテ、是ハ殖エルト申シマシタノハ、試ニドウ云フヤウニ
計算シタカト云フ御話デゴザイマスレバ、申上グマスルガ、是ハ七十錢ノ
半分デゴザイマス、半額ヲ納メル皆炭區ト——炭鑛ト見マシタ所ガ、七十錢ノ
半額デ三十五錢ニナル、千坪デ三十五錢デゴザイマスカラ、十一億カラゴザ
イマスルカラシテ、極ク少ナク見込マシテモ、其位ノ高ハ——半分試掘ヲ捨
テルト見マシタ所ガ、モウ十萬以上ト云フモノガ殖エルト云フトハ、是ハ
目ノ子算用デモ知レマスコトデアリマス、況ヤ其間ニ試掘ヲ致シマスルト云
フコトハ、必シモ炭鑛バカリデモゴザイマセズシテ、金屬ノ鑛山モ澤山ゴザ
イマス、是ハ此半額ト致シマシテ三十五錢デナクテ、是ハ七十錢ニナリマス
ルカラ、是等ハサウ云フ所カラ割出シタデゴザイマス、尙ホ此試掘ノ現在
數ナドモ、十分當局者ニ承リマシテ、今朝モ既ニ此表モ得マシタガ、何サマ
大阪鑛山監督署ダケノ調ハ未ダ參ラヌカラ分ラヌガ、全國ノ秋田、東京、大
阪——今ノ所デ調バツテ居ル所ダケデゴザイマシテ、十一億一千四百四十九萬
三千八百二十六坪ト云フトニナツテ居リマスカラ、是等ノ數カラ割出シタ
ノデゴザイマス
○草刈親明君(二百二十六番) 詳細分ツタノデゴザイマスガ、此理由書ノ中
ニ二十六年度ノ實收額ハ先刻申上グマシタ通ニナツテ居リマスガ、此點ニ
就キマシテハ、是ヲ併セテ政府委員ニモ承ッテ置キタクゴザイマス、統計年鑑
ノ方トハ計算ノ上ニ於テ現ニ二十六年度ニ致シマシテ、一萬圓以上ノ違ガア
ル、其違ハドウ云フ點デゴザイマスルカ、御調ニナリマシタラ、どちらガ本
當デアアルカト云フトコト、委員長ガ御調ニナリマシタナラバ、委員長カラ承
テ置キタイ、又農商務省デ御調ニナリマシタナラバ、農商務省カラ承リタ
イト思ヒマス、ソレカラ委員長カラ承リマシタ所デハ、此鑛業稅ト云フモ
ノヲ廢シマシテ、鑛區稅ト云フモノニナリマスレバ、彼ノ足尾銅山ノ如キハ、
現今ノ税金ノ三分ノ一ニ充タナイ程ニ減ズルト云フトニ聞イテ居リマス、
サウ云フ點ハ御調ニ相成ッタノデゴザイマセウカ、又其結果ハドウ云フ差
引計算ニナツタカト云フトコトヲ御尋致シマス
○中村彌六君(百六十一番) 是ハ一々鑛山ニ當ッテハ調ベマセヌデゴザイマ
ス、一々唯鑛業ノ何ニ對シマシテハ、ドレガドレダケニ當ルト云フトハ、

能ク調ベマセヌデゴザイマスルガ、此委員會ノ修正ニナリマシタル前ノデゴザイマスレバ、調ベタノデゴザイマス、是ニ至リマスルコト云フト、た一か三池デゴザイマシタカ、多少減ズルト云フダケデ、是ハたいシタ違ハナイヤウニ見エマス——三池ガ殖エマシテ、左様デゴザイマス——是ハ一々此各鑛山ニ就キマシテ調ベタノデハゴザイマセヌ、其邊ハ先刻申上デマシタ通、委員會デハ調ベマセヌデゴザイマスケレトモ、藤金作君ガ十分詳細ノ説明ガアラウト思ヒマス

○草刈親明君(二百二十一番) 然ラバ併テ政府委員ニ承リマス、此改正案ニゴザイマスガ、此統計年鑑ノ金額ノ違フコト、及足尾銅山ヨリ得ル所ノ税金ノ高ラ……

○吉本榮吉君(六十四番) 此議會モ會期モ少ナイカラ、委員會ノ御調ガ延引ニナツテ居リマスレバ、直チニ確定モ致シタイ積リデアリマスガ、念ノタメニ一應御導致シマスルガ、此提出案ノ第三條デ見マスルト、鑛山局ノ官吏ハ鑛業人ト又鑛業ニ關スル社員等ニナルコトハ出來ヌ、斯ウ云フコトニナツテ居リマスルガ、然ルニ委員會ノ御調デ見マレ、七第三條ノ二項ニ鑛業人未成年風癩白痴又ハ……

○中村彌六君(百六十一番) ちよつと申上デマスガ、是ハ唯今最初ニ申スベキ筈デゴザイマシタガ、是ハ挿入ノ箇所ガ印刷ノ間違デゴザイマス、是ガ前後致スノデゴザイマス、是デ見マスルト、農商務省ノ鑛山監督署ノ署長ハ風癩白痴ノヤウニ見エマスガ、是ハ甚ダ不都合デゴザイマス、是ハ正誤致シマス、ツレヨリシテ第六條ニ至リマシテ、序ニ申シマスルガ、六條ノ採掘人ノ賣買、讓與、書入トアリマスルノガ、鑛業特許ノ抵當讓與、斯ウナルベキ筈デゴザイマシタガ、是ハ謄寫ノ間違デゴザイマス、併セテ是ダケヲ……

○植田理太郎君(九十番) 私モ委員長ニちよつと御導致シマス、此改正案ニ依リマスルト、租稅ガ課シテゴザイマス、所デ此從前ヨリ當局者カラ一箇年ナラ一箇年ノ期限ヲ以テ認可ニナツテ居リマスル所ノ默可シツ、アル所ノ地ニモ、矢張稅ヲ課セラレルノデゴザイマスガ、其期限中ハ無稅デ宜イノデゴザイマスガ、ソコヲ一應確メタイト思ヒマス

○中村彌六君(百六十一番) 是ハ附則ヲ御覽ニナレバ分リマスガ、附則ニ規定シテゴザイマスル附則ノ新第五十六條デゴザイマス、皆此前ノ法律ト云フモノハ廢止ニナリマスルカラ、新ニ茲デ勿論出マシテ、今日ノ許可ヲ得テ居リマスルモノニ至リマシテモ、矢張賦課スル譯デゴザイマス

○植田理太郎君(九十番) サウシマスト既往ニ遡ルノデアリマスガ、則チ今日ノ鑛業條例ガナクナツテ、此條例ガ往クノデゴザイマスカラ、新ニ法律ノ制裁ヲ受ケルト云フコトニナリマス

○中村克昌君(百四十一番) 委員長ニ御導ヲ致シマスガ、唯今正誤ヲ述ベラレタ第三條ノ二項デ、今度之レガ一項ニナリマスルガ、此一項ハ現行法ノ第

四條ノ趣意デアツテ、農商務ニ在職ノ官吏ハ鑛業人トナルコトヲ許サヌト云フコトノ意デアリマスガ、本員ハ是ニ就イテ二次會ノ場合ニ修正ヲ致サウト思ヒマスガ、議長ノ御手許マデ——果シテ現行法ノ四條ノ精神デゴザイマセウト思ヒマス、念ノタメニ伺ツテ置キマス

○中村彌六君(百六十一番) 左様デゴザイマス

○副議長(島田三郎君) 植田理太郎君

○草刈親明君(二百二十一番) 先刻私ノ政府委員ニ御導致シマシタコトヲ併セテ御導致シテ置キマス、先刻御導ヲ致シマシタノハ、此統計年鑑ニ依ツテ見マスレバ、二十六年度ノ收入ハ十七万九千二百五十四圓ニ相成ツテ居リマシテ、サウシテ唯今ノ委員長ノ報告ニ依リマスレバ、十七万八千八百六十八圓九十九錢五厘トゴザイマスルカラ、殆ド一萬圓近クノ減額デゴザイマス、其減額ノゴザイマスル點ハ、ドウデアアルカト云フコト、ツレカラ其次ニ……

○副議長(島田三郎君) 質問デゴザイマスレバ演說ガ濟ミマシテ、其間ニ質問ニナツテ宜シウゴザイマス

○草刈親明君(二百二十一番) 併ナガラ……

○副議長(島田三郎君) ツレデハ二百二十六番ニ許シタ覺ハゴザイマセヌカラ差止メマス——植田理太郎君

(植田理太郎君演壇ニ登ル)
○植田理太郎君(九十番) 諸君、私ハ此改正案ニ反對スルノ一人デゴザイマス、此改正案ニ反對デゴザイマスルガ、其中最モ反對セニヤナラヌト云フノハ、此試掘ニ課稅シテヤルト云フ點デゴザイマス、此試掘ノ業タルヤ、其性質上眞ニ國家事業デゴザイマス、如何トナレバ其目的ハ鑛層ヲ探明シテ營業ノ採掘出來得ルヤ否ヤヲ確メルマデノコトデゴザイマス、故ニ試掘人ハ其試掘中要スル所ノ費用ハ決シテ償却ノ見込アルベキモノデナイデゴザイマス、眼前ニ是ニ投ズルハ單純ニ鑛層ノ性質ヲ知悉センガタメニ、斯ル目的ヲ以テ施業シツ、アル所ノ試掘地ニ對シテ、課稅セント欲スルハ、實ニ苛酷ナコトデアラウト私ハ考ヘル、況ヤ又此課稅ハ鑛業上ノ發達ヲ大ニ害スルノ虞アルデゴザイマス、如何トナレバ富豪大家ニアツテハ些々タル資金固ヨリ關セザレドモ、無資力者ニアツテハ大ニ困難ヲ感ズルノ虞アリト思ヒマス、故ニ爲ニ或ハ鑛業上ニ缺クベカラザル試掘出願ノ數ガ減ズルカモ計リ難ナイノデゴザイマス、デ此反對論者ガ言ヒマスルニハ、此惡漢往々試掘ノ認可ヲ得ルト雖モ、其業ヲ爲サズシテ、却テ人ヲ欺イテ他ニ賣却スル虞ガアル、爲ニ鑛業大ニ害スルモノデアアル、斯ウ云フノデゴザイマス、決シテサウデナイ、今之ヲ課稅スル時分ニハ、是非トモ此賣買ノ權利ヲ許シテヤラニヤナラヌ、シテ見マスレバ前ヨリモ尙ホ弊害ガひどく増スガヤウニ私ハ考ヘマス、又此現行法律デ見マスルト云フト、鑛業稅鑛區稅ト此二種ニ分ツテ居リマス、是ガ眞ノ公平均一ナルモノデアラウト私ハ考ヘル、デ此改正デ見マスルト云フト、唯鑛區稅トノミニナツテ居ル、シテ見マスルト云フト、此日本ノ少數ナル所

ノ大鑛業者ノ大ニ利スル所トナッテ、多數ノ小鑛業者ガ大ニ困難ヲスルノデゴザイマス、故何ナレバ大略取調ベテ置キマシタガ、栃木縣ニゴザイマス足尾銅山ノ現行法律ニ據リマス所ノ課稅デゴザイマス、一箇年一万三千六百七圓二十四錢九厘、是レ納メテ居ルノデ、此改正法律ニ據リマス所ト、二千六百二十九圓三十八錢七厘、差引減ズルコトガ一万九百七十七圓八十五錢七厘現行法ヨリ減ズルノデゴザイマス、シテ又此小鑛山ヲ比較シテ見マシタ所ガ、秋田縣ノ十二貫目ト云フ字ノ銅山、是ハ現行法ニシマス所ト百十八圓七十二錢九厘ヲ納メテ居ル、改正法ニ據リマス所ト云フト五百四十九圓九十六錢、是レ差引増スコトガ四百三十圓二十三錢一厘増スノデゴザイマス、デ如何ニモ公平ヲ保タニヤナラヌト云フ原因カラ出テ居リマス、此改正案デゴザイマスニ、却テ此不公平ガ甚シキモノト言ハザルヲ得ヌノデゴザイマス、何分此案外ニハ種々深キ意味ガアルヤウニ私ハ考ヘテ居リマスルケレドモ、其意味タルヤ判然私ガ承知シマセヌモノデゴザイマスカラ、唯公平無私ノ考ヲ以チマシテ、此案ニ反對スルノ所以デゴザイマス、諸君幸ニ公平ノ御考ヲ以テ、我說ニ御同意アラシコトヲ……

○草刈親明君(二百二十六番) 政府委員ニ御尋致シマス、先刻既ニ其端緒ヲ啓イテゴザイマスガ、統計年鑑ニ記載シテ居ル所ト、政府ガ中村君ニ御話ニ相成ツタト云フヤウナコトノ二十六年度ノ鑛業鑛區ノ統計金額ニ殆ド一万圓近クノ差違ガ生ジテ居リマス、どちらガ眞實デアラカト云フコトヲ確メタイ、第二ニハ統計年鑑ニ據リマスレバ、二十七年年度ノ收入ノ豫算ト云フモノガ二十一万ト致シテアルノデアアル、ドウ云フ譯デ二十六年年度ガ十七万ナノニ、二十七年年度ガ二十一万ト云フ殆ド三四万圓ノ増額ガアルト云フノデゴザイマス、第三ニハ足尾銅山ノコトデゴザイマスガ、足尾銅山ノコトニ就イテハ、唯今植田君ノ御話ノ通ノコトデアアルヤ否ヤト云フ此點ニ就キマシテ、先ツ第三ノ尋ヲ致シマス、ソレカラ政府委員ガ御同意ダト申シマスルカラ、是モ政府委員ニ伺ッテ置キマスルガ、どあたカモ既ニ御發議ニ相成リマシタ通り、此修正案ニ依ッテ見マスレバ、農商務省ノ在官者ハ是等ノ營業ヲ爲スコトガ出來ナイト云フ明文ガ記載ニナッテ居リマス、所ガサウシマスレバ、農商務省ノ官吏以外ノモノナラ在官者デアッテモ、是等ノコトノ出來ルト云フ精神デ、其箇條ヲ御書加ヘニナッタモノデアリマスカ否ヤノ點ヲ伺ヒマス、私ノ考ヘル所ニ依ルト、農商務省ノ官吏ダケガ斯ウ云フ會社ニ這入ラレナイコトノヤウニ思ッテ居リマス

(政府委員農商務次官金子堅太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(金子堅太郎君) 草刈君ニちよッテ御尋致シマスガ、あすこニ居リマシテ能ク御質問ガ一々聽取レマセヌデアリマシタガ、第一ノハ二十六年年度ノ豫算額ニ就イテ差違ガアルノハ、ドウ云フ譯カト云フノカト……

○草刈親明君(二百二十六番) どちらガ本當カト云フノデス
○政府委員(金子堅太郎君) 左様デスカ

○草刈親明君(二百二十六番) 左様デス
○政府委員(金子堅太郎君) 二十六年年度ノ豫算額即チ鑛業稅ト鑛區稅ノ豫算額ハ、二十一萬五千零六十七圓零三錢九厘デゴザイマス、是ガ豫算額デス、所ガ御承知ノ通り實收入ニ就キマシテハ、豫算程參ラヌコトデゴザイマス、又或ル場合ニ於テハ豫算ガ増シマスルノデゴザイマスガ、實收入ハ——二十六年度ノ實收額ハ十七萬八千八百六十八圓九十九錢五厘ト云フノガ、是ガ實收額デゴザイマス

○草刈親明君(二百二十六番) 所ガ其點デアリマスガ、統計年鑑デハ十七萬九千トナッテ居リマス、八千デハナク、九千トナッテ居ル

○政府委員(金子堅太郎君) 農商務省ノ方ノ調デハ八千デス、ソレデ差引收入ガ三萬六千減ッテ居リマス、ソレカラ二十七年年度ノ豫算額ハ矢張豫算不成立デアリマスダメニ、前年度ニ依リマシタカラ、二十一萬五千ニナリマシタノデ、ソレカラ第二ノ……

○草刈親明君(二百二十六番) 足尾銅山ノコト

○政府委員(金子堅太郎君) 足尾銅山ニ如何程ノ收入ガアルカト云フコトデスカ

○草刈親明君(二百二十六番) 植田君ノ言ハレタ通ノコトデス

○政府委員(金子堅太郎君) 足尾ニ就イテノ特別ニ調ベタモノハ、今持チマセヌデゴザイマスガ、殊更ニサウ云フ御質疑ガアラウト思ッテ、足尾ノ事ヲ特別ニ調ベタモノハ茲ニハアリマセヌガ、御入用デアリマスレバ、調ベテ申シマス

○草刈親明君(二百二十六番) ソレカラ在官者ノコトニ就イテハ、農商務省ノ官吏ニ限ッテ營業ガ出來ナイト云フコトニ致シマシタノハ、ドウ云フコトデアルカ

○政府委員(金子堅太郎君) 農商務省ノ鑛山局トカ鑛山監督署ノ者デスカ

○草刈親明君(二百二十六番) 修正案ヲ御朗讀ニナッタモノト思フテ、申シマセヌデシタガ……

○政府委員(金子堅太郎君) 現行法ガサウナッテ居ルノデス

○草刈親明君(二百二十六番) ソレハ惡ルイノデ——惡ルイノヲ茲ニ御加ヘニナッタト云フノハ、ドウ云フノデスカ

○政府委員(金子堅太郎君) ソレハ御承知ノ通り農商務省ノ鑛山局及鑛山監督署ノ者ハ、日本全國ノ鑛山ヲ監督シテ居ルモノデゴザイマシテ、其不十分ナルコトモ摘發モ致シ、又犯罪者ガアレバ法律ニ依ッテ、ソレノ處分ヲモスベキモノガ、利益ノ分配トカ、株主トカ、或ハ役人ニナッテ居リマスレバ、ドウモ公平ノ處分ガ出來ナイト云フ普通ノ原則カラ出タモノト思フ

○草刈親明君(二百二十六番) サウスルト、地ノ官吏ハ會社員ニナッテモ宜シイノデアリマスカ
○政府委員(金子堅太郎君) 直接ニ監督シテ居ルモノヲ除クノ外ハ、普通ノ

營業若クハ普通ノ株主ニハナリマス

○副議長(島田三郎君) 藤金作君

(討論終結ト呼フ者アリ「賛成々々」ノ聲起ル)

(草刈親明君「モウ一時間モ費ラセテ討論終結ニ賛成」ト呼フ)

○中村剛六君(百六十一番) 是ハ從來ノ例ニ依テ賛成ト反對デゴザイマスカラ、登壇致シマスヤウニ……

(藤金作君演壇ニ登ル)

○藤金作君(百二十四番) 本案ニ就イテハ最早委員長カラ詳細ノ報告モアリマスシ、反對者ノ御論モアリ、いろ／＼質問モアツタ末デ、討論終結ノ場合デアリマスカラ、私モ登壇スルノハ難澁デゴザイマスガ、簡單ニ此税額ノコトニ就イテ御議論ガアリマスカラ、是ダケヲ一ツ述ベマシテ、私ハ終ルコトニシヤウト思ヒマス、礦業税改正法案ハ此法案ノ通ニナルガ、最も當局者竝ニ實業家ニ於テモ甚ダ便利ヲ得ルニ相違ナイデアリマス、是ハモウ前々會期カラ始終本會デハ贊成ノアツタ方デゴザイマス、然ルニ一番困難ナルハ試掘ノ制ヲ廢スルト云フノト、税法ノ變ルト云フノト、此二點ガ衝突シテ居ルコトデアリマス、然ルニ現行ノ税法ハ、礦區稅並ニ礦業稅ノ二ツデアリマスカラ、法律ノ明文ニ於テハ甚ダ宜シデアリマス、併ナガラ實際ハ徵稅スルト云フコトニ至ツテ、何分行ハレヌコトニナツテ居リマス、全ク有名無實即チ礦業稅ハ販賣代價ノ百分ノ一トアリマスケレドモ、是ハ隨意稅ノ如キモノニナリマシテ、納メルモノモアリ、納メナイモノモアルト云フコトニナツテ、名ノミアツテ其實ノナイト云フコトニナツテ居リマス、是ハ甚ダ當局者モ厭フテ居ル場合デアアル、又實業者モ是レガタメニハ、自ラ不安心ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、是ニ依ツテドウカ之ヲ簡單ニ一ツ改正シヤウト云フ點カラ、礦區稅ノ——日本坑法時代ノ稅額ニ改メルコトニ原案ニハナツテ居リマシタケレドモ、又實地ノ有様ヲ委シク調査シテ見マスルト、日本坑法時代ト今日トハ變リマシテ、礦區ノ坪數ナドガ非常ニ増額致シマシテ、何分日本坑法時代ノ通デハ、又稅額ニ堪ヘナイト云フコトモアリマスカラ、原案ニ對シテ三割ヲ減シマシテ、是ガ適當デアルト云フ考デ、石炭ハ千坪ニ七十錢、金屬類ハ一圓四十錢トナツテ居ル、其結果ニ依リマシテ、稅額ノ當リヨ今日現在ノ礦區ニ計算ヲ致シテ見マスルト云フト、大ニ稅額ガ増シテ來ル割合ニナリマスルカラ、此割合ノ算出スル所ダケヲちよつと述ベテ置カウト存シマスル、二十六年ノ十二月ノ現在ノ數ニ於テハ、草刈君ガ述ベラレマシタ如ク、十七万八千八百六十八圓九十一錢五厘デアアル、之ヲ改正法案ニ依リマシテ、尙ホ三割ヲ下ゲマシタ所カラ、現在今日ノ借區坪數ヨリ計算シタモノデゴザイマスガ、今日ノ借區ノ面積ニ乘シマシテ、石炭ハ一億三千四百五十三万七千五百七十一坪、之レニ七十錢ヲ乘シテ九万四千七百七十六圓六十錢、金屬類ノ礦區ガ一億零三百三十三万五千五百五十六坪、此稅金ガ十四万四千六百六十四圓八十錢、此計二十三万八千八百四十一圓四十錢、斯様ニナリマスル

カラ、改正ヲ致シマスルト、現借區ニ對シテモ凡ソ五万圓カラ増額スル割合ニナリマス、此試掘ト云フモノガ實ニ今日ハ非常ナ試掘額ガ流行ニナツテ居マシテ、委員長ガ述ベマシタ如ク、十一億四千四百四十九万三千八百二十六坪ト云フ莫大ナル試掘ノ面積ニナリマシテ、之ニ半額ノ稅ヲ乘シマスルト云フト、大ニ其試掘ノ數ハ減ルデアラウト存シマス、假ニ私ガ計算スル所デハ、百分ノ六十ハ試掘額ヲ取消スモノト致シマシテ、百分ノ四十ガ相殘ルモノトシテ、是ヨリ計算ヲ致シマシテ、彼ノ石炭ト金屬類ノ比例ニ依ッテ四分六分ニ分ケテ、石炭ハ六分金屬類ハ四分ト云フ割合カラ半額ノ稅ヲ乘シマスルモノトシマシテモ、此二ツノモノヨリ計算スル所ノ稅額ハ二十八万三千七百六十三圓六十錢、斯ウ云フ稅金徵收スルコトガ出來得ル譯デアアル、之ニ依ッテ前ノモノト二ツ併セマスルト云フト、都合五十二万二千六百零五圓ト云フ高ニナリマスル、此中現行法ノ十七万八千八百六十八圓九十一錢五厘ヲ差引致シマスルト云フト、差引増額スル金額ガ三十四万三千七百三十六圓ト云フ額ガ新ニ稅ヲ増スコトニナルト云フ計算デアリマス、此試掘ヲ廢スルト云フ點ニ就イテ植田君ノ御議論モゴザリマシテ、私モ其御議論ノ上ニ於テハ、聊カ同感ノ所モアリマスガ、又實際ノコトヲ考ヘマスト我福岡縣ノ如キニ於キマシテモ、石炭ノ試掘ノ出願高モ三億二千万坪ト云フ出願ヲ致シマシテ、ソレハ驚クベキ試掘額ノ流行デアリマス、ソレハ無理ニ手數料ヲ——登記印紙ヲ貼リマシテ、出願致シマシテ、いろ／＼ノ弊害ガ生ジテ、實ニ今日デハ町村長杯モ困ツテ居ルト云フコトヲ續々通知ヲ致シマシテ、此間ニ於テ地方長官ト監督署長ト公益ニ害ガアルトカナイトカ云フ點ニ就イテ、推合等ノ手數ヲ要スルコト、實ニ非常ナコトデアリマス、ドウカ無イヤウニ致シタイ、從ッテ實業社會ノ迷惑モシナイト云フコトニシタイト云フ考ヨリシテ、私ハアノ植田君ノ說ト原案者ノ說トノ間ニ立ッテ、大ニ心配ヲ致シテ、調査シタ所ノ結果トシテ、斯ウ云フ修正案ニ成立ッテ居ル譯デアリマス、此所ヲ能ク諸君御察シアツテ、ドウカ礦業條例ノ改正ハ今日ニ於テ必要デアルト云フコトヲ、御考ヲ願ヒタイ、且ツ又礦業ノ今日勃興シテ居ル有様ハ如何ノモノデアアルカト云フコトヲ簡單ニ申上ゲテ置キタイデゴザリマス、明治十七年ノ頃迄ハ石炭借區ガ五百八十萬坪デアリマシタモノガ、今日ハ一億三千万坪以上ニナリマシタ、既ニ二十何倍ト云フモノニナリマシタガ、其時ナカッタモノ、此試掘額ト云フヤウナモノハ、既ニ十一億何千万坪ト云フモノニナリマシテ、殆ド十七年頃ノ礦區ノ坪數ノ百何十倍ト云フ面積ニナツテ來テ居リマス、是ガ大ニ地方長官ナリ監督署長ナリ、非常ナ迷惑ヲ致スコトハ實ニ困ツタ次第デアルツレカラ又其割合ニ產額ハナイデゴザリマス、產額ノ割合ハ漸クニシテ十年間ニ三倍程増シテ居リマスガ、此場合ニ於テ唯今ノ改正案位ノ稅額ヲ課シテ置イテ追々之ヲ一ノ稅源ト爲シタイト云フコトハ、私共又委員一同ニ考ヘテ居ル次第デアツテ、當局者ニ於テモ是ハ今日三千万圓ハ既ニ此礦業ヨ

リ産額ガナルカラ、追ッテ百万圓以上ノ稅源ハ之ニ充タスコトガ出來ヤウト云フコトハ、孰モ考ヘテ居ル次第デゴザリマスケレドモ、最早此議會中ニハ單獨ナル鑛業稅法案ト云フモノモ調査スルコトモ出來マセヌカラ、是ハ次ノ議會ニ讓ルト云フ考ヲ以テ居ル譯デアリマス、ドウカ一ツ御賛成アラントコトヲ希望致シマス

○目黒貞治君(百二十五番) ちよつと御尋致シタイ、唯今改正スルトキニナツテハ、大層此鑛業稅ノ多ク取レマス所ヲ御述ニナリマシタガ、此取レマセウト云フノハ、思フニ唯見込ニ過ギナイカト思フヤウデアリマス、ト云フモノハ今ノ試掘即チ試掘者カラ多ク取ルト云フ方ガ多イヤウニ考ヘマス、就イテハ私ガ斯ウ云フコトヲ一ツ聞キタイ、委員會デたか御調ニナツタト云フコトモ、承知致シテ居リマスガ、材料ハ藤サンガ御持デアリマセウ、第一日本ノ今鑛山——鑛業ノコトヲヤツテ居ルモノ、此大事業者ト云フモノハ、古河市兵衛、ツレナラ其次ニハ三菱、其次ニ岩崎、其次ニ住友、是等ノ人ハ現在ノ規則ニ依ッテ納ムル所ノ稅額ト、今度改正スル所此案ニ依ッテ納ムル所ノ稅額ノ比較シタ御調ガアルヤウニ承ツタ、是等ガドウ云フコトニナリマスガ、殖エル方デアリマスガ、減ズル方デアリマスガ、ちよつと此金額ト、此人ミノ持ッテ居ル其鑛山ノ數ト、箇所トヲちよつと參考ノタメニ、一應伺ヒタイト思ヒマス

○藤金作君(百二十四番) ツレダケ簡單ニ御答ヲ致シマス、成程私ガ調ベテ居ルノヲ御覽ノ上ノ御尋デゴザリマスカラ、最早是ハ御承知デアアルコトハ、分ッテ居リマスケレドモ、改メテ御問デアリマスカラ、御答致シマス(モウ宜イ)ト呼フ者多シ)モウ諸君ガ宜イト云フコトデゴザリマスカラ——成ルタケ御免ヲ蒙リタイ

〔討論終結〕ト呼フ者多シ

○目黒貞治君(百二十五番) ドウカ藤サンニ御答ヲ願ヒタイ(無用ヤ々)モウ宜イト呼フ者アリ)やかまじい、本員ガ必要デ質問スルノデアリマス

○藤金作君(百二十四番) ツレデハ簡單ニ御答致シマス、御尋ノ如ク古河市兵衛ノ納ムル鑛業稅ハ二万九千四百九十六圓デアリマス、ツレニ對シテ此鑛法ニナリマスルト——改正案ニナリマスルト、一万三千八百八十五圓程減リマス、ツレカラ三菱モ少シ減リマス、併ナガラマダ他ニ試掘ヲ願ッテ居ル者ガ、是等ノモノハ澤山アルガ、ツレヲ以テ埋メ合セルト又多クモナル

○目黒貞治君(百二十五番) ちよつと現在ノ所デハ皆減ル方デゴザイマスガ、試掘ハ姑ク措イテ相手ニナラヌカラ、現在ヤツテ居ル所ノ鑛業者デアリマス

○藤金作君(百二十四番) 唯今述べた所ガ減ズルノデゴザイマスカラ、今二ツヲ調ベタ所デハ減ズルノデアリマス

○目黒貞治君(百二十五番) 其他ハ如何デゴザイマス、此大モノ四五人ヨリ出ルモノハナイ、又此鑛業モ澤山——大モノ四五人デアリマス、日本國中ノ

仕事ヲヤツテ居ル、此仕事ハ何千万圓ノ仕事ヲヤツテ居ル、一年ニ何千万ノ利益ヲ取ッテ居ルカ、此鑛山ハ二束三文デ政府ノ財産ヲ受ケタノデアル、サウシテ今日納メテ居ル税金ハ幾ラデアリマスガ、却ッテ稅ヲ取ラウトシテモ、今ノ試掘ナド、云フモノハ、當テニナルモノシヤナイ、大事ナコトデアアルカラ、安ラカニ慮心平氣ニ、慮心平氣ノ適當ノ決議ヲシタイト思ヒマス

○藤金作君(百二十四番) ツレデハ四五人ノコトデゴザイマスカラ、朗讀シマス、住友吉右衛門ガ納ムル所ノ現行稅額ハ六千二百二十七圓、圓以下ハ切捨テ、讀ミマス、ツレカラ合名會社ノ藤田組ト云フガ六千五百二十圓、三菱ト古河ハ最前述べマシタ、ツレカラ三井鑛山ガ二万二千二百四十二圓、是ダケデゴザイマス

○目黒貞治君(百二十五番) ツレハ現在デ、改正ニナリマスルト

○藤金作君(百二十四番) 改正ニナリマスルト、差引ハ先刻述べマシタ如ク(合計ハ)ト呼フ者アリ)合計ハ出來テ居リマセヌ、モウ先刻ヨリ述べマシテ一番減ルモノガ、一万三千圓ト、一万五千圓、ツレラ二人ガ——アトハまるデ減ツタ所ガ、住友トカ三井組ト云フヤウナ大キナ者ハ、別ニ鑛區ヲ澤山持ッテ居リマスカラサウ痛苦ヲ感ズルコトハアルマイト考ヘマス、私ハ實ニ此統計ノ事ハ餘程委調ベテ居ルカラ、諸君ガ御許ニナレバ三四時間位ハ述べル材料ハ持ッテ居リマスガ諸君ガ御厭デアアルカラ、務テ辭退スル譯デアリマス

○副議長(島田三郎君) 討論ガ盡キタト考ヘマス、二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決議ヲ採リマス、二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(島田三郎君) 少數デゴザイマス

〔萬歲〕ト呼フ者アリ

○齋藤良輔君(百七十番) 議事日程ノ變更ヲ求メマス、ト云フモノハ此頃委員ニ付託セラレタ震災地方租稅特別法案ト云フモノヲ、之ヲ議シタイモノデゴザイマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○副議長(島田三郎君) 百七十番カラ議事日程變更ヲ御求ニナリマシテ、大略御述ニナリマシタ、之ヲ決ヲ採リマス、議事日程變更ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(島田三郎君) 少數デゴザイマス、日程ノ第七ニ移リマス

第七 砂鑛採取法中改正法律案(恒松隆慶君外二名提出) 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス) 明治二十六年法律第十號砂鑛採取法中改正法律案第一讀會 八三五

第三條 第四條トシ以下逐條順次繰下ク

第三條 採取ノ事業ヲ讓渡セムトスルトキハ所轄鑛山監督署長ヲ經由シ農商務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

共同採取人中ニ於テ除名スルトキハ所轄鑛山監督署長ニ届出ヘシ

(恒松隆慶君演壇ニ登ル)

○恒松隆慶君(七十番) 諸君、私等が砂鐵採取法案ノ改正追加案ヲ提出致シ

マシタデ、其理由ヲ述ベント欲シマスルガ、其前ニ多少字句ノ誤字ト脱字ガ

ゴザイマスデ、之レヲ御訂正ヲ前ニ願ヒタイト存ジマス、前ニゴザイマス所

ノ「左ノ通り第三條ヲ挿入ス」ト云フ所ノ「ノ通り」ト云フ三字ヲ削リマシ

テ「左ノ一條ヲ挿入ス」斯ウ致シマシタ、ツレカラ其次デ「逐條」ト云フ二條ヲ

削リマス、ツレカラ本文ノ三條ニ「讓渡セ」ノ「セ」ノ字ヲ「サ」ノ字ニ直シマ

ス、三條ノ一項デ「除名スルトキハ」ト云フ文字ノ下ヘ「其人名字」ト云フ五文

字ヲ挿入致シマスノデ、斯ク私等ガ改正ヲシヤウト云フノハ、現行法ノ第二

條ノ次ヘ、更ニ第三條ヲ加ヘマシテ、第三條ヲ第四條ニ致シマシテ、以下

順次繰下ゲルト云フ次第デゴザイマス、新ニ之ヲ設ケマスノハ、唯今述ベマシ

タ第三條ノ通デゴザイマスガ此「砂鐵ヲ採取セントスルモノハ所轄鑛山監督

署長ヲ經由シテ農商務大臣ノ許可ヲ受クヘシ」現行ノ第三條ニアリマシタガ、

其砂鐵ノ採取ヲ讓渡スノ場合ニハ、讓渡人ハ廢業ヲナシ、讓受人ハ新ニ出願

ヲシテ除名ノ場合ニハ共同採取人ガ一旦廢業シテ更ニ出願スルト云フ如キ、

無用ノ手續ヲ要シマスルガタメニ、營業者ハ少ナカラヌ不便ヲ蒙リマス、砂

鐵中デ最モ大キイモノハ砂鐵ノ業デゴザイマスガ、此我邦ニ鐵ノ事業ハ最モ

近來多ク外國カラ輸入モ致シマスケレドモ、是等ノ材料ト云フモノハ、最モ

砂鐵ニ依ルモノデ、過日製鐵所ノ事モ建議致シタ場合モゴザイマス、デ是等

ノ事モ大ニ手ヲ著ケナケレバナラヌト云フコトガアルデアラウト思ヒマス、

デ砂鐵ノ事業ニ就イテハ、公益ヲ害セザル限ハ、營業者ニ便利ヲ與ヘテ、此

業ノ發達ヲ促スガ必要デアルト信ジテ居リマス、ツレ故ニ吾々ハ讓渡及除名

ニ關スル規定ヲ設ケテ、營業者ニ其自由ヲ與ヘ是マデ蒙リ居タル不便ヲ除キ

マシテ、此業ヲシテ益ヲ發達セシメヤウト思フノデゴザイマス、而シテ是

ニ自由ヲ與ヘルノモ、公益ヲ害スルト云フコトノナイ限ハ、之ヲ與ヘテ差支

ナイト考ヘマス、政府ニ於キマシテモ、改正案ニハ聊カ不同意ハナイ、固ヨリ

同意ノコトデアラウト確信シテ居ル、又諸君ニ於キマシテモ自由權利ヲ自重

セラレマス御方デゴザイマスルカラシテ、是等ハ無論御贊成下サレマシテ、

速ニ本案ノ成立アラント望ミマスノデゴザイマス

(贊成)ト呼フ者アリ

○田中島雄君(五番) 本案ノ改正ハ唯今恒松君ノ御演說ノ通り、誠ニ單簡ナ

モノデアリ、最モ明瞭デゴザイマスカラ、讀會ヲ省略シテ、直ニ今日可決

アラント希望シマス

(贊成)ト呼フ者アリ

○副議長(島田三郎君) 讀會省略ハ異議ガナイヤウデゴザイマスカラ、讀會

省略ハ諸君ハ可認セラレタルモノト認メマシテ、直ニ決議ヲ採リマス

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○副議長(島田三郎君) 本案同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(島田三郎君) 多數デ確定致シマシタ 日程ノ第八ニ移リマス、

製茶試驗場設置建議案 二百九十番大原君

第八 製茶試驗場設置建議案(丸尾文六君外六名提出)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

製茶試驗場設置ノ建議

製茶ノ販路ヲ擴張シ其ノ發達ヲ圖ラムト欲セハ須ラク其ノ品質ヲ精良ニシ

其品位ヲ齊一ニシ以テ海外諸國ノ好尚ニ適セシメサルヘカラス然ルニ其ノ

製造方法ハ概ネ未タ舊套ヲ脱セシテ其ノ品位ノ優美ナルニ比シ其ノ品質

ノ佳良ナラサル者多ク而モ其ノ製費ハ他ノ產茶諸國ニ比シ却テ多額ヲ要ス

ルモノ、如シ今ニシテ製造方法ヲ改善スルト同時ニ製費節減ノ方法ヲ講セ

スハ斯開港以來輸出額漸次増加シ將來益々多望ナル一大國產ヲ以テ遂ニ

挽回スヘカラル悲境ニ沈淪セシムルヤ計リ難シ曩キニ政府ハ茶業組合規

則ヲ發布シ茶業者ヲシテ組合ヲ設ケシメ這般改善ノ方法ヲ計畫セシメタリ

ト雖未タ以テ目的ヲ達スルニ至ラス故ニ政府ハ宜シク製茶試驗場ヲ設置シ

之ニ學士及斯業ニ堪能ノ者ヲ招集シ之ヲ計畫シ諸般ノ試驗ヲ爲サシムヘシ

依テ速ニ明治二十八年度ニ於テ豫算ヲ提出セラレムコトヲ望ム

(大原重右衛門君演壇ニ登ル)

○大原重右衛門君(二百九十番) 諸君、私ハ少シ風邪デモゴザイマスシ、申

シマスル趣意ガ御徹底致シマセヌカト考ヘマスケレドモ、免ニ角本案ノ説明

ヲ致ス考デ此壇ヘ登ツタ譯デゴザイマスカラ、暫時……此本案ヲ説明スルニ

當リマシテ、先キニ一ノ訂正ヲ加ヘテ置カウト考ヘマス、此訂正ハ私共ハ誠

ニドウモ以テ遺憾トスル所デアリマスケレドモ、實ニ今日軍國多事ト云フ一

聲ハ、本年此本案ヲシテ豫算ニ上ラシムルト云フコトハ、到底心づかいコ

ト、本員ハ考ヘルノデアリマス、先ヅサウ云フ有様ニ立至リマシタカラ、此處

デ本員ハ此建議ノ訂正ヲ致シマス、此建議案ノ一番末文ノ「依テ」ト云フ、末

項ノ「依テ」ト云フ二字ヲ削リマスデゴザイマス、ツレカラ「明治二十八年度」

ノ「八」ト云フ字ヲ「九」ト替ヘマスルデゴザイマス、則チ明年ノ會議ニ此本案

ヲ提出セラレムコトヲ遺憾ナガラ政府ニ建議スルト云フノデゴザイマス(田

中島雄君「速ニ」ト云フ字ハドウスルノデスカ)ト呼フ「速ニ」モ削リマス、ツ

レカラ此本案ノ目的ト致シマス所竝ニ其方法等ニ就イテ述ベヤウト思ヒマ

ス、即チ其目的ト致シマス所ハ、諸君モ御承知ノ如ク、此製茶ト云フモノハ、是

マデ此本邦ニ於キマシテハ、重ニ手ヲ以テ之ヲ製造シテ居ルヤウナコトデア

英國食料品及藥品販賣條例拔萃
茶ニ關スル特別法

三十條 千八百七十六年一月一日以後大英國及愛蘭ノ各港ヘ商品トシテ輸入シ陸揚セザレタル總テノ茶ハ稅關吏ノ選定セシ検査員ノ検査ヲ經ヘキモノトス該検査員ハ大藏省ノ認可ヲ受クルモノニシテ茶ヲ審査及分析スルヲ目的トス該検査員ニ於テ必要ト認メタルトキハ見本ヲ取り可及迅速カナル便法ヲ以テ之レヲ分析員ニ交付分析セシムヘシ
此分析ニ依リテ該品ニ他物若クハ消耗茶ノ混淆セル事ヲ發見スルトキハ該品ハ稅關吏ノ許可ナクシテ賣買スル事ヲ得ズ但稅關吏ハ內國ノ消費若クハ船舶使用又ハ輸出用等適當ト認メタル條件ヲ以テ指定スヘシ
審査及分析ニ由リテ分析者ハ人生ノ食料ニ適セスト認メタルトキハ之ヲ沒收棄却ス或ハ稅關吏ノ指圖ニ據テ處分セラルヘシ
本條例中消耗茶トハ浸潤煎煮若クハ其他ノ手段ヲ以テ其固有ノ品質勢力及精分ヲ耗失シタル茶ヲ指稱包含スルモノトス
斯ウ云フヤウナ者ガ出マシタ、ソレカラ又北米合衆國ハ明治十六年ニ當リマシテ、是ハ諸君モ御承知デアラウト思ヒマスガ、實茶造輸入禁止條例ト云フモノヲ發布致シマシタノデゴザリマス、是ハ長ウゴザリマスデ、其ノ節ヲ是モ亦讀上ゲマス、實茶造輸入禁止條例(「簡單々々」ト呼フ者アリ)極ク簡單デス

米國實造茶輸入禁止條例拔萃

第一條 本條例決議以來個人若クハ會社ニ於テ疑似ノ雜葉又ハ消耗シタル茶葉ヲ質雜シ若クハ藥品其他有害ノ物質ヲ多量ニ含有シテ飲用ニ不適當ナル商品ヲ製茶ト稱シ販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ合衆國內ニ輸入スルハ法律違反ノ所爲タルヘシ凡テ此ノ如キ商品ノ輸入ハ本條例ヲ以テ之ヲ禁止スルモノトス

第七條 本條例中消耗ナル語ヲ適用セル茶葉ハ浸潤煎煮等ノ方法ニ由リテ固有ノ性質勢力又ハ精分ヲ消耗セシメタル各種ノ茶葉ヲ指稱包含スルモノトス

リマス、一切機械ノ力ヲ藉ルト云フコトハシナイノデゴザリマシタガ、ドウモ唯今追々海外諸國競爭モ甚シクナツテ來マスルシ、今日ノ有様ニ於キマシテハ、到底多少機械ヲ應用スルト云フコトニシナケレバ、速モ競爭場裏ニ向テ勝ヲ決スルト云フコトハ、如何デアラウカト云フ恐ガアリマスルカラ、ソレデ多少機械ヲ應用スルト云フコトヲ、攻究シタイト云フ考デアアル、又一ツニハ此唯今マデ製茶ノ法ト云フモノハ、唯現品ヲ以チマシテ、何カシテ製造シテ居ルノデアツテ、其施術ノ巧拙ニ依リマシテ、茲ニ或ハ善イ茶トナリ、惡ルイ茶トナルト云フコトニナツテ居リマスヤウナコトデゴザリマス、重ニ學理ノ之ヲ應用スルト云フヤウナコトハ出來ナカッタノデアリマス、其間多少學理ノ考ノアル人ガアリマシテモ、深ク攻究シ、又委シク之ヲ精査シテ、然ル後ニ是ニ學理ヲ應用スルト云フヤウナコトハ、出來ナカッタノデゴザリマス、是等モ今日最モ緊急ノコト、存ジマス、デ此ニツノモノヲ以テ、此本試驗場ヲ設置致シタイト云フ考デアリマス、所ガ目的ハ大變大キナヤウナ目的デアツテ、殊ニ高尚ナ目的デアアル、然ルニ其金額ハ幾ラト申シマスルト、私ノ豫算致シマシタ所ニ於キマシテハ、即チ一箇年ノ經費ハ一万圓ト云フ考デアリマス、此一万圓ノ金ヲ當局者ニあてがひマシテ、當局者ニ此一万圓ノ金ヲ以テ十分ニ製茶ノ方法ヲ攻究セラレンコトヲ希望スル考デアリマス、ソレカラ此本案ヲ提出シタ理由ヲ少シク述ベタイト思ヒマス、此理由ヲ述ベルニ先チマシテ、少シク維新以來ノ茶業ノ歴史ヲ述ベテ置キタイト思ヒ、是ハ本案ニ密接ノ關係ガアリマシテ、餘程必要デアリマスカラ、簡單ニ述ベタイト思ヒマス、抑、本邦ノ製茶ハ明治元年ノ輸出高ハ僅ニ千十一万五千五百九十三斤デゴザリマシテ、此代價ハ三百五十八万七千七百六十八圓九十五錢トナリマス、即チ百斤十六貫目ニ就キマシテ、三十五圓四十錢ト云フ高價ニ賣却ニナツテ居リマス、ソレカラ十年ヲタチマシテ、明治十年ニ於キマシテハ輸出額ガ増シマシテ二百七十一万八千六百六十六斤ト云フコトニナリマシタ、ソレカラ其代價ハ四百三十七万五千二百七十四圓六十五錢ト云フコトニナリマシテ、即チ百斤ノ價二十一圓十一錢ト云フコトニ下落致シマシタ、斯ノ如ク輸出額ハ増加致シマシタガ、其代價ニ於キマシテハ、實ニ百斤ニ就キマシテ十四圓二十九錢ト下落シテ居ル、即チ凡ソ六割弱ノ下落ヲシテ居ルノデアリマス、製茶家ハ追々收支相償ハナクナリマシテ、其結果粗製濫造ト云フ最モ悲シムベク、最モ本業ノタメニ前途ノ氣遣ハシイ所ノ弊害ガ、此場合ニ起ツタ譯デゴザリマス、而シテ此茶ノ下落ト云フコトハ、獨リ此本邦ノミ此下落ニ掛ツタト云フ譯デハゴザリマセヌ、此當時ニ至リマシテハ、世界ノ產茶國ハ大概皆此災ニ罹ッタ譯デゴザリマス、斯ノ如クニシテ海外諸國ヨリモ不正ノ製茶ガ追々輸入ヲ致サレマシタガ故ニ、英國ノ如キハ明治八年度ニ於キマシテ、食料品及藥品販賣條例ト云フ一ノ法律ニ製茶ノコトヲ追加致シマシタ譯デゴザリマス、是等モ本案ニ必要ニアラウト考ヘマスカラ短ウゴザリマスガ、ちよつと讀ミマス、斯ウデゴザリマス

ト呼フ者アリ。昨二十七年ニ於キマシテハ日本ノ製茶ハ實ニ七百七十萬圓臺
即チ明治二十六年ノ七百七十萬圓ヨリ上リマシテ、九百三十萬圓ノ輸出ヲ爲
シテ居ル、斯ノ如キ盛況ヲ御覽ニナリマシタナラバ、或ハ内地ノ改良ノ如キ
ハ餘リ必要ナラヌト云フヤウナ御感シモナイトハ申サレマセヌガ、是ハ則チ
昨年北米合衆國ニ於キマシテ、彼ノ生絲ノ好況ナリシト同一ノ理由ニ依リマ
シテ、則チ一昨年ノ不景氣ノ反動ナルモノハ、海外爲替相場ノ下落ヨリ生シタ
ル現象デアラウト私ハ確信スルノデゴザリマス、因テ今年モ幸ニ海外爲替相
場ニ變動等モナケレバ結構デアリマスガ、免ニ角茲ニ一朝變動ガアリマシタ
場合ガ起リマシタナラバ、ナカ／＼昨年ノ如キ高價ニ都合宜ク賣往クコトハ
到底覺束ナイト考ヘマスノデゴザリマス、ソレデ製茶家ハ到底サウ云フ有様
ニナリマシタナラバ、不景氣ノ嘆聲ヲ發シナケレバナラヌト思フノデアアル、
今試ニ是ヨリ茶畑一段歩ノ計算ヲ舉ゲタイト思ヒマス、是ハ委シク書イテ
來マシタガ、略シテ申上ゲマス、結局其一段歩ノ利益ハ稍ク一圓二十四錢八
厘トナリマス（サウ一様ニ參ラヌ）ト呼フ者アリ。尤モ茶畑ニ依リマスガ、
平均コンナモノデゴザリマス、是ヨリ利益ノアル所モゴザリマスガ、ナイ所
モゴザリマス、田地ノ半額ノ純益ニモナラヌヤウナ譯ニナツテ居ル、斯ウ云
フヤウナ場合カラ製茶家ハ一意製造費ヲ節省セシメンガタメニ、製造粗惡ニ
陷ル弊害ガ起ツテ來ル、是レ第一ニ製造法ニ改良ヲ加ヘナケレバナラヌ理由
デアラウト思ヒマス、ソレカラ目下茶畑ノ減少デゴザリマス、則チ統計表ノ
示ス所ニ依リマスレバ、明治二十五年ニハ六万二千六百二十七町八段歩ノ茶
畑ガゴザリマシタガ、翌二十七年即チ昨年ニ至リマシテハ、六万八千八百八
二段歩ニ減少シマシタ、即チ差引イテ千五百三十九町六段歩ノ減少ヲ致シテ
居ル、若シ將來製茶ガ尙ホ一層唯今ヨリ不景況ニ趨キマシタナラバ、實ニ此
蠶茶ト申サル、第二ノ物産タル茶ニ對シテ、實ニ恐ルベキコトデアラウト思
ヒマス、是レ即チ第二ノ理由デゴザリマス、ソレカラ次ニ製造方法ノ事デ
ス、日本茶ノ製造ハ海外貿易ノ始マリマシタヨリ此方、當初ヨリ外觀ヲ主ト
シテ遣ツテ居ル、寧ロ茶ニ肝要ナル所ノ色澤香味ト云フコトハ二段ノ事ニ致
シマシテ、ドウシテモ此形狀ト云フモノヲ主トシテ、遣ルト云フ其習慣ハナ
カナカ固クシテ拔ケヌヤウナ工合ニナツテ居ル、ソレカラ又外國即チ外商ニ
於キマシテモ、其習慣ガ付イタ譯デゴザリマシテ、重ニ形狀ヲ主トシテ買入
レテ居リマス、ソコデ此形狀ノ日本ニ一種特色ノ美ナル形狀ハ、海外諸邦
ノ模倣ノ出來ナイモノデゴザリマスカラ、此點ハ大ニ宜イノデアリマスケレ
ドモ、茲ニ一ツ困リマスコトハ、此形狀ヲ宜クセンガタメニ、大變手數ガ掛
ルノデゴザリマス、手數ヲ掛ケルト共ニ製造費ガ大變高ク附クノデアアル、ソ
レデ既往ニ依ツテ、人夫薪炭等ニ缺乏ヲ訴ヘマス所ニ於キマシテハ、曩ニ述
ベマシタ所ノ粗惡品ガ随分澤山出來ルノデゴザリマス、之ヲ改良シマスニ
ハドウシテモ本案ノ如クセバナルマイト思フ、ソレカラ次ニ北米合衆國ニ
於ケル製茶ノ代價デゴザリマス、今私ガ米國ノ代價ヲ舉ゲマスノハ、米國ハ

實ニ此製茶ニ取リマシテハ、實ニ唯一ノ大利害ヲ有スル國デゴザリマシテ、
則チ明治二十一年ヨリ二十五年ニ至ルマデ平均致シマシタ所ガ、則チ日本製
茶ノ八割一分六厘六毛ト云フ茶ハ米國ニ向ケテ輸入ヲシテ居ル、則チ日本製
茶賣込額ヲ一千万圓トスレバ、實ニ米國ニハ八百十六萬圓餘ノ需要シテ居ル
ノデゴザリマス、ソレデ此茶ノ價格ニ（定數ニ滿チマセヌカラ閉會ヲ願ヒマ
ス）ト呼フ者アリ。簡單ニヤリマス、米國ノ茶ノ價格ヲ舉ゲマスレバ、則チ此
茶ノ代價ノコトハ分ルト思フ、則チ米國ニ於キマシテ、茶ノ相場如何ヲ見マ
スレバ、此明治二十五年ニ於キマシテ、本邦ノ製茶ハ一ぼんどニ就キマシテ
平均十四せんと云フコトニナツテ居ル、支那茶ハ十七せんとニナツテ居
ル、加那太ハ十九せんとニナツテ居ル、ソレカラ印度モ同ク十九せんとニナ
テ居ル、ソレカラ香港ガ二十せんと云フコトニナツテ居ル、英國ガ二十一
せんとデアリマシテ、日本ハ實ニ一番最低度ニアルノデゴザリマス、斯ウ云
フ譯デアリマスカラ、前段ニ述ベマシタ如ク、製造費ハ却テ割合ニ多額ヲ
要スル譯デアツテ、而シテ其直段ハ安イト云フコトニナツテ居リマスルカ
ラ、大ニ此場合ニ力ヲ盡シマシテ、此茶ノ改良ヲ圖ルト云フコトヲセナケレ
バナラナイト思ヒマス、則チ第四ノ理由デゴザリマス、次ニ米國ニ於キマス
ル製茶ノ需要者變遷ノ有様デゴザリマス、貿易開始ノ當時ニ於キマシテハ
製茶ヲ飲用致シマスル者ハ、重ニ上流社會ノ人デアツタノデゴザリマス
ル、故ニ彼ノ形狀ノ美ナル製茶デアリマシテ、縱令其價が高クアリマシテ
モ、一向平氣デ、之ヲ買取ツタデアル、然ルニ其需要ト云フモノハ、段々
下ノ一般ヘモ追々趨イテ來タンデアリマスル、是ガ則チ米國ニ輸入額ヲ増シ
マシタル所ノ原因トモナツテ居ルノデアリマスル、ソレデ今日ノ場合デハ、
此需要増加ト共ニ價格ノ低廉ナル製茶ヲ供シマスルノガ、實ニ今日ノ必要
ノコト、考ヘルノデアアル、併ナガラ價格ガ低廉デアルト申シマシテモ、形狀ニ
十分注意ヲ致シマセヌト、所謂粗製濫造ニ至リマシテ、海外諸國ノ產茶ニ對シ
テ競争ヲ致サナケレバナリマセヌカラ、十分此邊ニ注意ヲセナケレバナラ
ヌ、即チ價格ノ低廉ト品質ノ善良ヲ力メナケレバナラヌ譯デゴザリマスル、
是レ則チ第五ノ理由デゴザリマス、ソレカラ是ハマアいろ／＼種類ヲ分ケテ
論ジマシタ譯デアリマス、則チ各論シタンデアアル（モウ分リマシタ）ト呼フ者
アリ。是カラ總論ニ涉ツテ少シ述ベタイト思フノデアリマスルガ、併ナガラ
諸君ニ於キマシテ大變御迷惑ヲシテゴザリマス、既ニ分ツタト云フ御聲モ聽
エマスル譯デゴザリマスカラ、唯降壇ニ際シマシテ、一言申シ置キタイト思
フ、ソレデ唯今此世界ノ產茶ノ有様ハ如何ト申シマスルト、實ニ段々進歩シ
テ居ル彼ノ日本ノ戰シツ、アリマスル所ノ支那國ノ如キモ、產額ハ追々増
シテ居リマス、米國ニ向ツテノ輸入ハ大變減シテ居リマスル、又英國ニ向
テノ輸入額ニ減シテ居リマスルケレドモ、外ニ又販路ヲ求メマシテ、非常ニ
產額ヲ増シテ居ル、又印度ノ如キ總テ產額ガ増シテ居ルノデアアル、デ本邦モ
今日ニ於キマシテ、餘程其注意ヲ加ヘマセヌ時ニハ、大ニ他日悔ヲ遺スコト

ガアラウト思ハマス、願クハ諸君ニ於キマシテモ、ドウカ此點ヲ御諒察下サ
レマシテ、満場一致御可定ニナランコトヲ希望致シマス

○小畑岩次郎君(二百八十一番) 私ハ簡單ニ述ベマスルガ、此案ハ大賛成ヲ
シテ、反對ヲナサル御方ハアルマイト思ヒマス、茶ノ如キハ實ニ日本ノ物産中
ニ於テ蠶絲ニ次グ物産デアル、又販路ニ於キマシテモ、亞米利加ト云ヒ、露
西亞ト云ヒ、追々望ノアルコトデゴザイマス、此試驗ヲシ、又此製造法ニ
注意シテ、改良ヲ加ヘナケレバナラヌコトハ、多クゴザイマス、此重ナル物
産ニ對シテ、政府ハ今日ノ有様ニ棄置クト云フコトハ、實ニ不都合ノコト、
私ハ思フノデアル、故ニモウ議會モ既二期モ迫ッテ居リマスルレ、直ニ本案
ハ議決アラシコトヲ希望致シマス

(賛成々々「ト呼フ者アリ」)

○副議長(島田三郎君) 中村君ノ通告ガ出テ居リマスルガ、唯今ノ發議ガ成
立チマセヌケレバ、直ニ中村君ノ通告ニ移リマス、唯今ノ場合ニ於テ討論終
結ト云フ勸議モ出テ居リマセヌカラ

○中村克昌君(百四十一番) 直ニ採決スルナラバ、議論致シマス

○副議長(島田三郎君) 免ニ角正格ノ解釋ヲ下シマスレバ、何故ニ討論終
結ト云フ勸議ガ出ナイカ、二百八十一番ノ不規則ノ發議ハ討論終結トハ認メ
ラレマセヌ、諸君ガ何處マデモ討論ヲ續ケルト云フ考ト認メマスカラ、通告
ニ從ヒマス

○中村克昌君(百四十一番) 提出者ハ長ク御述ニナリマシタガ、私ハ極テ短
ウゴザイマス、此處デ反對ヲ致シマス、提出者ノ御説ガ初カラツヒ聽取リマ
セヌデゴザイマシタガ、要スルニ提出者ノ御議論ハ席上ノ御議論デアッテ、
製茶ガ收支償ハヌトカ、或ハ一段歩ニ就イテ一圓餘ノシカナイト云フコトハ
ナイノデゴザイマス、本員杯モ長ク此業ニ從事致シテ居ッタコトモアリマス
ガ、ナカノ「ソナナコト」ハアリマセヌ、此茶業ノ改良ヲ計リ則チ製法ヲ改メ
ル、或ハ粗惡ノ品ヲ製造セヌヤウニ改良スルト云フコトハ、至極宜イコトデゴ
ザイマス、製茶ハ固ヨリ我邦ノ國産中最モ至要ナルモノデゴザイマス、ケ
レドモ政府ニ於テモ曩ニ明治二十年デゴザイマシタカ、茶業組合規則ト云
フモノヲ設ケテ、是等ノ心配ヲ致サレテ、茶業ノ進歩ヲ計リマシタケレド
モ、ナカノ「其利益ト云フモノ」ガナイノデゴザイマス、利益ガナイノミナ
ラズ、地方ニ依ッテハ、費用バカリ掛ッテ、殆ド當業者ガ苦シダコトデアル、
此茶業組合杯ト云フモノハ、互ニ吟味ヲ致シマスルコトガ、營業ヲ進歩サセ
ルト云フコトニ就イテハ、必要ナコトデアリナガラ、其實際ニ至ルト利ガナ
カッタノデアル、殊ニ茶業ノ試驗場杯ト云フモノヲ設ケマシテ、學者ヲ集メ
ルトカ、或ハ熟達ノ者ヲ集メテ、議論ヲサセルトカ言ハレマスルケレドモ、
何ゾ今日試驗場ヲ設ケテ、學者ヲ集メ、討論ヲサシテ、研究ヲ致サウトシテ
モ、決シテ利益ノナイモノト思フ、況ヤ一萬圓位ノ金ヲ掛ケテ、ドウシテ此
利益ヲ見ラレルモノデアリマセウカ、全ク席上ノ議論ト言ハナケレバナラス、

殊ニ近來隨分茶業杯ノコトハ引合ハナイト申シマスルケレドモ、追々當
業者ガ心配ヲシ、或ハ細キモノガ亞米利加ニ往クトカ、或ハ長イモノガドノ
國ニ向フトカ、隨分著々改良ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、併ナガラ茶園ガ
追々減ルト云フコトハ、是ハ時勢ノ然ラシムルモノデアル、全ク獨リ日本バ
カリデナク、先刻提出者モ言ハレマシタ通り、世界中何レノ國デモ、茶ハ不景
氣ヲ受ケテ居ルノデ、殊ニ茶園ガ減ッタト云フノハ、他ニ原因ガアルコト
デ、隨分東京最寄リ關東地方ニ於テ、茶園ノ減リマシタノハ、全ク養蠶ニ壓倒
セラレ、桑園ト茶園ト比較致シマスルト、茶園ノ方ガ利益ガ薄イノデアル、ソ
レ故ニ遂ニ茶園ガ減ルト云フ結果ヲ全ク來シテ居ルノデアル、是ハ事實デア
ル、併ナガラ提出者ノ述ベラレマシタヤウニ、一年ニ一萬圓ノ金ヲ掛ケテ、
此試驗ヲ致スト云フヤウナコトハ、先ヅ私ハ利益ハナイト考ヘマスカラ、此
場合ハ此建議ヲスルノ必要ガナイ、又提出者ハ先程原案ヲ改メラレテ、二十
九年度ニ豫算ヲ出シテ貰フト云フコトニ改メラレタヤウデスガ、縱令二十九
年度ノ豫算ト雖モ、本員ハ此試驗場ヲ設ケルト云フコトハ不同意デアリマス、
何ゾ此場合今日ハ宜シク當局者ニ任セテ置クガ宜シイ、任セテ置テ差支ナイ
ト信ズルノデアル、試驗場ヲ設ケマシテ金程ノ利益ガナイ、現ニ茶業組合モ
成立シテ居リマスカラ、私ハ之ニ反對シテ、此建議ノ必要ナシト考ヘマス

(「討論終結」ト呼フ者アリ「賛成々々」ノ聲起ル)

○副議長(島田三郎君) 討論終結ノ聲ガ起リマシテ賛成ガゴザリマスカラ、
討論終結ノ決ヲ採リマス、討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(島田三郎君) 多數デゴザイマス

○石原彦太郎君(二百八十七番) 議長

○副議長(島田三郎君) 討論ハ終結致シマシタガ、此決議ニ關係シタ御發議
デアリマスカ

○石原彦太郎君(二百八十七番) 左様デゴザイマス、唯今此場ヲ見マスルト、
定數——非常ニ減少デ、六十名以內ト考ヘマス、決議ハ明日ニ延サレンコト
ヲ……

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○中島又五郎君(百六十七番) ドウゾ委員付託ニ願ヒタイ

(「定數ガアリマスカ」ト呼フ者アリ)

○章刈親明君(二百二十一番) 私ハ確ニ制規ノ人間ガ居ルト思ッテ居リマス
ケレドモ、今日ハ決ヲ採ルコトダケ御控ヲ願ヒタイ、何トナレバ決ヲ採リマ
シテ、サウシテ異議者ガアッテ、指名點呼デモ致シマシタ結果如何デゴザイマ
スカ、甚ダ心配デゴザイマス

(「委員付託賛成」ト呼フ者アリ)

○副議長(島田三郎君) サウ致シマス、委員付託ノ說ニ賛成ガアリマスカ
ラ、是ガ決ヲ採リマス、採リマシテソレデ其結果ニ依リマシテ、更ニ決議ノ

宣告ヲ別ニ致シマス中島君ガ委員付託ノ説ヲ提出ニナリマシテ、是ニ賛成ガ
ゴザイマス、是ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○副議長(島田三郎君) 多數アゴザイマス

(「多數ナラバ異議ノ申立ヲ致シマス」ト呼フ者アリ)

○副議長(島田三郎君) 賛成ガゴザイマセヌカラ、直チニ委員付託ニ決シマ
ス

○中島又五郎君(百六十七番) 先例ニ依ッテ議長ノ指名ニ願ヒマス

○田中島雄君(五番) 異議ノ申立ヲ前カラシテアリマスガ……

(「無用々々」ト呼フ者アリ)

○副議長(島田三郎君) 賛成ガゴザイマセヌカラ、宣告致シマシタ、委員付
託ニナリマシタ、尙ホ會ノ散シマスル前ニ、御報道申シテ置キマスルコトガ

一二箇條ゴザリマス、日程ノ事ニ就イテ御報道致シタイコトデゴザイマスカ
ラ、暫ク御著席ヲ——日程ヲ宣告致シマスル前ニ、是非御報道シテ置クベキ

尙ホ許可ヲ受クベキコトガゴザイマス、片岡健吉君ガ今日ヨリ十二日間
請暇ノ請求ガゴザリマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(島田三郎君) 是ハ許可ニナツタモノト認メマス、次ニ先刻議長ニ
託セシレマシタ委員ノ指名デゴザイマスガ、是モ今日直グニ御報道致シマス

(佐脇書記官朗讀)

特別輸出港規則追加法律案審査特別委員

木村誓太郎君 小室重弘君

山本三太郎君 堤猷久君

鹿島秀磨君 志波三九郎君

○副議長(島田三郎君) 次ノ會ヲ開キマスル日ト、竝ニ日程ハ更ニ御報道致
シマス——散會

午後五時四十六分散會

衆議院議事速記録第四十四號正誤

頁 段 行 誤 正
七七〇 下 二五 利益 例規

衆議院議事速記録第四十五號正誤

頁 段 行
八〇二 上 一六 (署名信平君演壇ニ登ル)ノ
十字ヲ脱ス